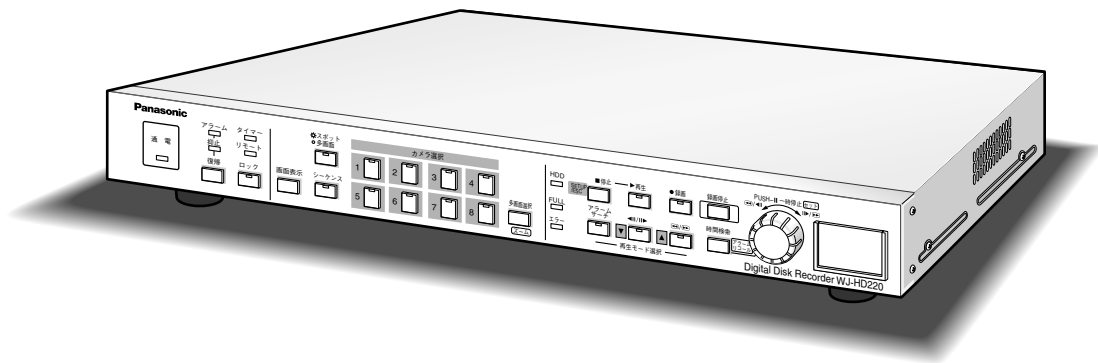


取扱説明書

工事説明付き

デジタルディスクレコーダー

品番 **WJ-HD220**



上手に使って上手に節電

保証書別添付

このたびは、デジタルディスクレコーダーをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

- 取扱説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。特に「安全上のご注意」（13～15ページ）は、ご使用前に必ずお読みいただき、安全にお使いください。お読みになったあとは保証書と一緒に大切に保管し、必要なときにお読みください。
- 保証書は「お買い上げ日・販売店名」などの記入を必ず確かめ、販売店からお受け取りください。

商品概要

本機はカメラで監視している画像を録画・再生できるデジタルディスクレコーダーです。

デジタルディスクレコーダーは、ビデオテープの代わりにパソコンなどに使用されている記録装置であるハードディスクを内蔵した録画機器です。ビデオテープと異なり、繰り返し録画を行っても画質の劣化がなく、上書きモードを使用すると、エンドレスで録画し続けることができます。

本機は8台までのカメラを直接接続し、録画することができます。複数のカメラの画像をモニターに表示したり、同時に録画、再生したりできます。

JPEG圧縮による高画質録画

録画した画像はJPEG形式で保存されます。最大30FPS(1秒あたりのフィールド数)の静止画に分けて録画できます。画質や1秒あたりのフィールド数は利用状況に応じてお客様がカスタマイズできます。

注 録画と再生を同時に行う(同時録画再生)と、最大録画レートは15FPSになります。また、複数の機能を同時に使用すると、最大録画レートは7.5FPSになることがあります。

画像再生時の検索機能

録画した画像を再生するとき、見たい画像を検索して再生することができます。検索条件として以下の2つがあります。

- ・アラーム録画を検索して再生する
- ・指定した時刻の画像を検索して再生する

PS・Data、同軸通信に対応

- ・同軸通信によるカメラコントロール機能により、他の機器を使用しなくてもコンビネーションカメラをネットワーク経由で制御できます。また、ケーブルの伝送ロスを補正することもできます。
- ・PS・Dataモードに対応したシステムコントローラーや周辺機器を接続し、監視システムを容易に構築できます。

ネットワークからのリモート操作

ネットワーク機能を内蔵しており、LAN(Local Area Network)やインターネットに接続されたパーソナルコンピュータ(以下PC)から本機を操作することができます。

注 ネットワークに接続されたPCから本機を操作する場合、ネットワーク環境が整ったPCが必要です。ネットワークから操作を行うと、最大録画レートは7.5FPS～30FPSの間で変動します。

アラームに対応した動作を設定できる(アラーム機能)

アラーム機能は本機に入力されたアラーム信号に連動して、以下の動作を行う機能です。

- ・アラームが入力されると、録画時のモード(画質、録画レート)を高画質に切り換えて録画します(アラーム録画)アラームが入ったことをブザーを鳴らしてお知らせします。

本機は以下の2種類のアラームを入力できます。

- ・センサーなどの外部機器から送られてくるアラーム信号
- ・動き自動検出機能(VMD)によって生成されたアラーム信号

長時間録画・信頼性の向上

本機にはハードディスクが2台内蔵されています。通常、ハードディスクの台数を意識することなくご使用いただけます(あたかも1本のVTRを操作しているかのようにご使用いただけます)。

ハードディスクを2台内蔵することによって、従来のデジタルディスクレコーダー(WJ-HD100シリーズ)よりも長時間録画することができます。また、万が一、1台のハードディスクが故障しても、残りの1台で運用を継続できるように設計されています。(ただし、故障のモード、状況によっては1台の故障でも運用が完全に停止することがあります。)

負荷に応じて録画レートを自動調節する録画レート変動機能

複数の機能(多画面表示、録画・再生・リモート操作・アラーム機能・FTP定期送信機能)を同時に使用しても画像を再生できるように、自動的に録画レートを調節する録画レート変動機能を内蔵しています。

設定時、最大録画レートを設定しておくだけで、本機は動作状況に応じて自動的に録画レートを変更して録画します。本機は、録画するカメラの台数が多いほど、効率よく録画できるよう設計されています。

注 録画と再生を同時に行う(同時録画再生)と、最大録画レートは15FPSになります。また、複数の機能を同時に使用すると、最大録画レートは7.5FPSになることがあります。

付属品をご確認ください

取扱説明書(本書) 1冊

保証書 1枚

以下の付属品は取付工事に使用します。

ラック取付金具 2個

ラック取付タッピングねじ(呼び径5) 4個

取付ねじ(M3×10) 6個

本書について

本書は、本機の前面にあるボタンで操作する方法について説明します。106～122ページに記載されている、設置・接続方法の説明は工事業者向けですので、通常お客様はお読みになる必要はありません。

ネットワークから操作する場合は、124ページ以降のHTML操作ガイドをお読みください。

商標および登録商標について

- ・ Microsoft®、Windows®、Windows® NT、Windows® XPは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
- ・ EthernetはXerox Corporationの登録商標です。
- ・ Javaに関連するすべての商標およびロゴマークは、米国Sun Microsystems, Inc.の米国およびその他の国における商標または登録商標です。
- ・ その他、本文中の社名や商品名は、各社の登録商標または商標です。

免責について

- この商品は、カメラで監視している映像を録画・再生することを目的に作られたものです。この商品単独で犯罪などを防止するものではありません。
- 弊社は如何なる場合も以下に関して一切の責任を負わないものとします。
 - ①本商品に関連して直接または間接に発生した、偶発的、特殊、または結果的損害・被害
 - ②お客様の誤使用や不注意による損害または本商品の破損等
 - ③お客様による本商品の分解、修理または改造が行われた場合、それに起因するかどうかにかかわらず、発生した一切の故障または不具合
 - ④本商品の故障・不具合を含む何らかの理由または原因により、映像が表示・記録または動き検出等できないことおよび記録した情報が消失したことで被る不便・損害・被害
 - ⑤第三者の機器等と組み合わせたシステムによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害
 - ⑥お客様による監視映像（記録を含む）が何らかの理由により公となりまたは監視目的外に使用され、その結果、被写体となった個人または団体等によるプライバシー侵害等を理由とするいかなる賠償請求、クレーム等
 - ⑦本商品の動き自動検出機能（VMD）の誤検出、または検出もれによる不具合、あるいはその結果被る不便・損害・被害

用語・記号について

本書では、以下の用語および記号を用いて説明しています。

HDD: ハードディスクドライブ(大容量記憶装置の1つ)のことです。本機は、ビデオテープの代わりにハードディスクにカメラの画像を録画します。

スポット: 1台のモニターに、カメラ1台の画像を連続して表示することです。スポットで表示するためのモニターをスポットモニターと呼びます。スポットモニターは、スポット出力端子に接続されています。

多画面: 1台のモニターに、複数のカメラ画像を同時に表示することです。多画面で表示するためのモニターを多画面モニターと呼びます。4台のカメラ画像を同時に表示することを4画面、8台のカメラを同時に表示することを8画面と呼びます。多画面モニターは多画面出力端子に接続されています。

シーケンス: スポットまたは4画面表示時、カメラの画像を決められた順番で自動的に切り換えて表示することです。

録画モード: HDDにカメラ画像を録画する際のモード(画質、1秒あたりのフィールド数、最大録画時間)のことです。

アラーム録画: アラーム発生時、専用の録画モードで録画することです。タイマー録画中とそれ以外の録画とでそれぞれ異なる録画モードでアラーム画像を録画できます。アラーム録画には、動き検出機能(VMD)による録画を含みます。

外部録画: 本機は外部機器(スイッチ)をアラーム/リモート端子に接続し、スイッチをONにしている間、録画中の録画モードを変えて録画できます。外部機器から録画中の録画モードを変えて録画することを外部録画と呼びます。

録画レート(FPS): 動きのなめらかさを決める単位。1秒あたりのフィールド数が多いほどなめらかな動きになりますが、録画可能時間は短くなります。録画レートは録画方法ごとに選択できます。

フィールド: テレビの1枚の画面(1フレーム)をつくるには、1枚の画面を2回に分けて走査します。つまり、1回の走査ですき間の空いた粗い画面をつくり、2回目の走査で、すき間にきちんとはいるようにして、きれいな画面にします。その粗い1つの画面を1フィールドと言います。テレビの場合、1秒間に60フィールド送られてきます。

画質: 本機はカメラ画像を録画するとき、フィールドごとにJPEG(Joint Photographic Experts Group)ファイルに変換します。JPEGファイルとは静止画像の画像圧縮技術の1つで、圧縮率が高いほど、ファイル容量が小さくなりますが、画質は粗くなります。

本機は圧縮率をSF/SF-A(最高画質)、FQ/FQ-A(高画質)、NQ/NQ-A(通常画質)、EX/EX-A(低画質)で表しており、録画方法ごとに選択できます(-Aは録音の有無を表しています)。

SP/SP-A(個別設定)では、録画間隔(FPS)と画質を任意に設定できます。

ネットワーク: 本機後面パネルの10/100BASE-Tコネクタで接続される、LANやインターネットなどの総称です。



重要 : 該当する機能を使用するにあたり、制限事項や注意事項が書かれています。



: 該当する機能を使用するにあたり、注意していただきたい事項が書かれています。



: 使用上のヒントが書かれています。



: 本機をネットワークに接続して使用する場合の説明が書かれています。



: 多画面モニターで操作できる項目です。



: スポットモニターで操作できる項目です。

もくじ

商品概要	2	安全上のご注意	13
付属品をご確認ください	3	取り扱い上のご注意	16
本書について	3	ハードディスク録画の仕組み	17
商標および登録商標について	3	各部のなまえ(前面パネル部)	20
免責について	4	各部のなまえ(画面表示)	22
用語・記号について	5	電源を入れる	23

はじめてお使いになる場合	24
設定画面の基本操作	25
時計を合わせる	27
セットアップする	28
セットアップする(オプション)	40

操作編	77	録画画像をVTRにコピーする	95
録画する	78	システム情報の確認	96
再生する	79	電源を切る	98
画面操作	84	ハードディスクのメンテナンス	99
不正操作を防止する	90		
アラーム発生時の操作	92		

設置上のごお願い	106
設置工事について	107
各部のなまえ(後面パネル部)	110
接続のしかた	112
モードスイッチについて	121

HTML操作ガイド	123
機能概要	124
使用前の準備	125
操作のしかた	129
画面詳細	131
設定メニュー	136
録画画像のダウンロード	162

故障かな!?	163	メール通知の内容	180
資料	167	ネットワーク障害情報の内容	182
システムコントローラーで操作する	168	設定画面構成	184
RS-232Cコマンドリファレンス	172	索引	185
ダウンロード画像について	179	仕様	188
		保証とアフターサービス	189

詳細もくじ

ご使用前に

安全上のご注意(必ずお読みください)	13
取り扱い上のご注意	16
ハードディスク録画の仕組み	17
録画の種類	17
録画モード(画質・録画レート)について	17
タイマー録画について	18
書き込みエラー時の動作	18
ハードディスクが故障したとき	18
ハードディスク録画の概念	19
各部のなまえ(前面パネル部)	20
各部のなまえ(画面表示)	22
電源を入れる	23

セットアップ (基本項目)

はじめてお使いになる場合	24
設定画面の基本操作	25
表示のしかた	25
終了のしかた	26
時計を合わせる	27
セットアップする	28
録画方法を選択する	28
マニュアル録画・連続録画・アラーム録画の録画モードを設定する	29
録画モードを設定する	29
アラーム録画時の録画モードを設定する	31
アラーム発生直前の画像の録画時間(PRE ALARM REC)	32
アラームモード継続時間の選択(POST ALARM REC)	33
アラーム発生時の録画方法(DYNAMIC REC)	33
アラーム発生時の録画動作(TRIGGER ACTION SETUP [Ⓜ])	34
マニュアル録画・連続録画で録画するカメラを選択する(CAM REC SETUP [Ⓜ])	36
タイマー録画を設定する(TIMER REC)	37
はじめにお読みください	37
プログラムを割り当てる	37
プログラムを作成する(PROG1~4 SETUP)	38

詳細もくじ

セットアップ (オプション)

セットアップする(オプション)	40
外部録画時の録画モードを設定する	40
モニター表示情報・各種ランプに関する設定(DISPLAY SETUP)	41
時計の表示形式を設定する(TIME & DATE DISP.)	41
時計表示位置の選択(TIME & DATE POSI.)	42
時刻埋め込みのON/OFF (TIME&DATE EMB.)	42
動作状態表示のON/OFF(STATUS DISP.)	43
動作状態表示位置の選択(STATUS POSI.)	43
FULLランプ点滅条件の設定(HDD FULL)	44
リモートランプON/OFFの選択(REMOTE LED)	44
ハードディスク状態チェックのON/OFF(HDD CHECK)	45
カメラに名前を付ける(CAMERA TITLE)	45
システムの動作を変更する(SYSTEM SETUP)	47
ロック機能で使用するパスワードを設定する(PASSWORD LOCK)	47
ボタン操作時のブザー音ON/OFF(KEYLOCK BUZZ)	49
アラーム履歴の改ページ数の選択(SKIP ALM-RECALL)	49
同時録再機能のON/OFF(SIMUL REC&PLAY)	50
改ざんチェック機能のON/OFF(ALTER DETECT)	50
上書き機能のON/OFF(DISK END MODE)	51
ハードディスク終了時のブザー音ON/OFF(DISK END BUZZ)	51
再生優先順位を変更する(PLAY PRIORITY)	52
時刻補正を行う(TIME ADJUST SETUP [⚡])	53
解像度を変更する (RESOLUTION)	54
ハードディスクセーフティモードを使用する (HDD SAFETY MODE)	54
アラーム発生時の動作を設定する(ALARM SETUP)	55
アラーム発生時のブザー音ON/OFF(ALARM BUZZ)	55
カメラ故障・ケーブル切断検出機能のON/OFF(VIDEO LOSS)	56
アラーム発生時の画像の表示方法(MONITOR MODE)	56
動き自動検出機能の設定(VMD SETUP)	57
他の機器との通信に関する設定(COMMUNICATION SETUP)	59
DATAポートまたはシリアルポートの設定(SERIAL PORT SETUP [⚡])	59
ネットワークの設定(NETWORK SETUP)	65
画面操作の設定(SWITCHER SETUP)	70
モニターの初期画面(START DISPLAY)	70
多画面選択ボタンの設定(MULTI SEL MODE)	71
画像自動切り換えの設定(SEQUENCE SETUP [⚡])	71
特定のカメラの画像を表示しないようにする (CAMERA VIEW SETUP [⚡])	75
シークレットビューの設定 (SECRET VIEW)	76

操作

録画する	78
再生する	79
通常再生	79
検索再生	80
日時で検索して再生する	80
アラーム画像のみ検索して再生する（再生中のみ操作可能）	80
アラーム履歴から検索して再生する(ALARM RECALL)	81
再生中の操作	83
早送り/早戻し再生（再生中のみ操作可能）	83
コマ送り再生	83
画面操作	84
任意のカメラ画像を1画面で表示する	84
多画面(4画または8画)で表示する	85
画像を拡大(ズーム)する	85
画像を自動的に切り換える(シーケンス)	87
多画面モニターのシーケンス	87
スポットモニターのシーケンス	88
カメラ名、時刻、動作状態を表示する	89
不正操作を防止する	90
ロックする	90
ロックを解除する	90
アラーム発生時の操作	92
アラームの種類	92
アラーム発生時の動作	92
アラーム動作の解除	94
アラーム動作を抑止する	94
録画画像をVTRにコピーする	95
システム情報の確認	96
表示のしかた	96
稼働時間(HDD HOUR METER)	96
ハードディスク総容量(HDD CAPACITY)	96
設定内容の初期化(DEFAULT)	96
システムバージョン(SYSTEM VERSION)	97
システムログの表示(SYSTEM LOG [Ⓜ])	97
電源を切る	98
ハードディスクのメンテナンス	99

詳細もくじ

FULLランプが点滅したときの操作(ディスクエンド)	99
エラーランプが点滅したときの操作	100
ハードディスクの初期化	100
DISK MENU画面の操作	101
DISK MENU画面について	101
ハードディスクの状態について	102
ハードディスク故障時の対処方法(ERR状態)	102
ハードディスクを論理的に切り離す(REMOVE LINK)	103
初期化のしかた(FORMAT)	104
再起動のしかた(RESTART)	105

工 事

設置上のお願い	106
---------------	-----

設置工事について	107
----------------	-----

ハードディスクセーフティモードについて	107
初めてお使いになるときは	107
メンテナンス (ハードディスクの交換や設置作業など) を行うときは	108

各部のなまえ(後面パネル部)	110
----------------------	-----

接続のしかた	112
--------------	-----

基本的な接続例	112
PS・Dataモード対応機器との接続例	113
ネットワークへの接続例(遠隔操作)	114
アラーム/リモート端子の使いかた	116
ピン配列	116
アラームの接続	116
自動時刻補正を行う場合	118
外部スイッチで録画する	119
その他の端子	119
ラックに取り付ける	120
ラックについて	120
取り付けかた	120

モードスイッチについて	121
-------------------	-----

動作モードの設定(PS・Data終端ON/OFF)	121
DATAポートを使用する場合(システム機器として使用する)	121
10/100BASE-Tポートを使用する場合(コントロール機器として使用する)	121
DATAポートおよび10/100BASE-Tポートを同時に使用する場合	121
HTMLコンテンツの初期化	122
ネットワーク設定メニューの初期化	122
お買い上げ時の状態に戻す	122

HTML操作ガイド

機能概要	124
使用前の準備	125
PCの環境	125
接続のしかた	125
本機を直接PCに接続する場合	125
既存のネットワークに本機を組み込む場合	125
ネットワーク環境の設定	126
本機の設定	126
PCの設定	126
本機のネットワークセキュリティ	128
本機に装備されているセキュリティ機能	128
セキュリティ強化のために	128
操作のしかた	129
操作画面の表示方法	129
操作画面について	130
1画面表示(起動時)	130
4画面表示	130
8画面表示	130
再生中(1画面表示のときだけ、開始点・終了点・ダウンロードボタンを表示します)	130
画面詳細	131
基本操作パネル	131
アラームリストタブ	132
レコーダー操作ボタン	133
カメラ制御パネル	134
状態表示	135
設定メニュー	136
内部タイマー設定ページ	137
内部タイマー設定(マニュアル録画で録画する)	137
内部タイマー設定(連続録画で録画する)	137
内部タイマー設定ページ(INT選択時)	138
プログラム設定ページ	139
トリガー動作設定ページ	140
録画カメラ設定ページ	140
録画設定ページ	141
トリガー動作設定ページ	142
外部録画設定ページ	142
表示設定ページ	143
カメラタイトル設定ページ	144
システム設定ページ	144
アラーム設定ページ	146
動き検出設定ページ	147

動き検出エリア設定ページ	147
データ通信設定メニューページ	148
シリアルポート設定ページ	148
カメラシステム設定ページ	149
ネットワーク設定ページ	150
スイッチャー設定ページ	152
多画面シーケンス設定ページ、スポットシーケンス設定ページ	153
カメラ表示設定ページ	154
システム情報ページ	154
障害情報ページ	155
サーバー接続エラー情報ページ	156
ユーザー設定ページ	157
ホスト設定ページ	158
FTPクライアント設定ページ	159
メール設定ページ	160
ブラウザ表示設定ページ	161

録画画像のダウンロード..... 162

その他



故障かな!?	163
システムコントローラーで操作する	168
RS-232Cコマンドリファレンス	172
RS-232Cとは	172
コマンドフォーマット	172
ダウンロード画像について	179
メール通知の内容	180
ネットワーク障害情報の内容	182
設定画面構成	184
索引	185
仕様	188
保証とアフターサービス	189

安全上のご注意



必ずお守りください

お使いになる人や他の人への危害、財産への損害を未然に防止するため、必ずお守りいただくことを、次のように説明しています。

■表示内容を無視して誤った使い方をしたときに生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

 警告	この表示の欄は、「死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。
 注意	この表示の欄は、「傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

■お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。(下記は絵表示の一例です。)

	このような絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

警告

工事は販売店に依頼する



工事には技術と経験が必要です。火災、感電、けが、器物損壊の原因になります。

- 必ず販売店にご依頼ください。

異物を入れない



禁止

水や金属が内部にはいると、火災や感電の原因になります。

分解しない、改造しない



分解禁止

火災や感電の原因になります。

- 修理や点検は、販売店にご連絡ください。

機器の上に水などの入った容器を置かない



水ぬれ禁止

水などが中に入った場合、火災や感電の原因になります。

異常があるときは、すぐ使用をやめる



煙が出る、臭いがするなど、そのまま使用すると火災の原因になります。

- ただちに電源プラグを抜いて、販売店にご連絡ください。

不安定な場所に置かない



禁止

落下によるけがの原因になります。

安全上のご注意

⚠ 警告

電源コード・電源プラグを破損するよう なことはしない

(傷つけたり、加工したり、熱器具に近づけたり、
無理に曲げたり、ねじったり、引っ張ったり、
重いものを載せたり、束ねたりしない)



傷んだまま使用すると、感電・ショール
ト・火災の原因になります。

禁止

- コードやプラグの修理は販売店にご相談ください。

電源プラグは根元まで確実に差し込む



差し込みが不完全ですと、感電や発熱に
よる火災の原因になります。

- 傷んだプラグ、ゆるんだコンセントは使用しないで
ください。

電源プラグのほこり等は定期的にとる



プラグにほこり等がたまると、湿気等で
絶縁不良となり、火災の原因になります。

- 電源プラグを抜き、乾いた布でふいてください。

コンセントや配線器具の定格を超える使 い方や、交流100 V以外での使用はし ない



たこ足配線等で、定格を超えると、発熱
による火災の原因になります。

禁止

ぬれた手で、電源プラグ の抜き差しはしない



感電の原因にな
ります。

ぬれ手禁止

雷のときは工事・配線し ない



火災や感電の原因
となります。

禁止

アースを確実に取り付ける



本機の電源プラグはアース端子付き2芯
プラグです。アースは確実に行ってご使
用ください。アースを取り付けないと、
故障や漏電のときに、感電するおそれ
があります。

- アース工事は販売店にご相談ください。(アース工事
費は、本製品の価格には含まれていません)

⚠ 注意

通風孔をふさがない



禁止

内部に熱がこもり、
火災の原因になります。

振動や強い衝撃を与えない



禁止

火災や感電、故障の
原因になります。

湿気やほこりの多い場所に設置しない



禁止

火災や感電、故障の
原因になります。

リチウム電池は同一型名 または同等品と交換する



異なる型の電池を使用
すると、発熱、破裂、
発火の原因になりま
す。

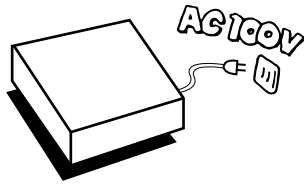
- 交換は必ず販売店にご依頼ください。

取り扱い上のご注意

⚠️ 警告 ⚠️ 注意 に記載されている内容とともに以下の事項をお守りください。

使用電源は

AC100 Vです。
消費電力の大きな機器（コピー機、空調機器など）と同じコンセントから電源をとらないでください。

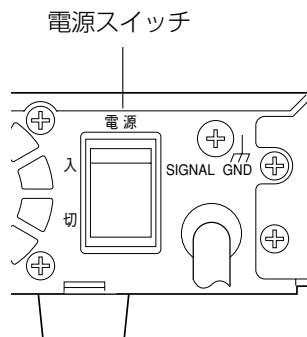


使用温度範囲は

+5℃～+45℃です。
この温度範囲以外で使用すると内部の部品に悪影響を与えたり、誤動作の原因となることがあります。
また、ハードディスクは特性上、温度が高くなると特性劣化や寿命に影響を与えます。+20℃～+30℃以内で使用されることをおすすめします。

電源スイッチについて

本機の電源スイッチは後面にあります。電源スイッチを切っても、電源からは遮断されません。電源を遮断する場合、ACコンセントから本機の電源プラグを抜くか、電源制御ユニット使用時は電源制御ユニットの電源を切ってください。



内蔵バックアップ電池について

- 初めて使用するときは、48時間以上の連続通電を行い、内蔵のバックアップ電池（リチウム電池）を充電してください。電池の充電が不十分ですと、停電があったときに内部時計の時刻が狂ったり、停電前の動作状態に正しく戻れない場合があります。
- 内蔵バックアップ電池の寿命は約5年です（使用条件によって短くなることがあります）。5年を目安に交換してください（ただし、この期間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません）。寿命をすぎると、電源を切った際に時刻設定の内容などが保存されません。
- 内蔵バックアップ電池を交換する際は、お買い上げの販売店にご相談ください。

内蔵HDDについて

- HDDは精密機器ですので、衝撃を加えないよう丁寧な取り扱いをお願いします。
- ①振動・衝撃はHDD故障の原因になります。

②電源を入れた時や電源を切った直後（約30秒間）は、HDDが動作中ですので、移動や設置作業は絶対に行わないでください。

- HDDは消耗品です。+25℃の環境でご使用になる場合、20,000～30,000時間を目安に交換してください（ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、部品の寿命を保証するものではありません）。
- HDDに異常が発生した場合は、速やかにHDDを交換してください。HDDの交換は販売店にご相談ください。

結露について

故障の原因となりますので結露に注意してください。結露が発生しやすい条件は

- 湿度の高いところ
- 暖房した直後の部屋
- 冷房されているところと、温度や湿度の高いところを移動したとき

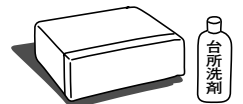
このような場合は、目安として電源を入れるまで2時間程度放置してください。

長時間使用しない場合は

機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき（1週間に1回程度）電源を入れて録画・再生動作を行い、映像を確認してください。

お手入れについて

- 電源を切り、乾いた柔らかい布でふいてください。ほこりがとれにくいときは、水で薄めた台所用洗剤（中性）を柔らかい布にしみこませ、固く絞ってから軽くふいてください。そのあと、乾いた柔らかい布で、洗剤成分を完全にふき取ってください。
- シンナーやベンジンなど、揮発性のものは使用しないでください。
- 化学ぞうきんをご使用の際は、その注意書きに従ってください。



ベンジン
シンナー
殺虫剤

機器を廃棄または譲渡される場合

HDD内の映像データの取り扱いに注意し、ご使用者側の責任において行ってください。

ハードディスク録画の仕組み

本機は、最大8台までのカメラを直接続してハードディスクに録画することができます。本機には、ハードディスクが2台内蔵されていますが、1本のビデオテープに録画するように操作することができます。

録画の種類

本機は以下の方法で録画を開始できます。

録画方法	概要
マニュアル録画	録画ボタンを押して録画を開始する方法です。録画停止ボタンを押すまで録画を続けます。
連続録画	電源をONにしたとき録画を開始する方法です。録画停止ボタンを押すまで録画を続けます。
タイマー録画	録画開始時刻と録画終了時刻を設定し、設定された時間、録画を開始する方法です。タイマー録画による録画しているとき、録画停止ボタンを押して録画を停止することはできません。
アラーム録画	アラーム録画には以下の2種類があります。 <ul style="list-style-type: none">・外部センサー動作時に録画を開始する・本機の動き検出機能（VMD）が動作したときに録画を開始する



- ・アラーム録画は、タイマー録画中とそれ以外の状態で、異なる画質で録画できます。
- ・本機後面端子にスイッチ(外部スイッチ)を接続している場合は、接続した外部スイッチを録画中にONにしている間、録画モードを変更して録画できます。(外部録画と言います →5ページ)



多画面モニターの1画面表示やスポットモニターに表示される画像は、実際に録画される画像よりも広い範囲を表示しています。ご使用前に一度録画を行い、その画像を再生して、録画される画像の範囲を確認してください。

録画モード(画質・録画レート)について

録画時の画質とハードディスクに何時間録画するか(録画時間モード)を選択することによって、画像の鮮明度、動きのなめらかさ(録画レート)が決まります。画質と録画レートを選択して、録画時間モードを自動的に計算させて使用することもできます。ただし、本機の録画レートは、操作状況によって変動します。録画モードは録画の開始方法ごとに設定できます。



本機は動作状況に応じて自動的に録画レートを変更して録画します(設定する録画レートは最大録画レートであり、実際に録画されるレートとは一致しない場合があります)。

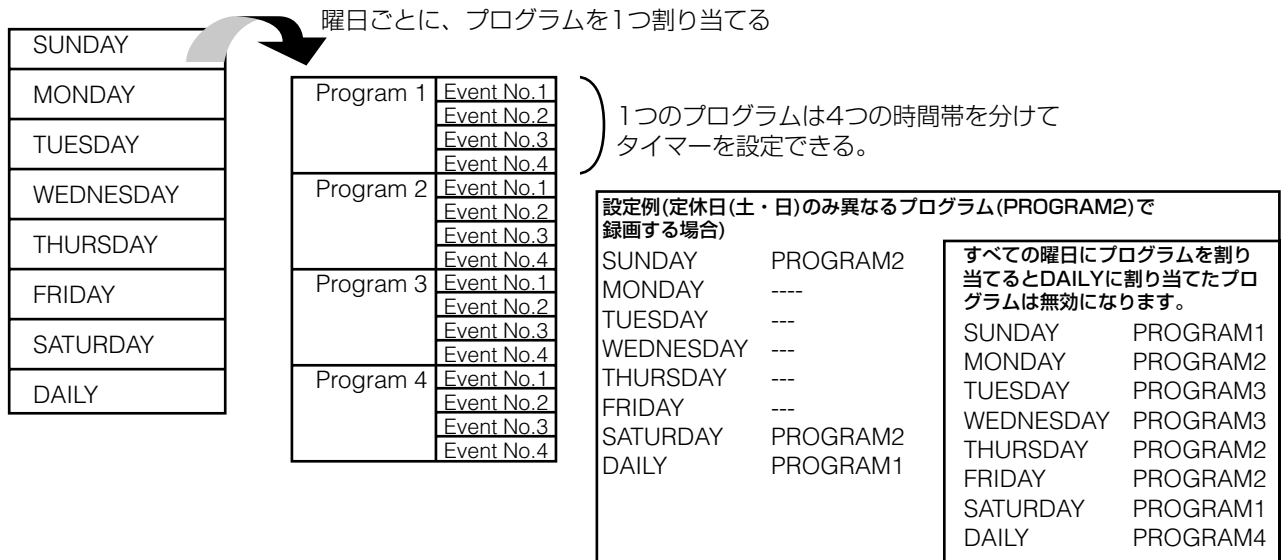
- ・録画と再生を同時に行う場合、最大録画レートは15FPSに制限されます。
- ・多画面表示、ネットワーク操作、プレアラーム録画、または動き自動検出機能を使用する場合、7.5FPS(1台のカメラのみ録画するとき)~15FPS(接続されているすべてのカメラを録画するとき)の間で変動します。

ハードディスク録画の仕組み

タイマー録画について

本機は、内蔵時計の時刻にしたがってタイマー録画を行うことができます。タイマー録画の特徴を以下に示します。

- ・週間タイマーです。4つまでプログラムを作成できます。
- ・1つのプログラムに4つまでのイベント(開始時刻・終了時刻)を割り当てることができます。
- ・基本は、毎日実行するプログラムを1つ作成し、DAILYに割り当てます。その後、異なるスケジュールで録画したい曜日に対し、残りの3つのプログラムから1つを選択して割り当てます。



- ・タイマー録画による録画中、録画停止ボタンで録画は停止できません。
- ・同時録再機能をONにしている場合、録画しながら再生することができます。

書き込みエラー時の動作

カメラ画像をハードディスクに書き込む際、エラーが発生すると自動的に再起動を行います。書き込みエラーが3回連続して発生すると、そのハードディスクは故障していると判断し使用しないように切り離しを行い、残り1台で運用を継続します。このとき、本機の電源を入れ直すと多画面モニターにDISK MENU画面が表示されます(→101ページ)。DISK MENU画面は約1分間何も操作しないと自動的に消えて通常運用を開始します(故障したハードディスクを論理的に切り離す、または交換するまで、電源を入れ直すたびに表示されます)。

1台が切り離された場合、録画できる時間は約1/2になります。

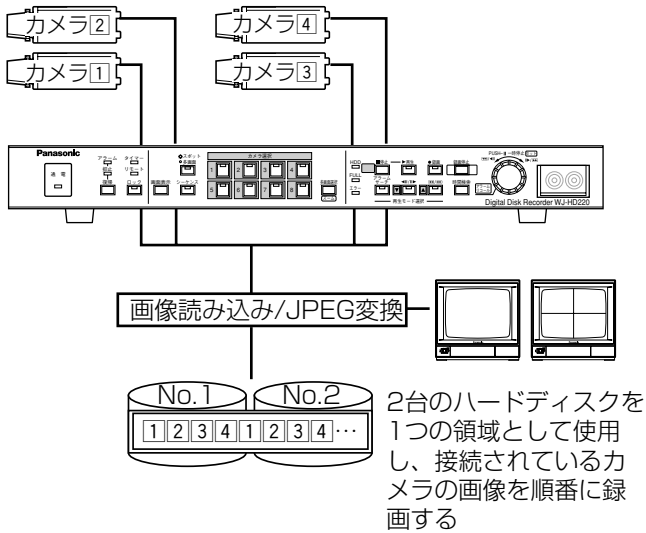
ハードディスクが故障したとき

何らかの原因によってハードディスクが故障するとエラーランプを点滅してお知らせします。このとき、電源を入れ直すと多画面モニターにDISK MENU画面が表示されます。→101～105ページ

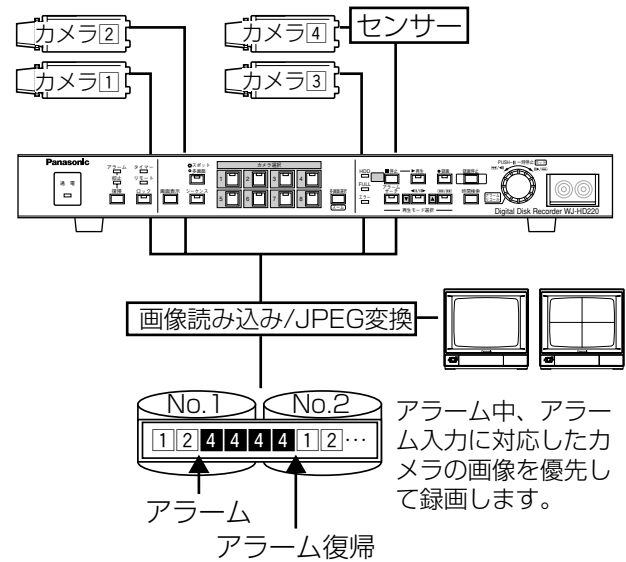
ハードディスク録画の概念

ここでは、ハードディスクに画像を録画するときの概念について説明します。

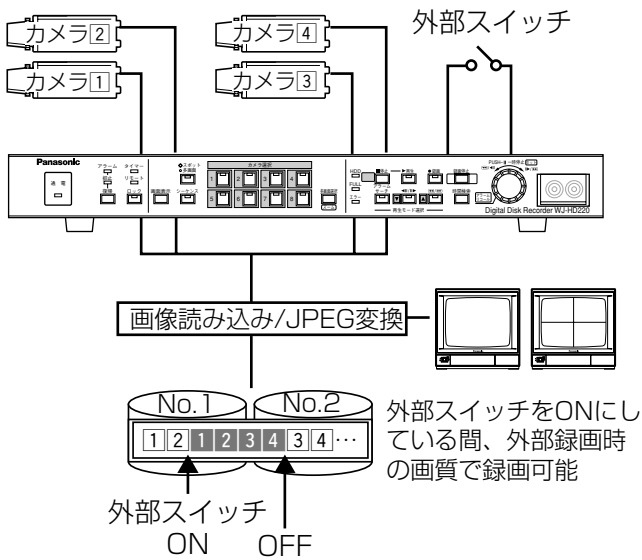
・マニュアル録画、連続録画、タイマー録画



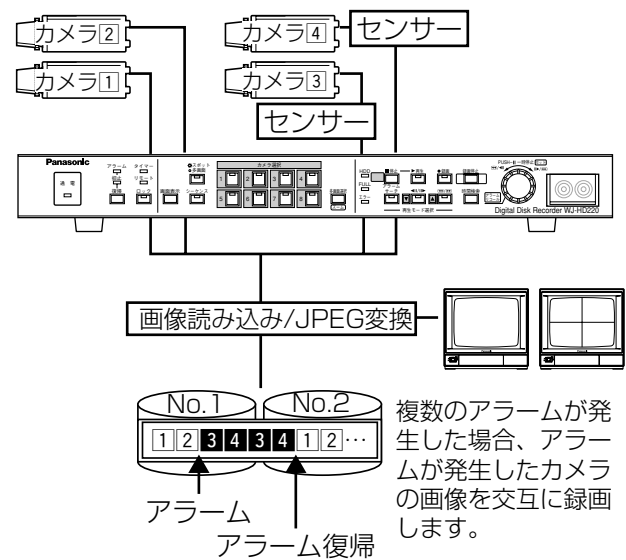
・アラーム録画(カメラ4でアラーム検出)



・外部録画(外部スイッチで録画モード変更)



・アラーム発生時(カメラ3と4でアラーム検出)



アラーム発生時の録画動作は設定によって以下のように異なります。録画に関する設定は使用する録画モードの設定画面(REC SETUPまたはPROG NO.n SETUP)で設定します。

- ・ DYNAMIC RECでALM-MULTIを選択した場合 (→33ページ) は、複数のアラームが同時に発生すると、アラームが発生した場所の画像を順番に録画します。
- ・ DYNAMIC RECでOFFを選択した場合は、アラーム発生時も通常録画と同様に接続されているカメラの画像をすべて録画します。(ただし、TRIGGER ACTION SETUP画面で、OFFを選択したカメラの画像は録画されません。)

外部録画は、録画中のみ有効です。外部スイッチで録画を開始または停止することはできません。

各部のなまえ (前面パネル部)

ご使用前に

画面操作 (カメラ・再生)

画面表示 (画面表示ボタン) : モニターに時刻やカメラタイトル、ハードディスクの空き容量などの情報を表示します。再度押すと消去できます (アラーム発生の有無も表示しません)。

**※スポット
多画面 (スポット/多画面ボタン)** : 操作するモニターを選択します。

シーケンス (シーケンスボタン) : カメラまたは再生画像を自動的に切り換えて表示する (シーケンス) ときに押します。

1 (カメラ選択ボタン) : 押した番号のカメラ画像を表示できます。パスワードの入力にも使います。(グリーン: カメラ画像表示中、イエロー: 録画中のカメラ画像表示中、オレンジ: 録画中)

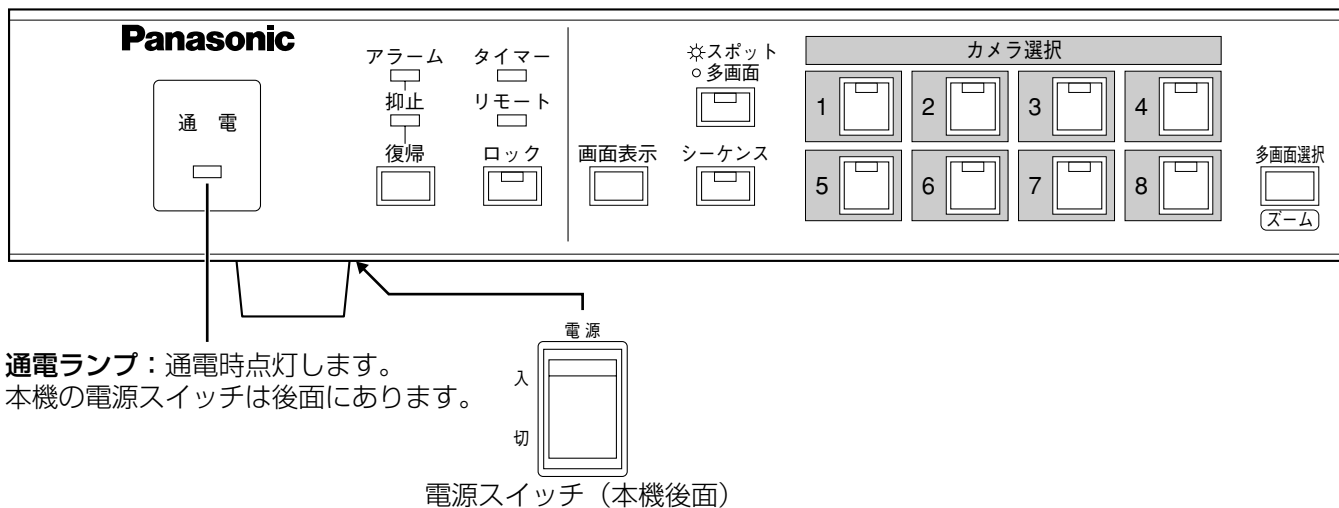
**多画面選択
(ズーム) (多画面選択 (ズーム) ボタン)** : 画面分割またはズーム操作に使います。

ハードディスク状態表示ランプ

HDD (HDDランプ) : ハードディスクにアクセスしているときに点灯します。

FULL (FULLランプ) : 録画画像を上書きしない場合、録画可能領域 (ハードディスクの空き容量) が設定した値以下になると点滅します。録画領域がなくなると点灯します。

エラー (エラーランプ) : 以下の場合に点滅します。
 ・ハードディスクの寿命が近づいたとき
 ・ハードディスクの自己管理報告機能 (S.M.A.R.T.:Self-Monitoring Analysis and Reporting Technology) が本機に使用限界を通知したとき (黄色点滅)
 ・ハードディスク故障・切り離し (赤色点滅)
 ・温度異常 (赤色点滅)



アラーム制御・その他

アラーム (アラームランプ) : 動き検出機能 (VMD) または外部センサーが動作すると点滅してお知らせします。自動復帰または背面リセット端子 ON で点灯、復帰 (復帰ボタン、コントローラー、ネットワークによるアラームリセット操作) すると消灯します。

抑止 (抑止ランプ) : アラームを抑止 (受け付けない状態) しているときに点灯します。

復帰 (復帰ボタン) : このボタンを押すとアラームを解除 (復帰) できます。

タイマー (タイマーランプ) : タイマー録画が設定されているときに点灯、録画中は点滅します。

リモート (リモートランプ) : ネットワークからアクセスが発生しているときに点灯します (FTPクライアント機能による自動送信、アラームメール送信時、PING コマンドは点灯しません)。

ロック (ロックボタン) : このボタンを押して、前面パネルからの操作を禁止できます。ロック中はボタンのランプが点灯します。

再生・録画操作

再生 (再生ボタン) : このボタンを押すと再生を開始します。再生中、ボタンのランプが点灯します。一時停止中は、ランプが点滅します。

停止 (停止ボタン) : 再生およびアラーム動作を停止し、カメラ画像を表示します。
 (SETUP/ESCボタン) : 押し続けると、本機を設定するためのSETUPメニューを表示および終了できます。

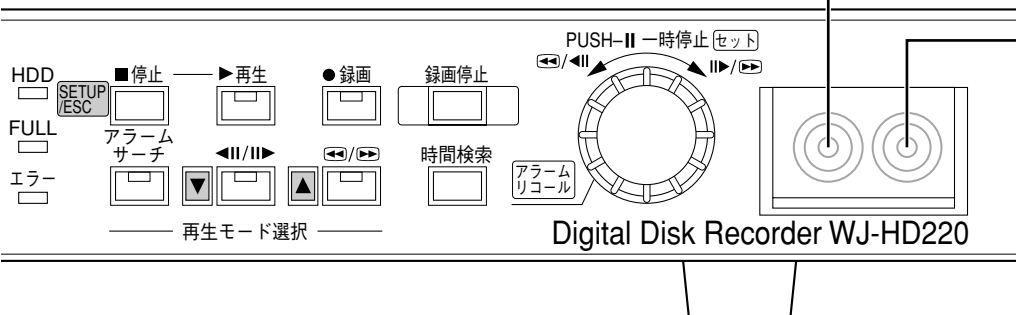
録画 (録画ボタン) : このボタンを押すと録画を開始します。録画中、ボタンのランプが点灯します。アラーム録画中は、ボタンのランプが点滅します。

録画停止 (録画停止ボタン) : このボタンを押し続けると、録画を停止し、カメラ画像を表示します。

(ジョグダイヤル) : 再生中に押すと一時停止、早送り/早戻しボタン、コマ送りボタンを押してから左または右に回すと早送り再生/早戻し再生/コマ送り再生ができます。押し続けると、アラーム発生状況を一覧表示できます。設定中は設定値の変更に使います。

上開きフタの内部

AUDIO OUT : 外部機器を接続して再生音声を録音できます。
VIDEO OUT : 外部機器を接続して再生画像を録画できます。



再生・録画操作

アラームサーチ (アラームサーチボタン) : アラーム録画で録画された画像を検索するときに使います。→75ページ

(コマ送りボタン) : 押すとコマ送りで再生できます。設定中はカーソル移動(下移動:▼ボタンと表記)に使います。

(早送り/早戻しボタン) : 押すと早送りまたは早戻しできます。設定中はカーソル移動(上移動:▲ボタンと表記)に使います。

時間検索 (時間検索ボタン:T&D KEY) : 押すと時間検索画面が表示されます。時刻を入力して最も近い時間の画像から再生することができます。

各部のなまえ (画面表示)

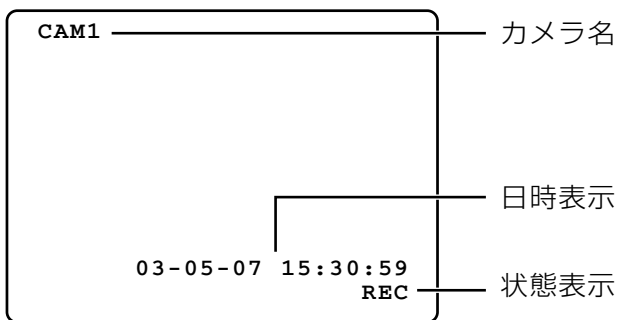
本機には、モニターを接続する端子が2種類あります。モニターを接続する端子によって表示できる画像が下表のように異なります。

名称	接続端子	表示できる画像	設定画面
スポットモニター	スポット出力端子	カメラ画像を1画面でのみ表示可能*	表示不可
多画面モニター	多画面出力端子	カメラ画像および再生画像を1、4、8画面で表示可能	表示可能

※: スポットモニターにカメラ番号・カメラタイトル・日時は表示されません。

画面表示ボタンを押して、多画面モニターに以下の情報を表示できます。

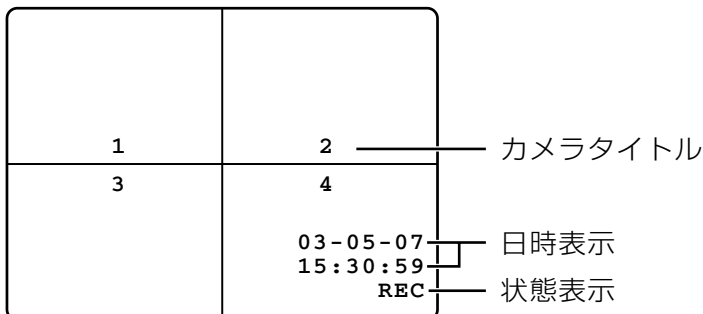
1画面表示(多画面モニター)



状態表示に表示される内容

- PLAY : 再生中。「*」が付加されているときは録画レート変動中[※]。
2倍速再生中は→2PLAYと表示。
- ←PLAY : 逆再生中。「*」が付加されているときは録画レート変動中[※]。
2倍速逆再生中は←2PLAYと表示。
- mFF : 早送り再生中。mは再生速度(mは1~3までの数字)。
- mREW : 早戻し再生中。mは再生速度(mは1~3までの数字)。
- X1/2 : 1/2の速度で再生中(早送り/早戻し再生中)
- REC : 録画中
- STOP : カメラ画像表示中
- PAUSE : 再生一時停止中
- y% : ハードディスクの残容量(上書き機能をSTOPにしている場合で、録画中にジョグダイヤルを左に回すと表示)

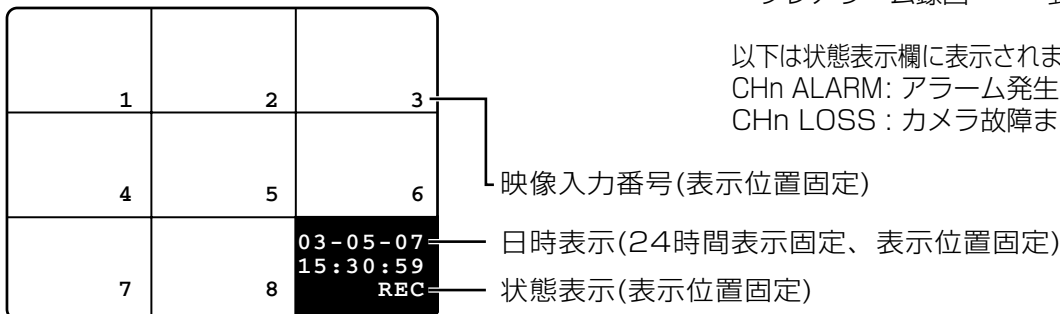
4画面表示(多画面モニター)



※: 設定されている録画レートより少ないレートで録画されていることを意味します。15fps以上の録画レートで録画中に以下のいずれかの機能を使用すると表示されます。

- ・多画面表示
- ・ネットワークアクセス
- ・プレアラーム録画
- ・動き検出機能

8画面表示(多画面モニター)



以下は状態表示欄に表示されます。

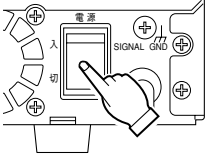
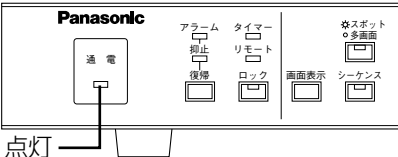
- CHn ALARM: アラーム発生
- CHn LOSS: カメラ故障またはケーブル切断



表示位置や表示形式、表示の有無は、設定画面のDISPLAY SETUP画面で設定できます(8画面表示時は除く)。
→41~46ページ/143ページ

電源を入れる

ここでは、電源の入れかたについて説明します。

操作手順	状態	備考
1 電源プラグをAC100Vの電源コンセントに差し込む		必ず、AC 100 V 50/60 Hzの電源に接続してください。
2 背面の電源スイッチを「入」にする	通電ランプが点灯し、ハードディスクの状態を自動的に確認します。	ハードディスクの状態確認中、モニターにメッセージが数秒表示されます。その後、モニターにカメラ画像が表示されます。
		
3 前面ボタンで操作します		ネットワークのセットアップが完了している場合、ウェブブラウザから操作することもできます。



以下の場合、DISK MENU画面が自動的に表示されます。→101ページ

- ・ハードディスクに問題がある場合
- ・ハードディスクを交換または取り外した場合
- ・SYSTEM CHECK DONE! メッセージが表示されているときに、停止ボタンを押した場合



電源「入」時、自動的に録画を開始するように設定できます(連続録画)。→28ページ/137ページ

手動でDISK MENU画面を表示し、ハードディスクを初期化することもできます。→104ページ

はじめてお使いになる場合

初めてお使いになる場合は、以下の手順で本機のセットアップしてください。

ご使用前に

No.	項目	セットアップ項目	参照ページ		
1	電源を入れる		23		
2	時計を合わせる(必ず行ってください)	MAIN MENU(DISPLAY SETUP) →DISPLAY SETUP(CLOCK)	27		
3	必須項目	録画方法を選ぶ	タイマー録画の開始・終了時刻を設定する	MAIN MENU(TIMER INT) →TIMER REC(PROGn) →PROGn SETUP	28, 37
		起動直後、自動的に録画を開始する(連続録画)	MAIN MENU(TIMER EXT) →MAIN MENU(REC SETUP) →REC SETUP	28	
		手動でのみ録画を開始する(マニュアル録画)	MAIN MENU(TIMER OFF) →MAIN MENU(REC SETUP) →REC SETUP	28	
	マニュアル録画/連続録画の画質を設定する	MAIN MENU(REC SETUP) →REC SETUP	29		
	必要に応じてセットアップする項目	外部スイッチで録画モードを変える	MAIN MENU(EXT REC SETUP) →EXT REC SETUP	40	
		モニター表示情報・ランプの点灯有無を変更する	MAIN MENU(DISPLAY SETUP) →DISPLAY SETUP	41	
		システムの動作を変更する	MAIN MENU(SYSTEM SETUP) →SYSTEM SETUP	47	
		アラーム発生時の動作を変更する 動き自動検出機能を使う	MAIN MENU(ALARM SETUP) →ALARM SETUP	57	
		通信設定	PS・Data対応機器またはRS-232C制御機器を接続する	MAIN MENU(COMMUNICATION SETUP) →COMMUNICATION SETUP (SERIAL SETUP)	59
			サーバーに画像を転送する/ウェブブラウザから操作する/専用ソフトで録画画像を取得する	MAIN MENU(COMMUNICATION SETUP) →COMMUNICATION SETUP →NETWORK SETUP	65
		動作設定	モニターの初期画面、シーケンス動作を変更する	MAIN MENU(SWITCHER SETUP) →SWITCHER SETUP	70
	シーケンス(カメラ自動切り換え)の順番を変更する		MAIN MENU(SWITCHER SETUP) →SWITCHER SETUP(SEQUENCE SETUP) →MULTI SEQ SETUP →SPOT SEQ SETUP	71	
4	操作する		77		
5	システム情報を確認する	MAIN MENU(SYSTEM INFORMATION) →SYSTEM SETUP	96		
6	電源を切る		98		
	ハードディスクに障害が発生した場合	DISK MENU	99		

設定画面の基本操作

本機を初めて使用する場合、設定が必要です。

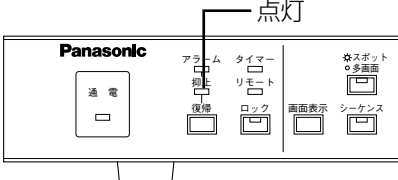
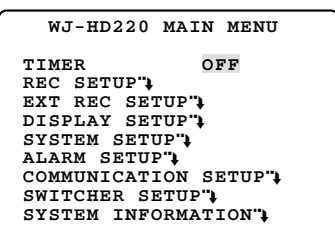
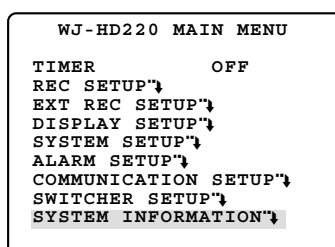
ここでは、設定画面の表示方法と基本的な操作方法について説明します。



重要 準備を始める前に、多画面出力端子にモニターが接続されていることを確認してください。設定画面はスポットモニターに表示できません。

前面ボタン操作がロックされているときは(ロックランプ点灯時)、ロックを解除する必要があります。→90ページ

表示のしかた

操作手順	状態	備考
<p>1 本機の電源を入れる →23ページ</p>	<p>通電ランプが点灯します。</p>	<p>再生しているときは停止ボタンを、録画しているときは、録画停止ボタンを押して、停止してから次の手順に進んでください。</p>
<p>2 アラーム動作より設定操作を優先する場合、復帰ボタンとロックボタンを同時に押し、アラームを抑止する →94ページ</p>	<p>抑止ランプが点灯します。</p> 	<p>設定中にアラームが発生すると設定操作が中断され、アラーム動作を行います。→92ページ</p>
<p>3 MAIN MENUが表示されるまで、停止ボタン (SETUP/ESC) を押し続ける(約2秒)</p>	<p>多画面モニターにMAIN MENUが表示されます。</p> 	
<p>4 ▲ボタンまたは▼ボタンで設定したい項目にカーソルを合わせる</p>	<p>カーソルを上下に動かし、SYSTEM INFORMATIONにカーソルを合わせてください。</p> 	<p>◀▶ を押して下に移動 ◀▶ を押すと上に移動</p>

設定画面の基本操作

続き

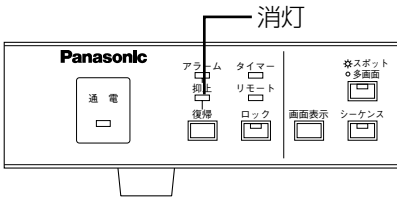
操作手順	状態	備考
<p>5 ジョグダイヤルを押す</p> 	<p>設定画面(SYSTEM INFORMATION 画面)が表示されます</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <p style="text-align: center;">SYSTEM INFORMATION</p> <p>HDD1 HOUR METER xxxxxH</p> <p>HDD2 HOUR METER xxxxxH</p> <p>HDD CAPACITY xxx.xxG</p> <p>DEFAULT→ SET→</p> <p>SYSTEM VERSION X.XX</p> <p>SYSTEM LOG^{!!}↓</p> </div>	<p>設定値は、ジョグダイヤルを回して変更できます(SYSTEM INFORMATION 画面に値を変更できる項目はありません)。→96 ページ</p>



!!記号について：この記号が付いた項目にカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押すと、詳細を設定するための設定画面が表示されます。

→記号について：この記号が付いた項目は、ジョグダイヤルを押すと変更できるようになります。

終了のしかた

操作手順	状態	備考
<p>1 MAIN MENU画面に戻るまで、停止ボタン (SETUP/ESC) を押す</p>		
<p>2 MAIN MEN画面が消えるまで停止ボタンを押し続ける(約2秒)。</p>	<p>モニターにカメラ画像のみ表示されます。</p>	<p>ネットワークの設定を変更すると、設定を終了したとき、自動的に再起動が行われます。ネットワークの設定は再起動後から有効になります。</p>
<p>3 アラーム動作を再開するときは、再度、復帰ボタンとロックボタンを同時に押す。</p>	<p>抑止ランプが消灯します。</p> 	

時計を合わせる

本機を初めてお使いになるときは、以下の手順で本機の時計を現在時刻に合わせてください。時計は定期的に確認し、現在時刻と一致していないときは再設定してください。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 MAIN MENUのDISPLAY SETUPにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	DISPLAY SETUP画面が表示されます。	DISPLAY SETUP画面の詳細は、→41ページ
2 CLOCKにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	カーソルが年に移動します。 CLOCK→03- 1- 1 15:05	
3 ジョグダイヤルを回して、年を合わせる	01(2001年)~69(2069年)まで選択できます。	時計方向に回すと数値が大きくなり、反時計方向に回すと数値が小さくなります。
4 ジョグダイヤルを押す	カーソルが月に移動します。 CLOCK→03- 9-20 15:05	
5 手順3と4の操作を繰り返して、月、日、時、分を設定する	設定例 CLOCK→03- 5- 7 19:00	秒は設定できません。
6 設定が完了したら停止ボタンを押す	設定例 CLOCK→03- 5- 7 19:00	停止ボタンを押したときに、設定した時刻の0秒に時計の時刻を合わせます。
7 セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



時計表示する/しないに関係なく、時刻は必ず合わせてください。年月日時分のいずれかの項目にカーソルを移動した場合は、時刻変更をしていなくても、停止ボタンを押すことにより本機の秒数を0秒に合わせます。



一度時刻を合わせた後、本機の時計で他の機器の時刻を合わせたり、他の機器(親時計)の時刻で本機の時刻を合わせることができます。→53ページ/144~145ページ

セットアップする

録画方法を選択する

本機で録画を行う場合、はじめに録画開始方法を選択します。

録画開始方法は、タイマー録画、連続録画、マニュアル録画があります。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 MAIN MENUのTIMERにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを合わせる	TIMER OFF	
2 ジョグダイヤルを回して、録画方法を選択する	以下から選択できます。 OFF : マニュアル録画 INT ↓: タイマー録画 EXT : 連続録画	マニュアル録画と連続録画は同じ録画モードで録画されます。 タイマー録画を行う場合も、タイマー録画時間外に録画ボタンを押して録画できます。この場合、マニュアル録画の画質となります。
3 録画モードを設定する	該当するページを参照し、録画モードを設定してください。 マニュアル録画→29～36ページ タイマー録画→37～38ページ 連続録画→29～36ページ	
4 セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

マニュアル録画・連続録画・アラーム録画の録画モードを設定する

マニュアル録画と連続録画時は録画開始方法が異なるだけで、同じ録画モードで録画されます。また、タイマー録画を選択しても、録画停止中に録画ボタンを押す(マニュアル録画)とマニュアル録画の録画モードで録画できます。これらの録画モードは、MAIN MENUのREC SETUPで設定します。設定時、マニュアル録画または連続録画中にアラームが発生した場合の録画モード(アラーム録画の録画モード)を設定できます。



・録画時間モード/録画可能時間について

画質および解像度によって選択できる時間は異なります。この時間は、録画時間の目安としてお考えください(実際に録画できる時間ではありません)。

SPまたはSP-A選択時に表示される録画可能時間は、録画時間の目安としてお考えください(実際に録画できる時間ではありません)。

・録画レートについて

録画レートに7.5FPSより大きなレートを指定した場合、多画面表示、プレアラーム録画、ネットワークの操作、または自動動き検出機能のいずれかと組み合わせて使用すると、指定した録画レートより少ないレートで録画されることがあります。同時録再機能をONにすると、録画レート (REC RATE) の最大値は自動的に15 FPSに変更されます。

録画モードを設定する

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 TIMERをOFFまたはEXTに設定する	WJ-HD220 MAIN MENU TIMER OFF REC SETUP"↓"	タイマー録画(TIMER INT"↓")→ 37~38ページ
2 REC SETUP"↓"にカーソルを合わせる	WJ-HD220 MAIN MENU TIMER OFF REC SETUP"↓"	
3 ジョグダイヤルを押す	REC SETUP画面が表示されます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <pre> REC SETUP REC MODE→ SF- 48H REC RATE 30FPS REC QUALITY SUPER FINE ALM REC MODE→ SF- 48H REC RATE 30FPS REC QUALITY SUPER FINE PRE ALM REC 0S POST ALM REC 10S DYNAMIC REC OFF TRIGGER ACTION SETUP"↓" CAM REC SETUP </pre> </div>	
4 REC MODE→にカーソルを合わせる	REC MODE→ SF- 48H REC RATE 30FPS REC QUALITY SUPER FINE	

セットアップする

続き

操作手順	状態・設定範囲	備考
5 ジョグダイヤルを押す	録画モードにカーソルが移動します。 REC MODE → SF- 48H	
6 ジョグダイヤルを回して、録画モードを選択する	以下から選択できます。 SF/SF-A : 最高画質 FQ/FQ-A : 高画質 NQ/NQ-A : 標準画質 EX/EX-A : 低画質 SP/SP-A : 個別設定	画質および解像度によって自動的に録画時間が計算され表示されず。 画像と音声を同時に録画するときは、SF-A/FQ-A/NQ-A/EX-A/SP-Aを選択してください。
7 ジョグダイヤルを押す	録画時間モードにカーソルが移動します。 REC MODE → SP-194H	
8 ジョグダイヤルを回して録画時間モードを選択する	選択できる時間は、録画モードによって異なります。選択できる時間は、別冊「録画モード設定ガイド」をお読みください。	なお、録画時間は目安であり、実際に録画できる時間は異なります。 録画時間を選択すると、録画レート(REC RATE)および画質(REC QUALITY)が自動計算されて表示されます。詳しくは、別冊「録画モード設定ガイド」をお読みください。
9 REC RATEにカーソルを合わせる(SP/SP-A選択時のみ移動可能)	REC MODE → SP-194H REC RATE 7.5FPS REC QUALITY SUPER FINE	
10 ジョグダイヤルを回して最大録画レートを選択する	30FPS(同時録再を行う場合は15FPS)まで選択できます。	数値が大きいほどなめらかな動きで録画できますが、録画時間が短くなります。 選択した録画レートを基に録画可能時間が自動計算され、SP/SP-Aの右に表示されます。

つづく

続き

操作手順	状態・設定範囲	備考
11 REC QUALITYにカーソルを合わせる(SP/SP-A選択時のみ移動可能)	REC MODE → SP- 97H REC RATE 15FPS REC QUALITY <u>SUPER FINE</u>	
12 ジョグダイヤルを回して、画質を選択する	以下から選択できます。 SUPER FINE : 最高画質 FINE : 高画質 NORMAL : 標準画質 EXTENDED : 低画質(長時間録画)	低画質より高画質の方が画質は良くなりますが、録画可能時間が短くなります。 選択した画質を基に録画時間が自動計算され、SP/SP-Aの右に表示されます。
13 停止ボタンを押す	REC MODEにカーソルが戻ります。 REC MODE → SP- 97H	引き続き、タイマー録画中以外のアラーム録画に対する録画モードを設定してください。
14 セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



録画レートが小さい値になるような設定をすると、アラーム画像または日時検索で検索結果が表示されるまで、数10秒かかることがあります。

アラーム録画時の録画モードを設定する

タイマー録画で録画しているとき以外の状態でアラームが発生したときの録画モードを設定します。



タイマー録画を行うときは、TIMER REC画面で設定したアラーム録画の録画モードで録画されます。

REC SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 ALM REC MODEにカーソルを合わせる	ALM REC MODE → SF-48H REC RATE 30FPS REC QUALITY SUPER FINE	
2 ジョグダイヤルを押す	録画モードにカーソルが移動します。 ALM REC MODE → <u>SF-48H</u>	

つづく

セットアップする

続き

操作手順	状態・設定範囲	備考
3 REC MODEと同じ手順で各項目を設定する	ALM REC MODE→ <u>SF- 48H</u> REC RATE 30FPS REC QUALITY SUPER FINE	終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。
4 停止ボタンを押す	ALM REC MODEにカーソルに戻ります。 ALM REC MODE→ <u>SF- 48H</u>	関連設定項目 ・ PRE ALARM→32ページ、 ・ POST ALARM→33ページ
5 セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

基本設定項目

アラーム発生直前の画像の録画時間(PRE ALARM REC)

アラーム発生時、直前の画像を5秒までさかのぼって録画することができます。

REC SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 PRE ALARM RECにカーソルを合わせる	PRE ALARM REC <u>0S</u>	お買い上げ時は0Sに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して録画時間を選択する	0S(録画しない)~5S(秒)まで1秒単位で選択できます。	
5 セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



PRE ALARM RECの録画レートは以下のようになります。

- ・ 同時録再機能OFF時
カメラを1台のみ接続して録画する場合: 30FPS固定
カメラを複数台接続している場合: カメラ1台あたりの録画レートは「30÷接続カメラ数」
- ・ 同時録再機能ON時
カメラを1台のみ接続して録画する場合: 15FPS固定
カメラを複数台接続している場合: カメラ1台あたりの録画レートは「15÷接続カメラ数」

アラームモード継続時間の選択(POST ALARM REC)

アラームモードの継続時間を選択します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 POST ALARM RECにカーソルを合わせる	POST ALARM REC <u>10S</u>	お買い上げ時は10S(10秒)に設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して録画時間を選択する	以下から選択できます 5S(秒)、10S、20S、30S、1M(分)、1.5M、2M、3M、6M: 選択した時間、アラーム録画時の画質で録画します。 MANUAL: センサーが動作している間(アラーム信号が入力されている間)、アラーム録画時の画質で録画します。 CONTINUE: 復帰ボタンを押すまでアラーム録画時の画質で録画します。	時間を選択した場合、選択した時間が経過すると自動的にアラームが解除されます(アラーム自動復帰)。自動復帰すると、ALARMランプの点滅が点灯に変わります。 MANUALを選択した場合、最短録画時間は10秒です。
3 セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

アラーム発生時の録画方法(DYNAMIC REC)

アラーム発生時、接続されているすべてのカメラの画像を録画するか、アラーム番号に該当するカメラの画像を録画するか選択します。

REC SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 DYNAMIC RECにカーソルを合わせる	DYNAMIC REC <u>OFF</u>	お買い上げ時はOFFに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して録画時間を選択する	OFF: 接続されているすべてのカメラの画像を録画します(ただしTRIGGER ACTION SETUP画面でOFFに設定されたカメラの画像は録画されません) ALM-MULTI: アラーム番号に対応したカメラの画像を録画します	アラーム入力1~8は映像入力1~8に対応しています。
3 セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

セットアップする

アラーム発生時の録画動作 (TRIGGER ACTION SETUP"↓)

カメラごとに、アラーム発生時の動作を選択できます。

REC SETUP画面から説明します。

操作手順

状態・設定範囲

備考

1 TRIGGER ACTION SETUP
"↓"にカーソルを合わせる

TRIGGER ACTION SETUP"↓

2 ジョグダイヤルを押す

TRIGGER ACTION SETUP画面が表示されます。

お買い上げ時は、左図のように設定されています。

カメラ入力1から順番にアラーム入力1~8に対応しています。

TRIGGER ACTION SETUP		
CAM	MODE	PRESET
1 →	REC&ALM	--
2 →	REC&ALM	--
3 →	REC&ALM	--
4 →	REC&ALM	--
5 →	REC&ALM	--
6 →	REC&ALM	--
7 →	REC&ALM	--
8 →	REC&ALM	--

3 変更したいカメラ (CAM欄)
にカーソルを移動する

CAM	MODE	PRESET
<u>1</u> →	REC&ALM	--
:		

4 ジョグダイヤルを押す

MODE欄にカーソルが移動し、選択したカメラのアラーム発生時の動作を設定できるようになります。

CAM	MODE	PRESET
1 →	<u>REC&ALM</u>	--
:		

5 ジョグダイヤルを回して動作
を選択する

以下から選択できます。

OFF: アラーム動作、アラーム録画は行いません。

REC&ALM: アラーム動作、アラーム録画を行います。

REC: アラーム録画、プリセット移動のみ行います。その他のアラーム動作は行いません。

アラーム動作→92~94ページ

続き

操作手順	状態・設定範囲	備考									
6 ジョグダイヤルを押す	PRESET欄にカーソルが移動し、 選択したカメラのアラーム発生時 プリセット移動を設定できるよう になります。 <table border="1" data-bbox="536 573 967 696"><thead><tr><th>CAM</th><th>MODE</th><th>PRESET</th></tr></thead><tbody><tr><td>1 →</td><td>REC&ALM</td><td>--</td></tr><tr><td></td><td>:</td><td></td></tr></tbody></table>	CAM	MODE	PRESET	1 →	REC&ALM	--		:		コンビネーションカメラが接続さ れていない場合は無効です。 CAM5~8はPRESETの設定がで きません。
CAM	MODE	PRESET									
1 →	REC&ALM	--									
	:										
7 ジョグダイヤルを回して画像 の切り換え方法を選択する	以下から選択できます。 1~64: プリセットポジションに 移動します。 HOME: ホームポジションに移動 します。 --: プリセット移動は行いません。										
8 停止ボタンを押す	CAM欄にカーソルが戻ります。										
9 手順3~8を繰り返して、他のカメラを設定する											
10 MAIN MENU画面に戻り、セ ットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項 目を設定することもできます。									



重要

- ・プリセット移動を設定していても、自動動き検出機能（VMDアラーム）にはプリセット移動は動作しません。
- ・アラーム発生時にプリセット移動を行う場合は、あらかじめ、カメラにプリセットポジションおよびホームポジションを設定しておく必要があります。

セットアップする

マニュアル録画・連続録画で録画するカメラを選択する(CAM REC SETUP"↓)

マニュアル録画または連続録画で録画するカメラを選択します(タイマー録画中以外に発生したアラーム録画も含む)。



- ・アラーム発生時にのみ録画するカメラとすべての状態で録画するカメラとを、切り分けて設計されているシステムの場合にのみ設定してください。設定を誤ると必要なカメラ画像が録画されないことがありますので注意してください。
- ・多画面表示、動き自動検出、またはネットワークアクセスを行う場合で、できるだけなめらかな動きで録画したいときは、接続されているすべてのカメラをREC(お買い上げ時の状態)にすることをお勧めします。

REC SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考																				
1 CAM REC SETUP"↓"にカーソルを合わせる	CAM REC SETUP"↓"																					
2 ジョグダイヤルを押す	CAM REC SETUP画面が表示されます。 <table border="1"><thead><tr><th colspan="2">CAM REC SETUP</th></tr><tr><th>CAM</th><th>MODE</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>REC</td></tr><tr><td>2</td><td>REC</td></tr><tr><td>3</td><td>REC</td></tr><tr><td>4</td><td>REC</td></tr><tr><td>5</td><td>REC</td></tr><tr><td>6</td><td>REC</td></tr><tr><td>7</td><td>REC</td></tr><tr><td>8</td><td>REC</td></tr></tbody></table>	CAM REC SETUP		CAM	MODE	1	REC	2	REC	3	REC	4	REC	5	REC	6	REC	7	REC	8	REC	
CAM REC SETUP																						
CAM	MODE																					
1	REC																					
2	REC																					
3	REC																					
4	REC																					
5	REC																					
6	REC																					
7	REC																					
8	REC																					
3 設定を変更したいカメラにカーソルを合わせる	<table border="1"><thead><tr><th>CAM</th><th>MODE</th></tr></thead><tbody><tr><td>1</td><td>REC</td></tr></tbody></table>	CAM	MODE	1	REC	お買い上げ時は、すべてRECに設定されています。																
CAM	MODE																					
1	REC																					
4 ジョグダイヤルを回して録画するかしないかを選択する	以下から選択できます。 REC: アラームを含むすべての状態で録画します。 ALM-ONLY: アラーム発生時にのみ録画します。																					
5 停止ボタンを押す	REC SETUP画面に戻ります。																					
6 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。																				

タイマー録画を設定する(TIMER REC)

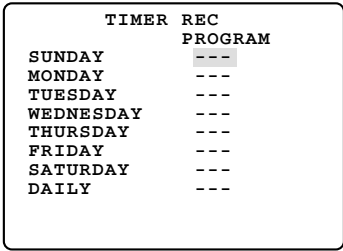
はじめにお読みください

1. 本機は4つまで録画スケジュールをプログラムすることができます。
曜日ごとに、実行したいプログラム(PROG1~PROG4の中からひとつ)を割り当てます。
2. 1つのプログラムは1日に該当します。
1つのプログラムは、1日を4つの時間帯に分けて、それぞれに異なる録画モードを設定できます。
例えば、夜間、早朝、お客様の多い時間帯、お客様の少ない時間帯などに分けて、その時間帯に適した録画シートで録画するよう設定できます。
アラーム録画の録画モードは時間帯ごとに異なる録画モードで録画するよう設定できます。
3. 毎日同じスケジュールでタイマー録画を行うことができます。
DAILYにのみプログラムを割り当てると、毎日同じスケジュールでタイマー録画を行うことができます。
DAILYと特定の曜日にだけプログラムを割り当てると、プログラムを割り当てていない曜日はDAILYに割り当てられているプログラムでタイマー録画を行います。
4. タイマー録画を設定しても録画を停止している間(タイマー録画時刻外)は、マニュアル録画で録画できます。
また、タイマー録画が停止しているときにアラームが発生すると、マニュアル録画に設定されているアラーム録画の録画モードで録画されます。



- ・DAILYにプログラムを割り当てないと、プログラムが割り当てられてない曜日はタイマー録画を行いません。
- ・すべての曜日にプログラムを割り当てると、DAILYに割り当てられているプログラムは無効になります。

プログラムを割り当てる

操作手順	状態・設定範囲	備考
1. TIMERをINT \downarrow に設定する	WJ-HD220 MAIN MENU TIMER INT \downarrow REC SETUP \downarrow	マニュアル録画または連続録画→ 29~36ページ
2. ジョグダイヤルを押す	TIMER REC画面が表示されます。 	
3. プログラムを割り当てる曜日にカーソルを移動する	SATURDAY --- DAILY ---	
4. ジョグダイヤルを回して、実行するプログラムを選択する	以下から選択できます。 PROG1 \downarrow ~PROG4 \downarrow ---: タイマー録画OFF	初めてお使いになる場合は、プログラムを作成してください。→次ページ

セットアップする

続き

操作手順	状態・設定範囲	備考
5 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

プログラムを作成する (PROG1~4 SETUP)

TIMER REC画面から説明します。

基本設定項目

操作手順	状態・設定範囲	備考																				
1 TIMER REC画面を表示する																						
2 プログラムを割り当てる曜日にカーソルを移動し、実行するプログラムを選択する	SATURDAY --- DAILY <u>PROG1</u>	DAILYにPROG1を割り当てる場合を例に説明します。																				
3 ジョグダイヤルを押す	PROG1 SETUP画面が表示されます。	イベント1から順番に設定してください。																				
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;"> <p style="text-align: center;">PROG1 SETUP</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>NO.</th> <th>START</th> <th>END</th> <th>MODE</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1→</td> <td>--:--</td> <td>--:--</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>2→</td> <td>--:--</td> <td>--:--</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>3→</td> <td>--:--</td> <td>--:--</td> <td>-</td> </tr> <tr> <td>4→</td> <td>--:--</td> <td>--:--</td> <td>-</td> </tr> </tbody> </table> </div>	NO.	START	END	MODE	1→	--:--	--:--	-	2→	--:--	--:--	-	3→	--:--	--:--	-	4→	--:--	--:--	-	イベント間で、録画時間が重なるような設定はできません。また、時刻が早い順番に設定する必要があります。
NO.	START	END	MODE																			
1→	--:--	--:--	-																			
2→	--:--	--:--	-																			
3→	--:--	--:--	-																			
4→	--:--	--:--	-																			
4 タイマーを設定するイベント番号(1~4)にカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	1→ --:-- --:-- -																					
5 録画開始時刻(START)にカーソルが移動します。	1→ --:-- --:-- -																					
6 ジョグダイヤルを回して、開始時間を設定する	1→ 0:00 0:00 SET"↓	タイマーを設定するときは、開始時刻を-以外に設定してください。																				
7 ▼ボタンを押して、分にカーソルを移動する	1→ 10:00 10:00 SET"↓	分を入力すると、自動的に終了時刻が設定されます。																				
8 手順5~6と同様に録画終了時刻を設定する	1→ 10:05 11:00 SET"↓	終了時刻(END)に、開始時刻より0:00~24:00まで選択できます。																				
9 ジョグダイヤルを押す	SET"↓にカーソルが移動します。 1→ 10:00 18:30 SET"↓																					

続き

操作手順	状態・設定範囲	備考
10 プログラムを作成または変更するとき、ジョグダイヤルを押す	PROG1 SETUP画面が表示されます。 <div data-bbox="576 490 919 736" style="border: 1px solid black; padding: 5px; text-align: center;">PROG1 NO.1 SETUP REC MODE→ SF- 96H REC RATE 15FPS REC QUALITY SUPER FINE ALM REC MODE→ SF- 48H REC RATE 15FPS REC QUALITY SUPER FINE PRE ALM REC 0S POST ALM REC 10S DYNAMIC REC OFF TRIGGER ACTION SETUP↵ CAM REC SETUP</div>	PROGn NO.n SETUP画面の設定方法は、REC SETUP画面と同じです。→29~36ページ
11 設定が完了したら停止ボタンを押す	PROGn NO.n SETUP画面に戻ります。	手順3~12を繰り返して、他のイベントを設定します。
12 停止ボタンを押す	TIMER REC画面に戻ります。	
13 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



- ・24時間連続して録画する場合は、START 00:00 END 24:00と指定します。
- ・タイマー設定でSTARTとENDに同じ時間を設定するとタイマー録画は行いません。
- ・曜日をまたがって録画する場合は、以下のように指定します(月曜日から火曜日にかけて連続して録画する場合)。
月曜日: 最終イベントの録画終了時刻(END)に24:00を指定する
火曜日: 第1イベントの開始時刻(START)に00:00を指定する。
- ・プリセット移動はREC SETUP - TRIGGER ACTION SETUPのプリセット設定にしたがって動作します。(→34ページ)

セットアップする (オプション)

外部録画時の録画モードを設定する

この設定は、本機に外部スイッチを接続して、録画中の録画モードを変更したい場合にのみ設定してください。なお、外部スイッチで、録画を開始することはできません。

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 MAIN MENUのEXT REC SETUPにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを合わせる	EXT REC SETUP ↓	
2 ジョグダイヤルを押す	EXT REC SETUP画面が表示されます。 	
3 外部録画時の録画モードを設定する	外部録画の録画モード(REC MODE, REC RATE, REC QUALITY)の設定方法は、REC SETUP画面と同じです。→29ページ	
4 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



外部録画で録画中にアラームが発生した場合、録画時のアラーム録画モードで録画されます。

モニター表示情報・各種ランプに関する設定(DISPLAY SETUP)

モニターに表示する情報と各種ランプの点灯の有無を設定します。



時計の設定方法→27ページ

時計の表示形式を設定する(TIME&DATE DISP.)

本機は、時計の表示（表示する／表示しない）、時計の表示形式(1行表示または2行表示)および、時刻の単位(12時間/24時間)を選択できます。

映像の録画時、合わせて時刻表示も録画するように設定している場合は、この設定で指定した形式で時計表示が録画されます。(→次ページ)

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 MAIN MENUのDISPLAY SETUP $\downarrow\downarrow$ にカーソルを合わせる	DISPLAY SETUP \downarrow	
2 ジョグダイヤルを押す	DISPLAY SETUP画面が表示されます。 	
3 TIME&DATE DISP.にカーソルを合わせる	TIME&DATE DISP. TYPE1 24H	お買い上げ時は、TYPE1 24Hに設定されています。
4 ジョグダイヤルを回して、表示形式と時刻の単位を選択する	以下から選択できます。 TYPE1 24H: 1行表示、24時間制 TYPE1 12H: 1行表示、12時間制 TYPE2 24H: 2行表示、24時間制 TYPE2 12H: 2行表示、12時間制 OFF: 表示しない	表示例 TYPE1 24H 04- 5-24 19:00:00 TYPE2 12H 04- 5-24 7:00:00P
5 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



- ・TYPE1 12HまたはTYPE2 12Hを選択した場合、午前のはきは「A」が、午後のはきは「P」が時刻の後に表示されます。
- ・8画面の場合、TYPE2 24H固定となります。
- ・ALARM RECALL表示、SYSTEM LOG表示、DISPLAY SETUP画面の「CLOCK」、TIMER REC画面は24時間制で表示されます。

セットアップする(オプション)

時計表示位置の選択(TIME&DATE POSI.)

動作状態やカメラの名前などのモニター表示項目と重ならないように表示位置を選択できます。映像の録画時、合わせて時計表示も録画するように設定している場合は、この設定で指定した位置に時計表示が録画されます。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 TIME&DATE POSI.にカーソルを合わせる	TIME&DATE POSI. R-LOWER	お買い上げ時は、R-LOWERに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して、表示位置を選択する	以下から選択できます。 R-LOWER: 画面右下 L-LOWER: 画面左下 R-UPPER: 画面右上 L-UPPER: 画面左上	8画面の場合、R-LOWER固定となります。
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

時刻埋め込みのON/OFF(TIME&DATE EMB.)

録画時、時計表示も合わせて録画するかどうかを選択します。時計表示の形式と録画される位置は、それぞれTIME&DATE DISP.、TIME&DATE POSI.の設定に従います。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 TIME&DATE EMB.にカーソルを合わせる	TIME&DATE EMB. OFF	お買い上げ時は、OFFに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して、時刻埋め込みのON/OFFを選択する	以下から選択できます ON: 時計表示も合わせて録画する OFF: 時計表示は録画しない	
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



- ・ 時計表示も合わせて録画する設定にし、TIME&DATE DISP.でOFFを選択する場合、時計表示の形式はTYPE1 24Hとなります。
- ・ 時計表示も合わせて録画する設定にしている場合、1画面表示で再生すると再生時の時刻は表示されません(埋め込まれた時刻のみ表示します)。

動作状態表示のON/OFF (STATUS DISP.)

画面表示ボタンを操作したとき、本機の動作状態をモニターに表示するかしないかを選択します。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 STATUS DISP.にカーソルを合わせる	STATUS DISP. ON	お買い上げ時は、ONに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して、表示する/しないを選択する	以下から選択できます。 ON: 表示する OFF: 表示しない	画面表示 →22ページ
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



ハードディスクの残容量は、DISK END MODEでSTOPを選択したとき、表示されます。

動作状態表示位置の選択 (STATUS POSI.)

時計やカメラ名などのモニター表示などと重ならないように表示位置を選択できます。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 STATUS POSI.にカーソルを合わせる	STATUS POSI. R-LOWER	お買い上げ時は、R-LOWERに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して、表示位置を選択する	以下から選択できます。 R-LOWER: 画面右下 L-LOWER: 画面左下 R-UPPER: 画面右上 L-UPPER: 画面左上	8画面の場合、R-LOWER固定となります。
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

セットアップする(オプション)

FULLランプ点滅条件の設定(HDD FULL)

ハードディスクの空き容量が設定した割合(%)以下になったとき、FULLランプの点滅でお知らせします。点滅を開始する割合を設定します。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 HDD FULLにカーソルを合わせる	HDD FULL 1%	お買い上げ時は、1%に設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して、FULLランプの点滅を開始する残容量を設定する	設定範囲 1%~99%	設定した値以下になると点滅を開始します。
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



モニターに表示されるパーセントは残容量の比率です(ハードディスクの使用率ではありません)。モニターに表示される数値が小さくなると残容量が少なくなっていることを示していますので、ご注意ください。

FULLランプはDISK END MODEの設定がSTOPのときのみ点滅または点灯します。



本機は、ハードディスクの残容量が0になるとブザーが鳴るように設定されています。残容量が0になってもブザーをならさないように設定することもできます。→51ページ/144ページ

リモートランプON/OFFの選択(REMOTE LED)



ネットワークに接続されたPCから本機を操作している間、リモートランプを点灯するかしないかを選択できます。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 REMOTE LEDにカーソルを合わせる	REMOTE LED ON	お買い上げ時は、ONに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して、リモートランプを点灯する/点灯しないを選択する	以下から選択できます。 ON: 点灯する OFF: 点灯しない	
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

ハードディスク状態チェックのON/OFF(HDD CHECK)

本機には、自己管理報告機能(S.M.A.R.T.)付きのハードディスクが内蔵されています。HDD CHECKをONにすると、本機は毎日設定した時間にハードディスクの状態を確認し、交換が必要なときはエラーランプを点滅(黄色)してお知らせします。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 HDD CHECKにカーソルを合わせる	HDD CHECK OFF	お買い上げ時は、OFFに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して、状態をチェックする時刻を選択する	以下から選択できます。 OFF: 状態をチェックしない 0:00~23:00: 状態をチェックする。チェックする時刻を選択する(時間単位)	分は指定できません。指定した時刻の0分にハードディスクに状態を問い合わせます。
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



ハードディスクのチェックには約1秒かかります。その間、録画(アラーム録画も含みます)は中断されます。

カメラに名前を付ける(CAMERA TITLE)

モニターに映している画像を識別しやすくするために、カメラごとに名前(カメラ名)を付けることができます。設定したカメラ名は、カメラごとに表示のON/OFFおよび表示位置を選択できます。

DISPLAY SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考																														
1 CAMERA TITLEにカーソルを合わせる	CAMERA TITLE ↓																															
2 ジョグダイヤルを押す	CAMERA TITLE画面が表示されます。	CAM欄の1~8は映像入力端子1~8に対応しています。																														
	<table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="3">CAMERA TITLE</th> </tr> <tr> <th>CAM</th> <th>TITLE</th> <th>POSI.</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1</td><td>ON→ 1.....</td><td>R-LOWER</td></tr> <tr><td>2</td><td>ON→ 2.....</td><td>R-LOWER</td></tr> <tr><td>3</td><td>ON→ 3.....</td><td>R-UPPER</td></tr> <tr><td>4</td><td>ON→ 4.....</td><td>R-UPPER</td></tr> <tr><td>5</td><td>ON→ 5.....</td><td>R-LOWER</td></tr> <tr><td>6</td><td>ON→ 6.....</td><td>R-LOWER</td></tr> <tr><td>7</td><td>ON→ 7.....</td><td>R-UPPER</td></tr> <tr><td>8</td><td>ON→ 8.....</td><td>R-UPPER</td></tr> </tbody> </table>	CAMERA TITLE			CAM	TITLE	POSI.	1	ON→ 1.....	R-LOWER	2	ON→ 2.....	R-LOWER	3	ON→ 3.....	R-UPPER	4	ON→ 4.....	R-UPPER	5	ON→ 5.....	R-LOWER	6	ON→ 6.....	R-LOWER	7	ON→ 7.....	R-UPPER	8	ON→ 8.....	R-UPPER	
CAMERA TITLE																																
CAM	TITLE	POSI.																														
1	ON→ 1.....	R-LOWER																														
2	ON→ 2.....	R-LOWER																														
3	ON→ 3.....	R-UPPER																														
4	ON→ 4.....	R-UPPER																														
5	ON→ 5.....	R-LOWER																														
6	ON→ 6.....	R-LOWER																														
7	ON→ 7.....	R-UPPER																														
8	ON→ 8.....	R-UPPER																														
3 設定したいカメラの行にカーソルを合わせる	1 ON → 1..... R-LOWER	ここでは、1番のカメラの設定を例に説明します。																														

セットアップする(オプション)

続き

操作手順	状態・設定範囲	備考
4 ジョグダイヤルを回して、カメラ名の表示ON/OFFを選択する	以下から選択できます。 ON: 表示する OFF: 表示しない	お買い上げ時は、全カメラ、ONに設定されています。OFFにすると、カメラ名は表示されません。
5 ジョグダイヤルを押す	名前入力エリアにカーソルが移動し、名前を編集できます。 1 ON → <u>1</u> R-LOWER	
6 名前を編集する(5文字)	以下の操作で必要な文字を入力します。 文字の選択: ジョグダイヤルを回すと文字を選べます。 移動: ▲ボタンで右移動、▼ボタンで左移動。 削除: 空白で上書きしてください。	お買い上げ時は、各カメラが接続されている入力端子の番号が設定されています。 文字は以下の中から選べます。 0~9、A~Z、!、%、&、(、)、*、-、/、:、. (ピリオド)、?、←、→、↑、↓、•(空白)
7 名前の編集を終了するときはジョグダイヤルを押す	POS1 欄にカーソルが移動します。 1 ON → <u>1F</u> R-LOWER	
8 ジョグダイヤルを回して、表示位置を選択する	以下から選択できます。 R-LOWER: 画面右下 L-LOWER: 画面左下 R-UPPER: 画面右上 L-UPPER: 画面左上	お買い上げ時は、以下のように設定されています。 1, 2, 5, 6番カメラ: R-LOWER 3, 4, 7, 8番カメラ: R-UPPER ジョグダイヤルを押すと、次のカメラ名の表示ON/OFFを選択できます。8画面表示時、カメラタイトルは表示されません(映像入力が表示されます)。
9 手順3~8を繰り返して、他のカメラを設定します		
10 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



カメラ名を編集するときは、カメラ名表示をONにしてください(手順4)。
カメラ名編集集中に停止ボタンを押すと、カメラ名表示ON/OFFの選択に戻ります。

システムの動作を変更する (SYSTEM SETUP)

本機の基本的な動作に関する設定を変更できます。

- ・ロック機能で使用するパスワードを設定する →90ページ
- ・ボタン操作時のブザー音ON/OFF(キーロック時のみ)
- ・アラーム履歴の改ページ数
- ・同時録再機能ON/OFF
- ・改ざんチェック機能のON/OFF
- ・上書き機能(ディスク・エンド・モード)のON/OFF
- ・ハードディスク容量をすべて使い切ったときのブザー音のON/OFF
- ・再生優先順位を変更する
- ・自動時刻補正を行う
- ・解像度を変更する
- ・ハードディスクセーフティモードを使用する

ロック機能で使用するパスワードを設定する (PASSWORD LOCK)

パスワードには「ALL」と「OPERATION」の2種類があります。

ALL: 管理者用のパスワードです。本機の設定と各種操作ができます。

OPERATION: オペレーター用のパスワードです。再生・録画操作はできますが、設定は変更できません。

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 SYSTEM SETUP"↓"にカーソルを合わせる	SYSTEM SETUP"↓"	
2 ジョグダイヤルを押す	SYSTEM SETUP(1/2)画面が表示されます。カーソルをDISK END BUZZに合わせ、▼ボタンを押すと、SYSTEM SETUP(2/2)を表示できます。	
	<div style="display: flex; justify-content: space-around;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">SYSTEM SETUP (1/2)</p> <p>PASSWORD LOCK OFF</p> <p>ALL→ *****</p> <p>OPERATION→ *****</p> <p>KEYLOCK BUZZ ON</p> <p>SKIP ALM-RECALL 1PAGE</p> <p>SIMUL REC&PLAY ON</p> <p>ALTER DETECT OFF</p> <p>DISK END MODE CONTIMUE</p> <p>DISK END BUZZ ON</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 45%;"> <p style="text-align: center;">SYSTEM SETUP (2/2)</p> <p>PLAY PRIORITY LOCAL</p> <p>TIME ADJUST SETUP"↓"</p> <p>RESOLUTION→ NORMAL→</p> <p>HDD SAFETY MODE OFF</p> </div> </div>	
3 PASSWORD LOCKにカーソルを合わせる	PASSWORD LOCK OFF	
4 ジョグダイヤルを回して、パスワード保護する(ON)を選択する。	PASSWORD LOCK ON 以下から選択できます。 OFF: 自動ロックしません ON: 起動時および5分以上無操作状態が継続したとき、自動的にロックします。	お買い上げ時は、OFFに設定されています。

セットアップする(オプション)

続き

操作手順	状態・設定範囲	備考
5 管理者用パスワードを登録する場合、ALLにカーソルを合わせる オペレーター用パスワードを登録するときはOPERATIONにカーソルを合わせる	PASSWORD LOCK ON ALL → ***** OPERATION → *****	お買い上げ時、パスワードは12345に設定されています(ALL、OPERATION共通)。 カーソル位置に、設定されている数字が表示されます。
6 ジョグダイヤルを押す	パスワード入力エリアにカーソルが移動します(設定されているパスワードが表示されます)。 PASSWORD LOCK ON ALL → 12345 OPERATION → *****	管理者用のパスワードを例に説明します。
7 カメラ選択ボタン1~8でパスワードを入力する ジョグダイヤルを押すとカーソルを次のけたに移動できません	設定範囲: 各けた1~8、5けた入力してください。 PASSWORD LOCK ON ALL → 82345 OPERATION → *****	
8 パスワードの入力を終了するときは停止ボタンを押す	ALLまたはOPERATIONにカーソルが戻ります。	
9 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



第3者による不正使用を防止するため、パスワード保護はONにしてください。また、お買い上げ時設定されているパスワードは必ず変更してください。変更後のパスワードは忘れないよう記録し保管してください。



手順6でパスワード入力エリアにカーソル移動すると、設定されているパスワードが表示されます。

ボタン操作時のブザー音ON/OFF(KEYLOCK BUZZ)

ロック中にパスワードを入力しないで操作しようとする時、ブザーが鳴ります。ブザーを鳴らさないよう設定できます。

SYSTEM SETUP(1/2)画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 KEYLOCK BUZZにカーソルを合わせる	KEYLOCK BUZZ ON	
2 ジョグダイヤルを回してブザーON/OFFを選択する	以下から選択できます。 ON: ブザーを鳴らします。 OFF: ブザーを鳴らしません。	お買い上げ時は、ONに設定されています。
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

アラーム履歴の改ページ数の選択(SKIP ALM-RECALL)

アラーム履歴を表示しているとき、ジョグダイヤルで改ページする枚数を選択します。

SYSTEM SETUP(1/2)画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 SKIP ALM-RECALLにカーソルを合わせる	SKIP ALM-RECALL <u>1</u>PAGE	お買い上げ時は、1 PAGEに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して改ページ数を選択する	1、5、10、20、50 ページから選択できます。	
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

セットアップする(オプション)

同時録再機能のON/OFF(SIMUL REC&PLAY)

録画と再生を同時に行いたい場合、ONにします。

OFFにすると、録画中に再生するには録画を停止する必要があります。また、再生中、ネットワーク再生中、またはFTP/HTTPによる画像取得中に録画を開始すると、再生またはFTP/HTTPによる画像取得が停止します。



- ・同時録再機能をONにすると、最大録画レートが15FPSに制限されます。既に15FPSより大きい値が指定されているときは、自動的に15FPSに変更されます(すべての録画に関する録画レートが変更されます)。ただし、ネットワークからアクセスしたり多画面表示に切り換えたりすると最大録画レートは7.5FPSになります。
- ・録画中に再生すると、現在録画中の時間に対して約7秒(15FPS録画時)~20分前(0.1FPS録画時)に一時停止します。

SYSTEM SETUP(1/2)から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 SIMUL REC&PLAYにカーソルを合わせる	SIMUL REC&PLAY ON	お買い上げ時は、ONに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回しON/OFFを選択する	ON (録画中再生可能)/ OFF (録画中再生不可)から選択できます。	
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

改ざんチェック機能のON/OFF(ALTER DETECT)

本機で録画した画像データをネットワーク経由で配信する場合、配信された画像が改ざんされているかどうか確認するためのチェックコードを埋め込むことができます。



ネットワークなどに配信された画像が改ざんされているかどうか、確認が必要な場合は販売店にご相談ください。

SYSTEM SETUP(1/2)から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 ALTER DETECTにカーソルを合わせる	ALTER DETECT OFF	お買い上げ時は、OFFに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回しON/OFFを選択する	ON (チェック用コードを埋め込む)/ OFF (しない)から選択できます。	
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

上書き機能のON/OFF(DISK END MODE)

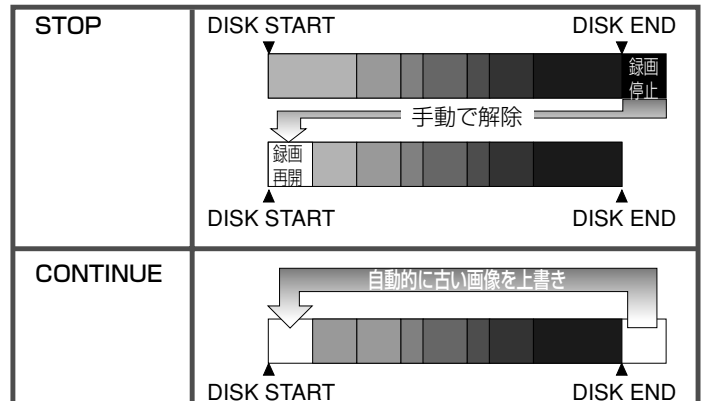
ハードディスクの容量をすべて使い切ったとき、古い画像から順番に上書きして録画を継続するよう設定できます。

上書き機能は、つぎの2つから選択できます。お買い上げ時は、CONTINUEに設定されています。

STOP: ハードディスクを使い切ると、録画を停止します(ディスクエンドになります)。手動でディスクエンドを解除するまで録画できません。→99ページ

CONTINUE: ハードディスクの残容量がなくなると古い画像から順に上書きして録画します。

SYSTEM SETUP(1/2)画面から説明します。



操作手順	状態・設定範囲	備考
1 DISK END MODEにカーソルを合わせる	DISK END MODE CONTINUE	お買い上げ時は、CONTINUEに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して上書き方法を選択する	STOP, CONTINUE から選択できます。	STOP選択時、ハードディスクの残容量はジョグダイヤルを左に回すと表示できます。
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

ハードディスク終了時のブザー音ON/OFF(DISK END BUZZ)

お買い上げ時、ハードディスクを使い切り、カメラ画像を録画できなくなるとブザーを鳴らすように設定されています。遠隔地に本機を置いて使用する場合などブザーを鳴らさないようにすることができます。

SYSTEM SETUP(1/2)画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 DISK END BUZZにカーソルを合わせる	DISK END BUZZ ON	お買い上げ時は、ONに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回してブザーON/OFFを選択する。	以下から選択できます。 ON: ブザーを鳴らします。 OFF: ブザーを鳴らしません。	ブザーはDISK END MODEの設定がSTOPのときのみ鳴ります。
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

セットアップする(オプション)

再生優先順位を変更する(PLAY PRIORITY)

本機は以下の方法で操作することができます。お買い上げ時は、本機のボタン操作による再生を優先するように設定されています。優先されている方法で再生している間、他の方法で再生することはできません。

LOCAL: 本機または本機に接続されているコントローラーからの再生操作を優先

NET PLAY: ウェブブラウザによる再生操作を優先する

FTP GET: 専用ソフトウェア(WV-AS20)で本機に録画されている画像取得操作を優先する

NONE: 優先順位は設定しません(後優先)。この場合、ウェブブラウザで再生中に本体操作で再生操作を行うと、ウェブブラウザへの画像の配信が中止されます。

SYSTEM SETUP(1/2)画面から説明します。

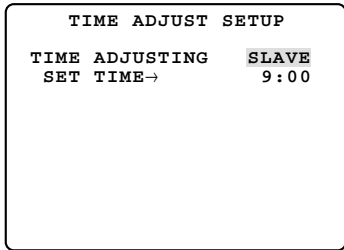
操作手順	状態・設定範囲	備考
1 DISK END BUZZにカーソルを合わせ、▼ボタンを押す	SYSTEM SETUP (2/2)が表示されます。	
2 PLAY PRIORITYにカーソルを合わせる	PLAY PRIORITY <u>LOCAL</u>	お買い上げ時は、LOCALに設定されています。
3 ジョグダイヤルを回して再生優先順位を選択する	LOCAL, NET PLAY, FTP GET, NONE から選択できます。	上記参照
4 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

時刻補正を行う (TIME ADJUST SETUP[↵])

この設定は、以下の場合に設定します。

- ・親時計や他の機器の時計で本機の時刻を補正するとき
- ・本機の時計で他の機器の時刻を補正するとき

SYSTEM SETUP(2/2)画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 TIME ADJUST SETUP [↵] にカーソルを合わせる	TIME ADJUST SETUP [↵]	
2 ジョグダイヤルを押す	TIME ADJUST SETUP画面が表示されます。 	現在時刻が設定時刻に対して±15分の範囲にある場合に、時刻は補正できます。
3 TIME ADJUSTINGにカーソルを合わせる	TIME ADJUSTING <u>SLAVE</u>	お買い上げ時は、SLAVEに設定されています。
4 ジョグダイヤルを回して主従関係を選択する	以下から選択できます。 SLAVE: 他の機器で本機の時刻を補正します。 MASTER: 本機で他の機器の時刻を補正します。	MASTERを選択したときだけ、手順5～7を行ってください。
5 SET TIMEにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	<u>SET TIME</u> → 0:00	お買い上げ時は、0:00分に設定されています。
6 ジョグダイヤルを回して補正時刻を選択する	0～23時まで選択できます。	分は指定できません。
7 停止ボタンを押す	SET TIMEにカーソルが戻ります。	
8 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

セットアップする (オプション)

解像度を変更する (RESOLUTION)

録画する画像の解像度を変更します。



- ・解像度を変更すると、それまで録画していたデータは削除されます。本機の使用を開始する前に変更することをお勧めします。
- ・解像度を変更した場合、MAIN MENU画面から通常画面に戻ると、自動的に再起動します。変更内容は、再起動後から有効になります。
- ・解像度を変更した場合、再度元の解像度に戻しても、削除されたデータは元に戻りません。

SYSTEM SETUP(2/2)画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 RESOLUTION→にカーソルを合わせる	RESOLUTION→ NORMAL→	お買い上げ時は、NORMALに設定されています。
2 ジョグダイヤルを押す	パスワードが入力できるようになります。 PASSWORD→ _ _ _ _ _	
3 カメラ選択ボタン1~8で管理者用(ALL)パスワードを入力する	正しいパスワードを入力すると、解像度選択に変わります。 PASSWORD→ * * * * * ↓ RESOLUTION→ NORMAL→	
4 ジョグダイヤルを回して解像度を選択する	以下から選択できます。 NORMAL: 標準解像度 SIF: 低解像度	
5 ジョグダイヤルを押す	確認画面に変わります。 ERASE? NO	解像度を変更せずにジョグダイヤルを押すと、設定はキャンセルされ1.の画面に戻ります。
6 YESを選択しジョグダイヤルを押す	録画データを削除し設定を変更します。 終了後、1.の画面に戻ります。	削除中はNOW ERASINGが表示されます(数秒間で終了します)。
7 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

ハードディスクセーフティモードを使用する (HDD SAFETY MODE)

本機の電源を入れた状態で本機をラックに設置する場合、または、電源を入れた状態で本機を移動させる場合など衝撃によりハードディスクが故障しないように、ハードディスクが起動しないモードに変更することができます。

このモードを使用する場合は、設置上のお願い(→106ページ)をお読みください。



- ・通常運用で使用することはありません。
- ・お買い上げ時はONに設定されています(セーフティモードで起動します)。

アラーム発生時の動作を設定する (ALARM SETUP)

本機にセンサーなどの外部機器を接続した場合、センサーが動作するとともに設定された録画モードで録画を開始します(マニュアル録画・連続録画時はREC SETUPのALM REC MODE、タイマー録画時はプログラムの各イベントごとに設定したALM REC MODEの録画モード)。録画を行う以外に以下の動作を行うよう設定することができます(アラーム動作の詳細→92～94ページ)。

- ・アラーム発生時のブザー音をON/OFFする
- ・カメラの故障またはケーブル切断を検出する
- ・アラーム発生時、モニターの画像を発生場所の画像に自動的に切り換える
- ・動き自動検知機能を使用する



タイマー録画で使用している場合、録画停止中にアラームが発生するとマニュアル録画(または連続録画)のアラーム録画モードで録画されます。

アラーム発生時のブザー音ON/OFF(ALARM BUZZ)

お買い上げ時の設定では、アラームが発生するとブザーが鳴ります。ブザーを鳴らさないように設定できます。MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 MAIN MENUのALARM SETUP \downarrow にカーソルを合わせる	ALARM SETUP \downarrow	
2 ジョグダイヤルを押す	ALARM SETUP画面が表示されます。 	
3 ALARM BUZZにカーソルを合わせる	ALARM BUZZ ON	お買い上げ時は、ONに設定されています。
4 ジョグダイヤルを回してブザーON/OFFを選択する	以下から選択できます。 ON: ブザーを鳴らします。 OFF: ブザーを鳴らしません。	
5 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

セットアップする(オプション)

カメラ故障・ケーブル断線検出機能のON/OFF(VIDEO LOSS)

カメラの故障、またはケーブルが断線したなどの原因でカメラからの画像が途切れたとき、画面にメッセージ(VIDEO LOSS)を表示するよう設定されています。このメッセージは表示しないようにすることもできます。

ALARM SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 VIDEO LOSSにカーソルを合わせる	VIDEO LOSS ON	お買い上げ時は、ONに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して検出する/しないを選択する。	以下から選択できます。 ON: 検出する OFF: 検出しない	
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

アラーム発生時の画像の表示方法(MONITOR MODE)

アラームが発生すると、アラーム発生画像に切り換え、1画面で表示するように設定されています。アラームが発生してもアラーム発生画像に切り換えたくないときはOFFにします。多画面モニターとスポットモニターそれぞれに設定できます。



アラーム1~8は、カメラ1~8の順に対応しています。アラーム入力ごとに対応しているカメラの画像を録画する/しないは、使用する録画モード設定画面のTRIGGER ACTION SETUP画面で設定できます。

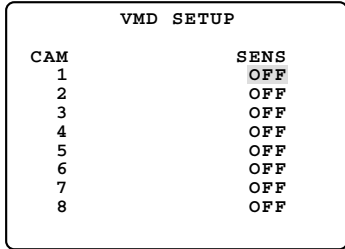
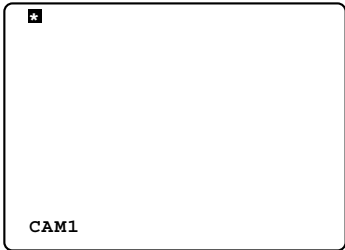
ALARM SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 MULTI OUTまたはSPOT OUTにカーソルを合わせる	MONITOR MODE MULTI OUT SPOT SPOT OUT SPOT	MULTI OUT: 多画面モニターの設定 SPOT OUT: スポットモニターの設定 お買い上げ時は、どちらもSPOTに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して表示方法を選択する	以下から選択できます。 SPOT: アラーム発生画像をスポット表示します。 OFF: 現在表示されている画像を表示し続けます。	
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

動き自動検出機能の設定(VMD SETUP)

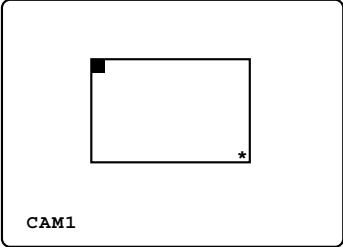
監視映像の動きを自動的に検出し、アラーム録画を行うことができます。画面中で輝度の変化を検出することによって、動きを検出します(VMD:Video Motion Detector)。VMD SETUPで、カメラごとに動きを検出するエリアを設定できます。

ALARM SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 VMD SETUPにカーソルを合わせる	VMD SETUP ↓	
2 ジョグダイヤルを押す	VMD SETUP画面が表示されます。 	お買い上げ時はOFFに設定されています。
3 VMDを設定するカメラにカーソルを移動する	CAM SENS 1 <u>OFF</u>	
4 ジョグダイヤルを回して感度を選択する	以下から選択できます。 OFF : VMDは使用しません。 LOW ↓: 弱 MID ↓: 中 HIGH ↓: 強	LOW/MID/HIGHを選択すると、選択したカメラの画像に対してVMDがONになります。 OFFを選択した場合、手順12にお進みください。
5 ジョグダイヤルを押す	エリア設定画面が表示されます。 	カーソルは*で表示されます。 背景に選択したカメラの画像が表示されています。エリア設定画面を表示すると、実行中のシーケンスは中断されます。

セットアップする(オプション)

続き

操作手順	状態・設定範囲	備考
6 カースルを設定したいエリアの左上に移動する	ジョグダイヤルを回すと左右に移動します。 ▲ボタンまたは▼ボタンで上下に移動します。	エリア設定中、設定したエリア内で輝度の変化を検出すると「ピピッ」と音がなります。 画面に表示されるエリアは、検出範囲の目安です。設定時は、「ピピッ」という音を確認しながら設定してください。
7 ジョグダイヤルを押す	開始位置が設定されます。	
8 カースルを設定したいエリアの右下に移動する		
9 ジョグダイヤルを押す	エリアが設定されます。設定されたエリアは四角の枠で表示されます。	エリアを削除するときは、削除したいエリアの左上にカーソルを移動し、ジョグダイヤルを押してください。
10 同じカメラに複数のエリアを設定するときは手順6~9を繰り返す		カメラ1台につき4エリアまで設定できます。
12 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



- ・本機のVMD機能は、輝度の変化によって動きを検出しています。このため、設定したエリア内で動きがあっても、輝度の変化が少ない場合、動きを検出できないことがあります。
- ・コンビネーションカメラ等の回転台付カメラを接続したチャンネルに対して、VMDはONにしないでください(OFFにしてください)。VMDを使用するとカメラが旋回するたびにアラーム録画が行われます。
- ・時刻埋め込み(TIME&DATE EMB.)をONに設定している場合、時刻表示エリア付近は輝度の変化を検知しません。時刻表示エリア付近の動きを検出したい場合は、TIME&DATE EMB.をOFFに設定してください。
→42ページ

他の機器との通信に関する設定 (COMMUNICATION SETUP)

DATAポートまたはシリアルポート(RS-232C)にコントローラーなどの外部機器を接続する場合、接続する機器と通信プロトコルや通信速度などを一致させる必要があります。

本機をLANなどのネットワークに接続し、ネットワークを介して操作するときは、IPアドレスやゲートウェイアドレスなど、ネットワークに関する設定を行う必要があります。

DATAポートまたはシリアルポートの設定 (SERIAL PORT SETUP) ↓

使用するポートによって設定できる項目が異なります。DATAポートにはPS・Data機器を接続できます。

なお、DATAポートとシリアルポートを同時に使用することはできません。システム構成を確認し、使用するポートを選択してください。

重要 設定項目の値は、通信を行う機器と一致している必要があります。不一致の項目があると正しく通信できず、誤動作や操作できないなどの原因となります。使用する機器の取扱説明書をご確認の上、設定してください。

・使用するポートを選択する

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 MAIN MENUのCOMMUNICATION SETUP ↓ にカーソルを合わせる	COMMUNICATION SETUP ↓	
2 ジョグダイヤルを押す	COMMUNICATION SETUP画面が表示されます。 	
3 SERIAL PORT SETUP ↓ にカーソルを合わせる	SERIAL PORT SETUP ↓	
4 ジョグダイヤルを押す	SERIAL PORT SETUP画面が表示されます。 	使用するポートによって、設定項目は異なります。 左図は、PS・Dataポートを使用する場合です(お買い上げ時の設定)。

セットアップする(オプション)

続き

操作手順	状態・設定範囲	備考
5 ジョグダイヤルを回して使用するポート(プロトコル)を選択する	以下から選択できます。 PS-DATA : DATAポートを使用します。 RS-232C : シリアルポートを使用します。 RS-232Cを選択すると、設定画面が下図のように変わります。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"><pre>SERIAL PORT SETUP PROTOCL RS-232C BAUD RATE 9600 DATA BIT 7 PARITY CHECK ODD STOP BIT 1 WAIT TIME OFF</pre></div>	必要な項目を設定してください。
4 停止ボタンを押す	COMMUNICATION SETUP画面に戻ります。	
5 停止ボタンを押す	MAIN MENU画面に戻ります。	

・通信速度の選択(BAUD RATE)

接続している機器とデータをやり取りする際の通信速度を設定します。
SERIAL PORT SETUP画面から説明します。

PS-Data/RS-232C共通

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 BAUD RATEにカーソルを合わせる	BAUD RATE 9600	お買い上げ時は、9600(bit/s)に設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して通信速度を選択する。	以下から選択できます。 4800, 9600, 19200 (bit/s)	
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

・データビットの選択(DATA BIT)

RS-232C固有

通信する際のデータの長さを設定します。

SERIAL PORT SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 DATA BITにカーソルを合わせる	DATA BIT <u>7</u>	お買い上げ時は、7(bit)に設定されています。
2 ジョグダイヤルを回してデータの長さを選択する。	以下から選択できます。 7 または 8 (bit)	8(bit) : PS-DATA 7(bit) : RS-232C
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

・パリティチェック方法の選択(PARITY CHECK)

PS・Data/RS-232C共通

SERIAL PORT SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 PARITY CHECKにカーソルを合わせる	PARITY CHECK <u>NONE</u>	お買い上げ時は、NONE (PS・Data),/ODD(RS-232C)に設定されています。
2 ジョグダイヤルを回してパリティチェック方法を選択する。	以下から選択できます。 NONE : パリティなし EVEN : 偶数パリティ ODD : 奇数パリティ	
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

・ストップビットの選択(STOP BIT)

PS・Data/RS-232C共通

SERIAL PORT SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 STOP BITにカーソルを合わせる	STOP BIT <u>1</u>	お買い上げ時は、1(bit)に設定されています。
2 ジョグダイヤルを回してストップビットを選択する。	以下から選択できます。 1 または 2 (bit)	
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

セットアップする(オプション)

・データ待ち時間の選択(WAIT TIME)

PS-Data/RS-232C共通

接続機器にデータを再送するまでの待ち時間を設定します。

通常、接続機器はデータを受信すると受信確認コードを本機に返信します。設定した時間内に受信確認コードが送られてこない、本機はデータの再送処理を行います。

SERIAL PORT SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 WAIT TIMEにカーソルを合わせる	WAIT TIME OFF	お買い上げ時は、OFF(再送しない)に設定されています。
2 ジョグダイヤルを回して再送待ち時間を選択する。	以下から選択できます。 OFF、100MS、200MS、1S	MS: ミリ秒 S: 秒
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

・コントロール・ユニットアドレスの設定(CTL-UNIT ADDR)

PS-Data

コントロール・ユニットアドレスとは、本機で他のPS-Data機器を制御するとき使用するユニットアドレスです。SYS-UNIT ADDRとは異なるアドレスで、システム内で固有の番号を設定してください。

SERIAL PORT SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 CTL-UNIT ADDRにカーソルを合わせる	CTL-UNIT ADDR 1	お買い上げ時は、1に設定されています。
2 ジョグダイヤルを回してユニットアドレスを選択する。	1~99 まで選択できます。	システムコントローラーを接続する場合は、2以上に設定してください。
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

・ユニットアドレスの設定(SYS-UNIT ADDR)

PS-Data

ユニットアドレスとは、PS-Data機器ごとに設定する固有の番号です。PS-Data対応機器を複数つなげて使用する場合、機器を識別するために用いられるため、他の機器と重複しないように設定する必要があります。

SERIAL PORT SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 SYS-UNIT ADDRにカーソルを合わせる	SYS-UNIT ADDR 1	お買い上げ時は、1に設定されています。
2 ジョグダイヤルを回してユニットアドレスを選択する。	1~99 まで選択できます。	
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

・アラーム通知機能のON/OFF(ALARM DATA)

PS・Data

本機にPS・Data対応のコントローラーが接続されているとき、アラームが発生したことを接続されているコントローラーに通知することができます。

SERIAL PORT SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 ALARM DATAにカーソルを合わせる	ALARM DATA 1S	お買い上げ時は、1Sに設定されています。
2 ジョグダイヤルを回してコントローラーに通知する間隔を選択する。	以下から選択できます。 OFF : 通知しません。 OS : アラームが発生するたびに通知します。 1S 、 5S : 選択した時間経過してから通知します。	
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

・カメラシステムの設定 (CAMERA SYSTEM SETUP)

PS・Data

PS・Data対応コントローラーでカメラを選択するための番号や、カメラとの信号のやりとりに関する項目をカメラごとに設定します。

SERIAL PORT SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考																																								
1 CAMERA SYSTEM SETUPにカーソルを合わせる	CAMERA SYSTEM SETUP ↓																																									
2 ジョグダイヤルを押す	CAMERA SYSTEM SETUP画面が表示されます。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 10px auto;"> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="4">CAMERA SYSTEM SETUP</th> </tr> <tr> <th>CAM</th> <th>NUM</th> <th>COMP</th> <th>DATA</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 →</td><td>001</td><td>S</td><td>ON</td></tr> <tr><td>2 →</td><td>002</td><td>S</td><td>ON</td></tr> <tr><td>3 →</td><td>003</td><td>S</td><td>ON</td></tr> <tr><td>4 →</td><td>004</td><td>S</td><td>ON</td></tr> <tr><td>5 →</td><td>005</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>6 →</td><td>006</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>7 →</td><td>007</td><td></td><td></td></tr> <tr><td>8 →</td><td>008</td><td></td><td></td></tr> </tbody> </table> </div>	CAMERA SYSTEM SETUP				CAM	NUM	COMP	DATA	1 →	001	S	ON	2 →	002	S	ON	3 →	003	S	ON	4 →	004	S	ON	5 →	005			6 →	006			7 →	007			8 →	008			CAM欄の1～8は映像入力端子1～8に対応しています。 映像入力端子5～8はCOMPとDATAの設定ができません。
CAMERA SYSTEM SETUP																																										
CAM	NUM	COMP	DATA																																							
1 →	001	S	ON																																							
2 →	002	S	ON																																							
3 →	003	S	ON																																							
4 →	004	S	ON																																							
5 →	005																																									
6 →	006																																									
7 →	007																																									
8 →	008																																									
3 設定したいカメラにカーソルを合わせる	1 → 001 S ON																																									
4 ジョグダイヤルを押す	NUM欄にカーソルが移動します。 1 → 001 S ON																																									
5 ジョグダイヤルを回して、カメラ番号を選択する	1 → 010 S ON	システム内で重複しない番号を1～128の間で選択してください。																																								

セットアップする (オプション)

続き

操作手順	状態・設定範囲	備考
6 ジョグダイヤルを押し、COMP (ケーブル補償) を設定する	COMP欄にカーソルが移動します。 1→ 010 S ON 以下から選択できます。 S: 500 m未満 M: 500~900 m L: 900~1200 m	カメラから送られてくる映像信号のケーブルによる伝送ロスを補正します。ケーブルの長さに合わせて設定します。お買い上げ時は、Sに設定されています。
7 ジョグダイヤルを押しDATA (データ伝送) を設定する	DATA欄にカーソルが移動します。 1→ 010 S ON 以下から選択できます。 ON: 同軸通信を行います OFF: 同軸通信を行いません	カメラと同軸通信を行うかどうかを設定します。お買い上げ時は、ONに設定されています。
8 停止ボタンを押す	CAM欄にカーソルが戻ります。 1→ 010 S ON	
9 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

ネットワークの設定(NETWORK SETUP)

本機をLANなどのネットワークに接続し、ネットワークに接続されたPCで本機を操作するとき、ネットワークのアドレス(IPアドレス、サブネットマスク、ゲートウェイアドレス)を設定する必要があります。DHCP(Dynamic Host Configuration Protocol)サーバーまたはDHCPサーバー機能付きのルーターをご使用の場合、ネットワーク接続に必要なアドレスをDHCPから自動取得できます。



重要

- ・アドレスを手入力する場合、接続するネットワークのルールに合わせて設定する必要があります。本機に設定されたアドレスがネットワークのルールに一致していない場合、PCから本機を操作することはできません。
- ・ネットワークから操作を行うと、最大録画レートは7.5FPS~30FPSの間で変動します。
- ・ネットワークの設定を変更した場合、SETUP MENU画面から通常画面に戻ると、自動的に再起動されます。変更内容は、再起動後から有効になります。



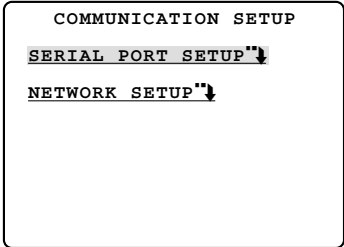
IP(Internet Protocol)アドレス: インターネットや構内LANなどのIPネットワークに接続されたコンピューター1台1台に割り振られた識別番号のことです。ネットワーク内の住所にあたります。本機はピリオドで4つに区切られた0~255の数字で表します。

サブネットマスク: 通常、ネットワークの規模が大きくなると、複数の小さなネットワーク(サブネット)に分割して管理します。サブネットマスクで、IPアドレスのうち、何ビットをネットワークを識別するためのネットワークアドレスに使用するかを定義します。IPアドレスと同様にピリオドで4つに区切られた0~255の数字で表します。

ゲートウェイ: ネットワーク上で、異なる機種間で通信を可能とするための機器(例えばルーター)のことです。

・通信速度を選択する

本機は自動で通信速度を認識することができます。必要に応じて、通信速度を自分で選択することもできます。MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 MAIN MENUのCOMMUNICATION SETUP"↓"にカーソルを合わせる	COMMUNICATION SETUP"↓"	
2 ジョグダイヤルを押す	COMMUNICATION SETUP画面が表示されます。 	
3 NETWORK SETUP"↓"にカーソルを合わせる	NETWORK SETUP"↓"	

つづく

セットアップする(オプション)

続き

オプション

操作手順	状態・設定範囲	備考
4 ジョグダイヤルを押す	NETWORK SETUP画面が表示されます。 	
5 LINE SPEEDにカーソルを合わせる	LINE SPEED <u>AUTO</u>	
6 ジョグダイヤルを回して通信速度を選択する	以下から選択できます。 AUTO: 自動認識 100M_FULL: 100Mbps全二重 100M_HALF: 100Mbps半二重 10M_FULL: 10Mbps全二重 10M_HALF: 10Mbps半二重	
7 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

• HTTPポート番号を設定する(HTTP PORT)

本機が画像を配信するとき使用するHTTPポート番号を設定します。通常変更する必要はありません。変更が必要な場合はネットワーク管理者に利用可能なHTTPポートの番号を確認してください。

NETWORK SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 HTTP PORTにカーソルを合わせる	HTTP PORT → 00080	任意の番号に変更できます。
2 ジョグダイヤルを押す	ポート番号の先頭にカーソルが移動します。 HTTP PORT → <u>0</u> 0080	ジョグダイヤルを回して数字を選択します。ジョグダイヤルを押すと、次のけたに移動します。
3 停止ボタンを押す	HTTP PORTにカーソルが戻ります。	
4 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

セットアップする(オプション)

・IPアドレスをDHCPサーバーから自動取得する場合(DHCP)

IPアドレス(IP ADDR)、サブネットマスク(NETMASK)、ゲートウェイアドレス(GATEWAY)をDHCPサーバーから取得する場合の設定方法について説明します。

IPアドレスを手入力で設定する場合は、次ページをお読みください。

NETWORK SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 DHCPにカーソルを合わせる	DHCP OFF IP ADDR → 192.168.000.010 NETMASK → 255.255.255.000 GATEWAY → 192.168.000.001	前ページ手順1~2 各アドレスには、現在設定されているアドレスが表示されます(左記設定はお買い上げ時のアドレス)。
2 ジョグダイヤルを回し、ONを選択する	DHCP ON IP ADDR → ---.---.---.--- NETMASK → ---.---.---.--- GATEWAY → ---.---.---.---	お買い上げ時はOFFに設定されています。 ONにする場合、DHCPサーバーまたはDHCPサーバー機能付キルターが必要です。
3 停止ボタンを2回押してSETUP MENU画面に戻った後、SETUP MENU画面が消えるまで停止ボタンを押し続ける	自動的に再起動されます。	再起動後、IPアドレスが取得されるまで、GETTING IP ADDRESSが表示されます。数分経過しても消えないときはDHCPサーバーが使用可能な環境か確認してください。
4 NETWORK SETUP画面を表示し、IPアドレスを確認する	DHCPサーバーから取得したアドレスが表示されます。 DHCP ON IP ADDR → 192.168.000.010 NETMASK → 255.255.255.000 GATEWAY → 192.168.000.001	IPアドレス(IP ADDR)は、PCから本機にアクセスする際に必要となります。必要に応じて利用者にお知らせください。 取得中の場合、---が表示されます。
5 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。



DHCPをONに設定後、手動でIPアドレスを設定するときは、DHCPをOFFに設定し再起動するまで、IPアドレスは変更できません。

・IPアドレスを手入力する

IPアドレス(IP ADDR)、サブネットマスク(NETMASK)、ゲートウェイアドレス(GATEWAY)を手入力で設定する方法について説明します。設定を始める前に、以下の項目をネットワーク管理者にお問い合わせください。

- ・ IPアドレス(IP ADDR)
- ・ サブネットマスク(NETMASK)
- ・ ゲートウェイアドレス(GATEWAY)

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 DHCPがOFFに設定されていることを確認する	DHCP OFF IP ADDR → 192.168.000.010 NETMASK → 255.255.255.000 GATEWAY → 192.168.000.001	お買い上げ時はOFFに設定されています。 DHCPがONに設定されているときは、OFFに設定後、セットアップを終了し、再起動してください。
2 IP ADDRにカーソルを合わせる	IP ADDR → 192.168.000.010	
3 ジョグダイヤルを押す	アドレスを入力できます。 IP ADDR → 010.050.100.210	数字選択: ジョグダイヤルを回す。 カーソル移動: ジョグダイヤルを押す。(▼, ▲, ESCボタンで任意の桁を変更することもできます)
4 すべてのけたを入力したら停止ボタンを押す	IP ADDRにカーソルが戻ります。	IPアドレス(IP ADDR)は、PCから本機にアクセスする際に必要となります。必要に応じて利用者にお知らせください。
5 手順2～手順4と同様の操作でNETMASK、GATEWAYを設定する	IP ADDR → 010.050.100.210 NETMASK → 255.255.255.000 GATEWAY → 010.050.100.001	
6 停止ボタンを押す	COMMUNICATION SETUP画面に戻ります。	
7 停止ボタンを押す	SETUP MENU画面に戻ります。	設定を有効にするときは、設定作業を終了してください(自動的に再起動されます)。
8 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

セットアップする(オプション)

画面操作の設定(SWITCHER SETUP)

以下の項目を設定できます。

- ・電源を入れたとき、または、セットアップを終了したとき、多画面モニター/スポットモニターに表示するそれぞれの画像
- ・多画面選択ボタンを押したときの動作
- ・シーケンスボタンで画像を切り換えるときの、切り換え順序と切り換え時間



- ・スポットモニターはカメラの画像表示専用です。画面を分割表示することはできません。

モニターの初期画面(START DISPLAY)

電源投入時など、最初に表示する画像を選択できます。

MAIN MENU画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 MAIN MENUのSWITCHER SETUP ^① にカーソルを合わせる	SWITCHER SETUP ^①	
2 ジョグダイヤルを押す	SWITCHER SETUP画面が表示されます。 	
3 MULTI OUTまたはSPOT OUTにカーソルを合わせる	MULTI OUT QUAD-4A SPOT OUT 1CH	お買い上げ時は、MULTI OUT:QUAD-4A、SPOT OUT:1CHに設定されています。
4 ジョグダイヤルを回して表示方法を選択する	以下から選択できます。カメラが接続されていないチャンネルは黒画で表示されます。 1~8CH: 選択したカメラの画像を1画で表示します。 SPOT SEQ: SPOT SEQ SETUP画面(→71~74ページ)で設定した順番にカメラを切り換えて表示します (SPOT OUTのみ)。 QUAD-4A: 1CH~4CHのカメラを4画で表示します。(MULTI OUTのみ) QUAD-4B: 5CH~8CHのカメラを4画で表示します。(MULTI OUTのみ) MULTI SEQ: MULTI SEQ SETUP画面(→71~74ページ)で設定した順番にカメラを切り換えて表示します。(MULTI OUTのみ) 9SCREEN: 接続されている全カメラの画像を8画で表示します。(MULTI OUTのみ)	
5 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

多画面選択ボタンの設定(MULTI SEL MODE)

多画面選択ボタンを押すと、多画面モニターの画面分割数を変更できます。多画面選択ボタンを押したとき、どのように分割数を変更するか選択できます。

SWITCHER SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 MULTI SEL MODEにカーソルを合わせる	MULTI SEL MODE QUAD-ONLY	
2 ジョグダイヤルを回して分割方法を選択する	以下から選択できます。 QUAD ONLY: 多画面選択ボタンを押すたびに4A、4Bを交互に切り換えて表示します。 ALL: 多画面選択ボタンを押すたびに4A、4B、8画の順番に切り換えて表示します。	4A: 1~4チャンネルのカメラの画像 4B: 5~8チャンネルのカメラの画像 カメラが接続されていないチャンネルは黒画で表示されます。
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

画像自動切り換えの設定(SEQUENCE SETUP \downarrow)

シーケンスボタンを押したときの画像切り換え順序を設定します。多画面モニター/スポットモニターの画像を別々に切り換えることができます。また、画像切り換え順序、切り換え間隔、オートスキップON/OFFはシーケンスの種類ごとに設定できます。

SWITCHER SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 SEQUENCE SETUP \downarrow にカーソルを合わせる	SEQUENCE SETUP\downarrow	
2 ジョグダイヤルを押す	SEQUENCE SETUP画面が表示されます。 	

つづく

セットアップする(オプション)

続き

オプション

操作手順	状態・設定範囲	備考
3 設定したいシーケンスにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押す	MULTI SEQ SETUP ^{↓↓} : MULTI SEQ SETUP画面を表示します。 多画面モニターでシーケンスを実行するときの切り換え順序、切り換え間隔を設定できます。 SPOT SEQ SETUP ^{↓↓} : SPOT SEQ SETUP画面を表示します。 スポットモニターでシーケンスを実行するときの切り換え順序、切り換え間隔を設定できます。 詳しくは次ページをお読みください。	
4 SEQUENCE TIMINGにカーソルを合わせる	SEQUENCE TIMING INT	MULTI/SPOT両方向同じ手順で選択できます。 お買い上げ時は、INTに設定されています。
5 ジョグダイヤルを回して画像の切り換え方法を選択する	以下から選択できます。 INT : MULTIまたはSPOT SEQ SETUP画面で設定した時間で画像を切り換えます。 EXT : 外部機器からの信号で画像を切り換えます。	EXTは、シーケンス信号を出力する外部機器が本機に接続されている場合にのみ使用できます。
6 AUTO SKIPにカーソルを合わせる	AUTO SKIP ON	MULTI/SPOT両方向同じ手順で選択できます。 お買い上げ時は、ONに設定されています。
7 ジョグダイヤルを回して画像の切り換え方法を選択する	以下から選択できます。 ON : 画像の自動切り換え中、カメラが接続されていないチャンネルは表示しません。 OFF : 画像の自動切り換え中、カメラが接続されていないチャンネルは黒画で表示します。	
8 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

・画像自動切り換え順序・切り換え間隔(MULTI SEQ SETUP"/SPOT SEQ SETUP")

SWITCHER SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考																																																						
1 MULTI SEQ SETUP"/またはSPOT SEQ SETUP"/にカーソルを合わせる	<p>MULTI SEQ SETUP" : SPOT SEQ SETUP"</p>																																																							
2 ジョグダイヤルを押す	<p>MULTI SEQ SETUP画面またはSPOT SEQ SETUP画面が表示されます。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">MULTI SEQ SETUP</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>STEP</th> <th>CAM</th> <th>SEC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 →</td><td>QUAD-4A</td><td>2S</td></tr> <tr><td>2 →</td><td>QUAD-4B</td><td>2S</td></tr> <tr><td>3 →</td><td>-</td><td>2S</td></tr> <tr><td>4 →</td><td>-</td><td>2S</td></tr> <tr><td>5 →</td><td>-</td><td>2S</td></tr> <tr><td>6 →</td><td>-</td><td>2S</td></tr> <tr><td>7 →</td><td>-</td><td>2S</td></tr> <tr><td>8 →</td><td>-</td><td>2S</td></tr> </tbody> </table> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p style="text-align: center;">SPOT SEQ SETUP</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>STEP</th> <th>CAM</th> <th>SEC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr><td>1 →</td><td>1</td><td>2S</td></tr> <tr><td>2 →</td><td>2</td><td>2S</td></tr> <tr><td>3 →</td><td>3</td><td>2S</td></tr> <tr><td>4 →</td><td>4</td><td>2S</td></tr> <tr><td>5 →</td><td>5</td><td>2S</td></tr> <tr><td>6 →</td><td>6</td><td>2S</td></tr> <tr><td>7 →</td><td>7</td><td>2S</td></tr> <tr><td>8 →</td><td>8</td><td>2S</td></tr> </tbody> </table> </div>	STEP	CAM	SEC	1 →	QUAD-4A	2S	2 →	QUAD-4B	2S	3 →	-	2S	4 →	-	2S	5 →	-	2S	6 →	-	2S	7 →	-	2S	8 →	-	2S	STEP	CAM	SEC	1 →	1	2S	2 →	2	2S	3 →	3	2S	4 →	4	2S	5 →	5	2S	6 →	6	2S	7 →	7	2S	8 →	8	2S	<p>左図は、MULTI SEQ SETUP"を選択した場合です。</p> <p>お買い上げ時は、左図のように設定されています。</p> <p>STEP1から順番にCAMに設定されたカメラの画像が、SECに指定された時間、モニターに表示されます。</p>
STEP	CAM	SEC																																																						
1 →	QUAD-4A	2S																																																						
2 →	QUAD-4B	2S																																																						
3 →	-	2S																																																						
4 →	-	2S																																																						
5 →	-	2S																																																						
6 →	-	2S																																																						
7 →	-	2S																																																						
8 →	-	2S																																																						
STEP	CAM	SEC																																																						
1 →	1	2S																																																						
2 →	2	2S																																																						
3 →	3	2S																																																						
4 →	4	2S																																																						
5 →	5	2S																																																						
6 →	6	2S																																																						
7 →	7	2S																																																						
8 →	8	2S																																																						
3 変更したいステップ(SETP欄)にカーソルを移動する	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>STEP</th> <th>CAM</th> <th>SEC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td><u>1</u> →</td> <td>1</td> <td>2S</td> </tr> <tr> <td></td> <td>:</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	STEP	CAM	SEC	<u>1</u> →	1	2S		:																																															
STEP	CAM	SEC																																																						
<u>1</u> →	1	2S																																																						
	:																																																							
4 ジョグダイヤルを押す	<p>CAM欄にカーソルが移動し、選択したステップを修正できるようになります。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th>STEP</th> <th>CAM</th> <th>SEC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 →</td> <td><u>1</u></td> <td>2S</td> </tr> <tr> <td></td> <td>:</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	STEP	CAM	SEC	1 →	<u>1</u>	2S		:																																															
STEP	CAM	SEC																																																						
1 →	<u>1</u>	2S																																																						
	:																																																							

オプション

つづく

セットアップする (オプション)

続き

操作手順	状態・設定範囲	備考						
5 ジョグダイヤルを回してそのステップで表示するカメラを選択する	<p>以下から選択できます。</p> <p>1~8: 選択したカメラの画像を1画で表示します。</p> <p>QUAD-4A: 1CH~4CHのカメラを4画で表示します。</p> <p>QUAD-4B: 5CH~8CHのカメラを4画で表示します。</p> <p>—: ステップを無効にします。または次のステップにスキップします。</p>	<p>「—」を選択すると、そのステップは実行されずに、次のステップに移ります。</p> <p>SPOT SEQ SETUPは、1~8の選択のみとなります。</p>						
6 ジョグダイヤルを押す	<p>SEC欄にカーソルが移動します。</p> <table border="1" data-bbox="596 943 1024 1025"> <thead> <tr> <th>STEP</th> <th>CAM</th> <th>SEC</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1 →</td> <td>2</td> <td><u>2S</u></td> </tr> </tbody> </table>	STEP	CAM	SEC	1 →	2	<u>2S</u>	
STEP	CAM	SEC						
1 →	2	<u>2S</u>						
7 ジョグダイヤルを回して表示時間を選択する	<p>以下から選択できます。</p> <p>2~30S: 表示時間を秒単位で選択できます。</p>							
8 停止ボタンを押す	<p>STEP欄にカーソルが戻ります。</p>							
9 手順3~8を繰り返して、必要なステップを修正する								
10 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		<p>終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。</p>						

特定のカメラの画像を表示しないようにする(CAMERA VIEW SETUP"↓)

カメラの画像をスポットモニターおよび多画面モニターに表示しないよう設定することができます。

SWITCHER SETUP画面から説明します。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 CAMERA VIEW SETUP"↓ にカーソルを合わせる	<u>CAMERA VIEW SETUP"↓</u>	
2 ジョグダイヤルを押す	CAMERA VIEW SETUP画面が表示されます。	
3 設定を変更するカメラを選択する	CAM 1 : MODE <u>ON</u>	お買い上げ時はONに設定されています。
4 ジョグダイヤルを回して表示する、または表示しないを選択する	以下から選択できます。 ON: カメラ画像を表示します。 OFF: カメラ画像を表示しません。	OFFにしたカメラを選択すると黒画で表示されます。OFFにしても録画時はカメラ画像が録画されません。
5 手順3~4を繰り返して、他のカメラを設定する		
6 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

セットアップする (オプション)

シークレットビューの設定 (SECRET VIEW)

シークレットビュー機能は、多画面モニターで1画面表示しているカメラ映像をスポットモニターに表示しない (黒画表示する) 機能です。

SWITCHER SETUP画面から説明します。

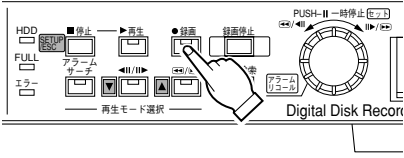
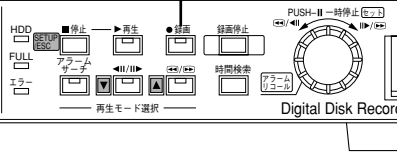
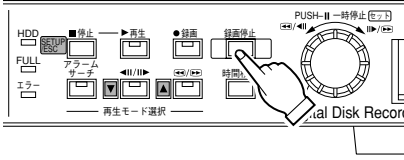
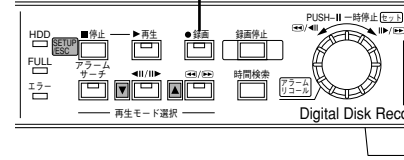
操作手順	状態・設定範囲	備考
1 SECRET VIEWにカーソルを合わせる	SECRET VIEW OFF	
2 ジョグダイヤルを回してシークレットビュー機能を使用する/しないを選択する	以下から選択できます。 ON: シークレットビュー機能を使用する OFF: シークレットビュー機能を使用しない	お買い上げ時は、OFFに設定されています。
3 MAIN MENU画面に戻り、セットアップを終了する		終了せずに、他のセットアップ項目を設定することもできます。

操作編

ここでは、本機前面のボタンで操作する方法について説明します。本機をネットワークに接続し、PCのウェブブラウザで本機を操作するときは、HTML操作編をお読みください。

録画する

本機は、設定画面の設定にしたがって自動録画を行います。必要に応じ、録画ボタンを押して手動で録画することができます。

操作手順	状態	備考
<p>1 録画ボタンを押す</p> 	<p>録画ボタンのランプが点灯し、録画が始まります。</p> <p>点灯</p> 	
<p>2 録画を終了するときは、録画停止ボタンを約2秒押す</p> 	<p>録画ボタンのランプが消灯し、録画が停止します。</p> <p>消灯</p> 	<p>カメラ画像が表示されます。</p>

操作



同時録画再生機能をOFFに設定している場合、再生中に録画すると、再生を停止し録画を開始します。



録画時の画質を変更する: REC SETUP画面で変更できます。→29~36ページ

電源を入れたとき、自動的に録画を開始する(連続録画): SYSTEM SETUP画面-TIMERをEXTに設定してください。→29~36ページ

タイマー録画を行う: SYSTEM SETUP画面-TIMERをINTに設定し、録画開始曜日・時刻を設定してください。→37~39ページ

アラーム発生時に録画を開始する: REC SETUP画面で設定してください。→31~36ページ

動きを検出したら録画を開始する: ALARM SETUP画面-VMD SETUPを設定してください。→57ページ

カメラ選択ボタンについて: カメラ選択ボタン1~8のランプの色で録画状態とモニター表示状態を確認できます。

ランプの色	モニター表示	録画の有無
グリーン	表示中	未録画
イエロー	表示中	録画中
オレンジ	非表示	録画中
消灯	非表示	未録画
イエローとオレンジの交互点滅	非表示/表示*	アラーム録画

※: モニターへの画像表示の有無は、ALARM SETUP画面-MONITOR MODEの設定によって異なります。

再生する

ここでは、再生の方法について説明します。再生のしかたには、以下の2つの方法があります。

- ・再生ボタンを押して、再生する(通常再生)
- ・見たい画像を検索してから再生する(検索再生)



・同時録画再生機能をONにしている場合

同時録画再生機能をONにすると、録画中に再生できます。ただし、再生している画像が録画によって上書きされたとき一時停止状態になります。また、最大録画レートが15FPSに制限されます。

・同時録画再生機能をOFFにしている場合

再生中に録画を開始すると再生を停止し、録画を開始します。



再生画像は、多画面モニターにのみ表示できます。



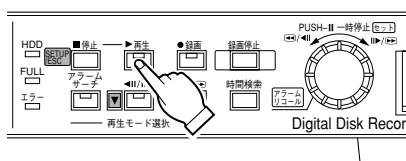
再生中、画面の表示方法を選択できます。

- ・カメラ選択ボタンで、任意のチャンネルを1画面で表示できます。→84ページ
- ・多画面選択ボタンで画面の分割数を4画A(1~4チャンネル)→4画B(5~8チャンネル)→8画の順に切り換えて表示できます。→85ページ
- ・画像を拡大して表示できます(1画面表示時のみ)。→85ページ

通常再生

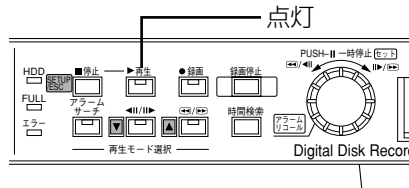
操作手順

1 再生ボタンを押す



状態

再生ボタンのランプが点灯します。



多画面モニターの状態

再生画像が表示されます。

多画面選択ボタンを押すと、分割数を選択できます。

カメラ選択ボタン1~8を押して、選択したカメラの再生画像を1画面で表示できます。

2 停止ボタンを押す

再生ボタンのランプが消灯し、停止します。

カメラ画像が表示されます。



- ・早戻し再生中にジョグダイヤルを2秒押し続けると、録画画像の先頭に移動できます(頭出し)。
- ・電源を入れた直後に再生すると、電源を切る前に録画していた画像を再生します。

再生する

検索再生

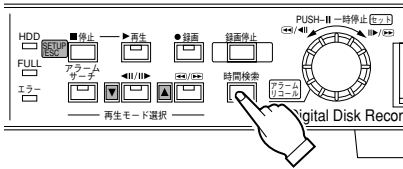
見たい画像を検索してから再生することができます。検索のしかたには、次の3つの方法があります。

- ・日時で検索して再生する
- ・アラーム画像のみ検索して再生する
- ・アラーム履歴から検索して再生する

日時で検索して再生する

操作手順

- 1 時間検索ボタンを押す



- 2 日時を入力する

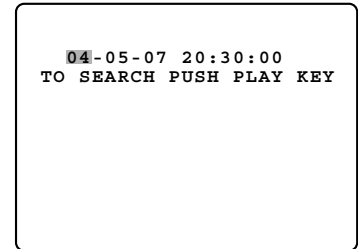
状態

日時は、ジョグダイヤルを回して選択します。

カーソルは▲ボタンまたは▼ボタンで移動します。

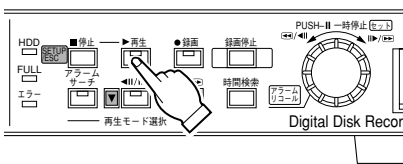
多画面モニターの状態

時間検索画面が表示されます。

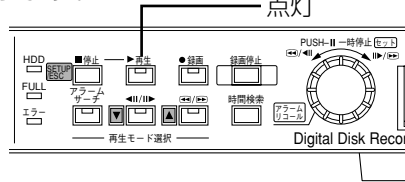


検索を中止するときは、時間検索ボタンを押してください。

- 3 再生ボタン(PLAY KEY)を押す



検索が始まり、再生ボタンのランプが点滅します。再生が始まると再生ボタンのランプは点灯に変わります。

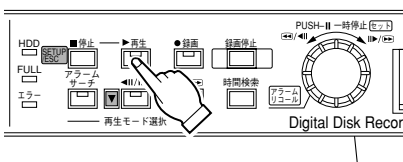


検索中は、「NOW SEARCHING」メッセージが表示されます。検索後、入力した日時に最も近い画像が再生されます。

アラーム画像のみ検索して再生する(再生中のみ操作可能)

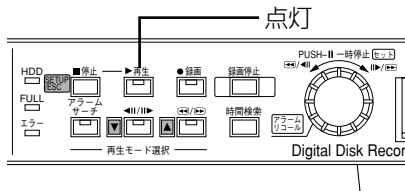
操作手順

- 1 再生ボタンを押す



状態

再生ボタンのランプが点灯します。



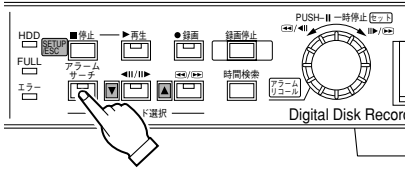
多画面モニターの状態

再生画像が表示されます。

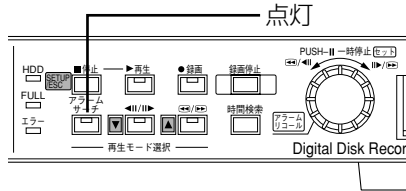
多画面選択ボタンを押すと、分割数を選択できます。

カメラ選択ボタン1~8を押して、選択したカメラの再生画像を1画面で表示できます。

2 アラームサーチボタンを押す



アラームサーチボタンのランプが点灯します。



3 ジョグダイヤルを回す

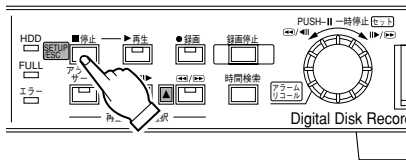
左に回すと現在再生している画像から前に発生したアラーム画像を検索します。

右に回すと現在再生している画像から後に発生したアラーム画像を検索します。

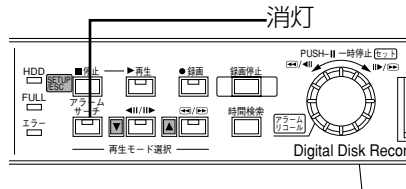
一番近いアラーム画像の先頭に移動し、一時停止します。

画像が静止画で表示されます。

4 アラームサーチを終了するときには停止ボタンを押す



アラームサーチボタンのランプが消灯します。



アラーム履歴から検索して再生する(ALARM RECALL)

アラーム履歴画面を表示し、アラーム発生日時から再生する画像を選択することができます。

アラーム履歴画面について

アラーム履歴(ALARM RECALL)画面は、ジョグダイヤルを約2秒押し続けると表示できます。

ALARM RECALL YEAR03				
NO.	DATE	TIME	ALM	
2000	06-14	20:30:00	T1	
1999	06-14	15:30:12	T3	
1998	06-14	12:15:04	T4	
1997	06-14	12:15:02	V8	
1996	06-14	10:07:05	V2	
1995	06-14	10:07:04	T2	
1994	06-14	10:06:55	T6	
1993	06-14	09:58:32	V5	
(TOTAL 2000EVENTS)				
TO SEARCH PUSH T&D KEY				

YEAR: カーソル位置のアラーム発生日時の年が表示されます。

NO.: 通し番号です。9999件を超えると古い履歴から消去されます(消去された履歴は、検索・再生できません。)

DATE TIME: アラーム発生日時が表示されます。

ALM: アラームの種類が表示されます。

T: アラーム/リモート端子にアラームが入力されました。数字はアラーム入力の番号です。

V: 動き検出機能が動きを検出しました。数字は、カメラが接続されている映像入力端子の番号です。

P: PC、カメラおよびPS・Data機器からアラームが入力されました。

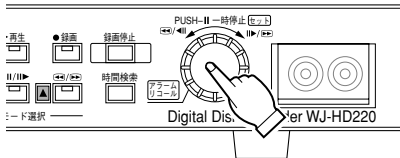
カメラ選択ボタン(1~8)を押すと、押した番号に対応するアラームのみ表示できます。多画面選択ボタンを押すと一覧表示に戻ります。ディスクエンド時(→99ページ)に、発生したアラームは履歴に記録されません。

再生する

操作方法

操作手順

- 1 ALARM RECALL(アラーム履歴)画面が表示されるまで、ジョグダイヤルを押し続ける(約2秒)



状態

多画面モニターの状態

ALARM RECALL画面が表示されます。検索を中止するときには、再度ジョグダイヤルを押し続けてください。(約2秒)

NO.	DATE	TIME	YEAR03	ALM
2000	06-14	20:30:00		T1
1999	06-14	15:30:12		T3
1998	06-14	12:15:04		T4
1997	06-14	12:15:02		V8
1996	06-14	10:07:05		V2
1995	06-14	10:07:04		T2
1994	06-14	10:06:55		T6
1993	06-14	09:58:32		V5
(TOTAL 2000EVENTS)				
TO SEARCH PUSH T&D KEY				

- 2 履歴から再生したいアラーム発生日時を選択する

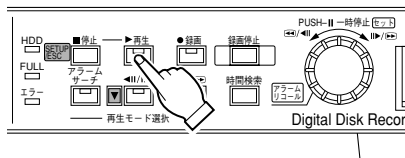
- ・カーソルを一番下(または上)に移動後、下ボタン(または上ボタン)を押すと次ページ(または前ページ)に移動します。
- ・カメラ選択ボタンと、アラームの種類に表示される番号が対応しています。カメラ選択ボタンで絞り込みたい番号を押して、画面に表示する履歴を絞り込むことができます。
- ・ジョグダイヤルを回すと、改ページできます。改ページ数は、設定によって異なります。
- ・アラーム履歴を日時で検索して、指定した日時に最も近い行にカーソルを移動できます。

- (1) 時間検索ボタン (T&D KEY) を押し、日時を指定する。
- (2) 再生ボタンを押す。

1997	06-14	12:15:02		T8
1996	06-14	10:07:05		T2
1995	06-14	10:07:04		T2
1994	06-14	10:06:55		T6
1993	06-14	09:58:32		T5
(TOTAL 2000EVENTS)				
SEARCH→03-06-10 23:58				

指定した日時に最も近い履歴にカーソルが移動します。

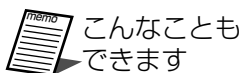
- 3 再生ボタンを押す



検索中は、「NOW SEARCHING」メッセージが表示されます。

モニターの表示(1画または8画)は、DYNAMIC RECの設定(OFF/ALM-MULTI)によって異なります。

検索を中止するときには、停止ボタンを押してください。



改ページ枚数は: SYSTEM SETUP画面のSKIP ALM-RECALLで選択できます。→49ページ

履歴を消去するとき: 「PUSH JOG→DATA CLEAR.(1レコード目の下に表示されます)」にカーソルを移動し、ジョグダイヤルでYESを選択後、ジョグダイヤルを押してください。

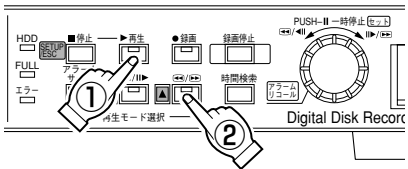
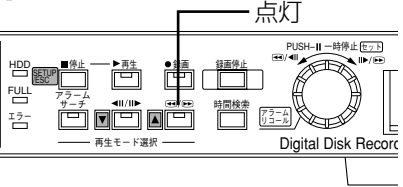
NO.	DATE	TIME	YEAR03	ALM
0002	05-25	07:59:34		T7
0001	05-25	07:59:30		T1
PUSH JOG→DATA CLEAR.				


再生中の操作

ここでは、早送り/早戻し、コマ送り再生の方法について説明します。画面に表示する項目は→22ページ

早送り/早戻し再生(再生中のみ操作可能)

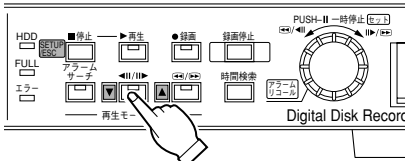
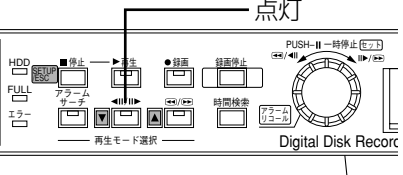
再生中にジョグダイヤルを回すと早送りまたは早戻し再生ができます。


操作手順	状態	多画面モニターの状態
<p>1 早送り/早戻しボタンを押す</p> 	<p>早送り/早戻しボタンのランプが点灯します。</p> 	
<p>2 ジョグダイヤルを右または左に回す</p> <p>右に回す: 早送り再生</p> <p>左に回す: 早戻し再生</p>	<p>早送り/早戻し再生ができます。</p> <p>早送り: → X1/2, →2PLAY, 1FF~3FF</p> <p>早戻し: ← X1/2, ←2PLAY, 1REW~3REW</p>	<p>状態表示欄に再生速度が表示されます。</p> <p>1FF~3FF : 早送り再生中</p> <p>1REW~3REW : 早戻し再生中</p>

 4画面または8画面表示のときに、上記操作を行うとモニターに表示されているすべての画像が早送り/早戻し再生となります。1FF以上の速さで再生するとコマ落とし早送り/早戻しになります(表示されない画像があります)。

コマ送り再生

再生中に、ジョグダイヤルを回すとコマ送り再生ができます。

操作手順	状態	多画面モニターの状態
<p>1 コマ送りボタンを押す</p> 	<p>コマ送りボタンのランプが点灯します。</p> 	
<p>2 ジョグダイヤルを右または左に回す</p>	<p>右に回す: 1コマ進めた後、一時停止。</p> <p>左に回す: 1コマ戻した後、一時停止。</p>	<p>1コマ再生後、一時停止状態になります。</p>

 4画面または8画面表示のときに上記操作を行うと、モニターに表示されているすべての画像がコマ送り再生となります。

操作

画面操作

カメラ画像表示中または再生中、モニターの表示方法を以下のように変更できます。選択されているモニターによって操作できる機能が異なります。

機能	スポットモニター	多画面モニター
任意のカメラ画像を1画面で表示する	○	○
多画面(4画面または8画面)で表示する	×	○
画像を拡大する(ズーム)	×	○
カメラを自動的に切り換えて表示する(シーケンス)	○	○
カメラ名、時刻、動作状態を表示する	×	○

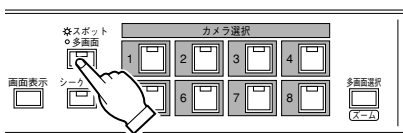
凡例 ○: 操作可 ×: 操作不可

任意のカメラ画像を1画面で表示する

カメラ選択ボタンを押すと押した番号のカメラの画像または再生画像を1画面で表示できます。

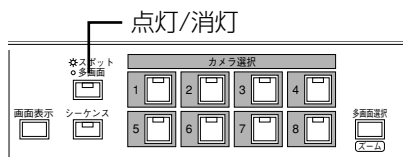
操作手順

- 1 スポット/多画面ボタンで操作するモニターを選択する



状態

- 点灯: スポットモニターの操作
消灯: 多画面モニターの操作



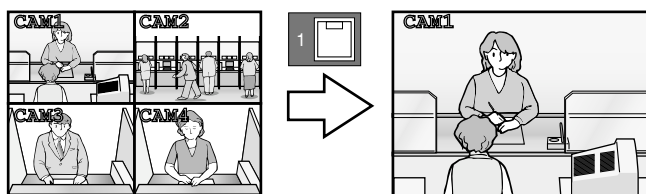
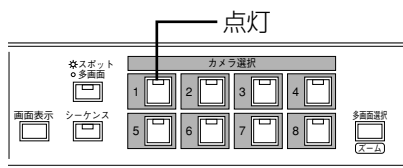
モニターの状態

- 2 1画面で表示したいカメラの番号を押す

録画していない場合はボタンのランプがグリーン点灯し、録画している場合はオレンジ点灯からイエロー点灯に変わります。

選択した画像が1画面で表示されます。

下図は、多画面モニターを選択した場合です。

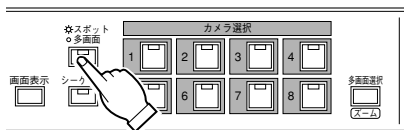


多画面(4画または8画)で表示する

多画面選択ボタンを押すと、画面の分割数を変更できます。

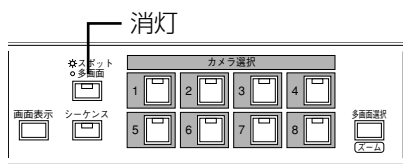
操作手順

- 1 スポット/多画面ボタンで、操作するモニターとして多画面モニターを選択する



状態

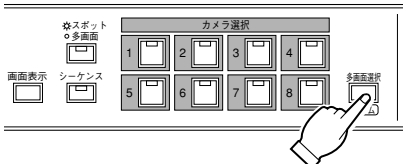
消灯していることを確認してください。



多画面モニターの状態

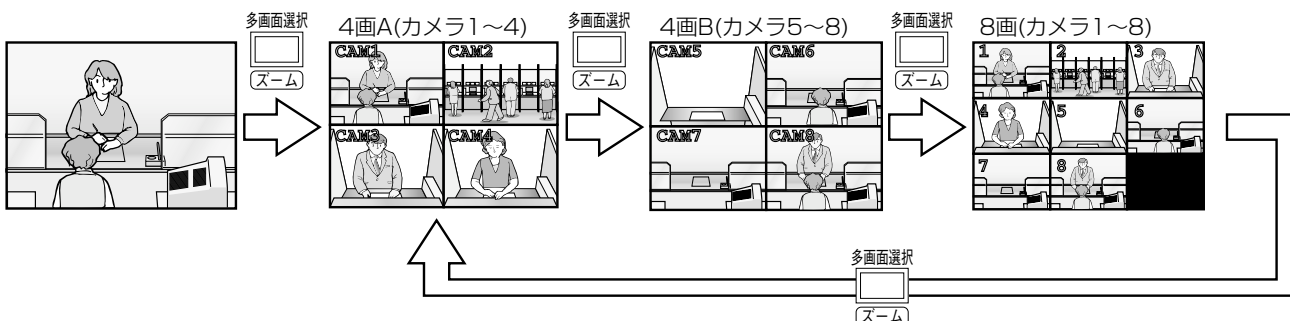


- 2 多画面選択ボタンを押す



モニターに表示されている画像に対応するカメラ選択ボタンのランプが点灯します。

多画面選択ボタンを押すたびに画面の分割数が切り換わります。切り換わりかたは、多画面ボタンの設定 (MULTI SEL MODE) により異なります。→71ページ

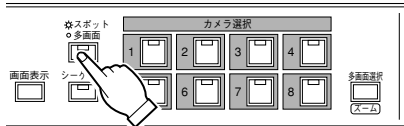


画像を拡大(ズーム)する

1画面表示にすれば、カメラ画像または再生画像を4倍まで拡大して表示できます。

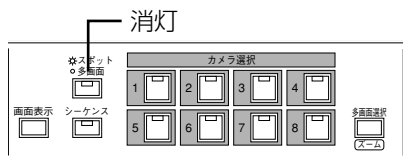
操作手順

- 1 スポット/多画面ボタンで、操作するモニターとして多画面モニターを選択する



状態

消灯していることを確認してください。



多画面モニターの状態

つづく

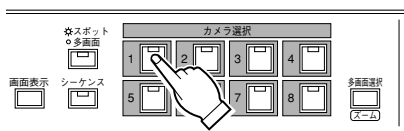
操作

画面操作

続き

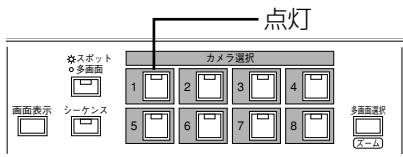
操作手順

- 2 カメラ選択ボタン1~8を押して1画面表示にする



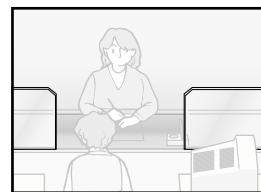
状態

録画していない場合はボタンのランプがグリーン点灯し、録画している場合はオレンジ点灯からイエロー点灯に変わります。

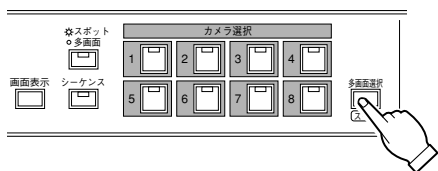


多画面モニターの状態

選択した画像が1画面で表示されます。



- 3 多画面選択(ズーム)ボタンを押し続ける(約2秒)



画像を拡大して表示します(2倍)。

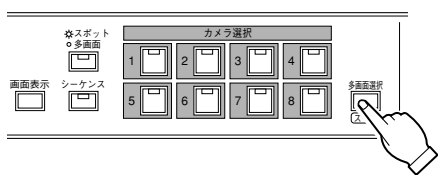


- 4 ジョグダイヤルを押して倍率を選択する

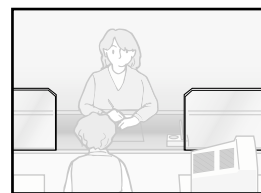
ジョグダイヤルを押すたびに、2倍→4倍→2倍→4倍と繰り返して倍率が変わります。

▲ボタンまたは▼ボタン、ジョグダイヤルで表示位置を移動できます。

- 5 拡大表示を終了するとき、多画面選択(ズーム)ボタンを押し続ける(約2秒)



手順1に戻ります



- ・ SYSTEM SETUPのRESOLUTIONでSIFに設定している場合、倍率は2倍まで選択できます。
- ・ カメラ画像を拡大表示中に再生ボタンを押すと、拡大表示を終了し、通常再生(1倍)になります。再生画像を拡大中に停止ボタンを押すと拡大表示を終了し、カメラ画像を表示します。
- ・ その他のボタンを操作する場合は、拡大表示を終了してください。



- ・ SYSTEM SETUPのRESOLUTIONをSIFに設定している場合、画面が上下に揺れるように見えます。画質を重視したい場合は、解像度をNORMALに設定してください。

画像を自動的に切り換える(シーケンス)

多画面モニターとスポットモニターを別々にシーケンスさせることができます。シーケンスは、カメラ画像を表示しているときのみできます(再生画像のシーケンスはできません)。

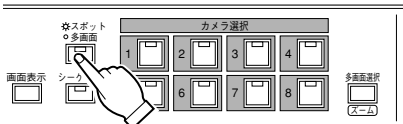
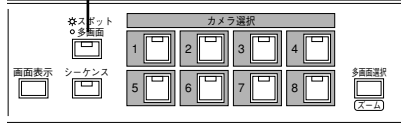
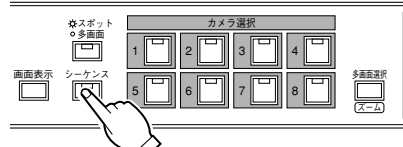

・多画面モニターの画像を自動的に切り換える

MAIN MENU-SWITCHER SETUP"↓"-SEQUENCE SETUP"↓"-MULTI SEQ SETUP画面で設定された順番に画像が切り換えられます。

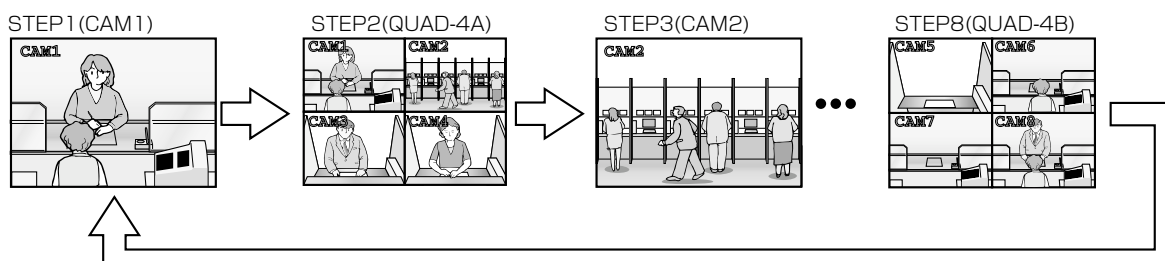
・スポットモニターの画像を自動的に切り換える

MAIN MENU-SWITCHER SETUP"↓"-SEQUENCE SETUP"↓"-SPOT SEQ SETUP画面で設定された順番に画像が切り換えられます。

多画面モニターのシーケンス

操作手順	状態	モニターの状態
<p>1 スポット/多画面ボタンで多画面モニターを選択する</p> 	<p>消灯していることを確認してください。</p> 	
<p>2 シーケンスボタンを押す</p> 	<p>シーケンスボタンのランプが点灯します。</p> 	<p>MULTI SEQ SETUP画面で設定された順番に画像が切り換えられます。</p>


操作



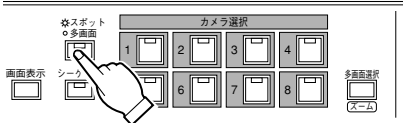
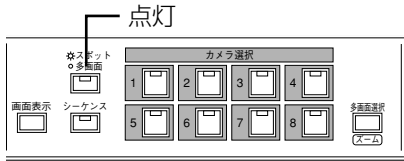
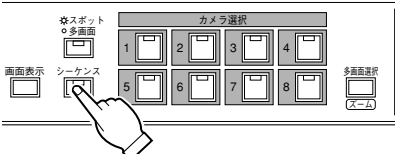
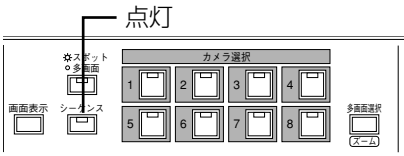
つづく

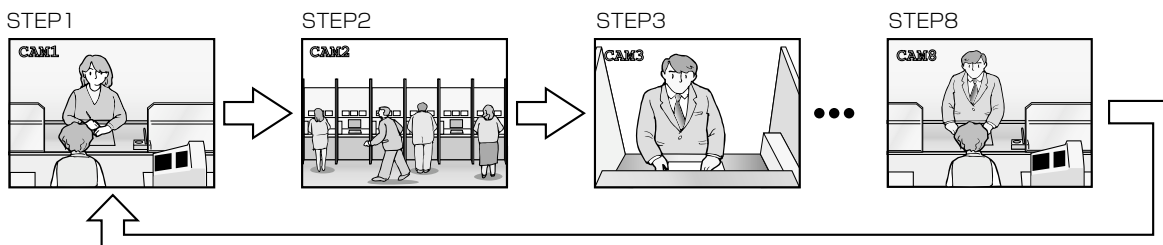
画面操作

続き

操作手順	状態	モニターの状態
<p>3 シーケンスを終了するときは、カメラ選択ボタンを押す</p> <p>(スポット/多画面ボタンでスポットモニターが選択されている場合は、多画面モニターを選択してからカメラ選択ボタンを押してください)</p>	<p>シーケンスボタンのランプが消灯します。</p> 	<p>カメラ選択時は選択したカメラの画像が表示されます。</p> <p>シーケンスボタンを押すと、シーケンスを一時停止できます。一時停止を解除するときは、再度シーケンスボタンを押します。</p>

スポットモニターのシーケンス

操作手順	状態	モニターの状態
<p>1 スポット/多画面ボタンでスポットモニターを選択する</p> 	<p>点灯していることを確認してください。</p> 	
<p>2 シーケンスボタンを押す</p> 	<p>シーケンスボタンのランプが点灯します。</p> 	<p>SPOT SEQ SETUPで設定された順番に画像が切り換えられます。</p>



つづく

続き

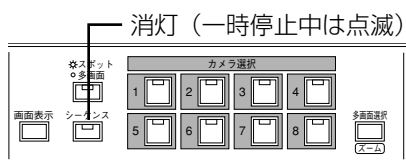
操作手順

- シーケンスを終了するときは、カメラ選択ボタンを押す

(スポット/多画面ボタンで多画面モニターが選択されている場合は、スポットモニターを選択してからカメラ選択ボタンを押してください)

状態

シーケンスボタンのランプが消灯します。



モニターの状態

カメラ選択時は選択したカメラの画像が表示されます。

シーケンスボタンを押すと、シーケンスを一時停止できます。一時停止を解除するときは再度シーケンスボタンを押します。



こんなことも
できます

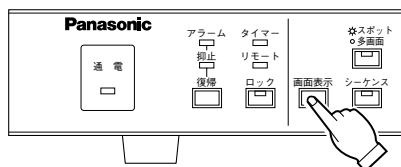
多画面 (スポット) モニターのシーケンス中に、スポット/多画面ボタンでスポット (多画面) を選択してシーケンスボタンを押すと、それぞれのモニターで別々にシーケンスを実行できます。

カメラ名、時刻、動作状態を表示する

画面表示ボタンを押すと、カメラ名および時刻、動作状態を同時に表示/消去できます(表示内容→22ページ)。

操作手順

- 画面表示ボタンを押す



状態

多画面モニターの状態

押すたびに多画面モニターにカメラ名および時刻、動作状態を表示/消去を切り換えることができます。
消去すると、CHn ALARM/CHn LOSSメッセージも表示しません。



こんなことも
できます

表示位置や表示形式、表示の有無は、設定画面のDISPLAY SETUP画面で設定できます(8画面表示時は除く)。→41~43ページ

不正操作を防止する

本機は、ロックボタンで前面パネルのボタンによる操作を禁止できます(ロック機能)。ロックするとパスワードを入力して解除するまで、前面パネルによる操作を禁止できます。ロックを解除するためのパスワードは以下の2つがあります。解除時に入力したパスワードで操作できる範囲を制限することができます。

管理者用 (ALL) パスワード: すべての操作を許可する。

OPERATIONパスワード: 設定操作はできません。録画や再生など、設定以外は操作できます。



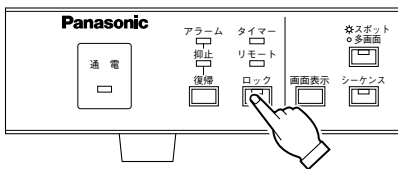
ロック機能を使用する場合、SYSTEM SETUP画面のPASSWORD LOCKで、パスワードを変更してください。
→47ページ

ロックする

ロックボタンを押すと、前面ボタンによる操作を禁止できます。

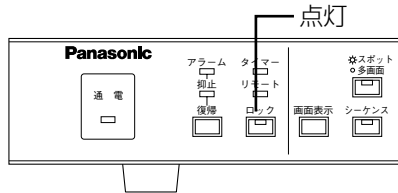
操作手順

- 1 ロックボタンを約2秒押し続ける



状態

ブザーが「ピピッ」と鳴り、ロックボタンのランプが点灯します。



多画面モニターの状態

以下のメッセージが、画面中央に表示されます

KEY LOCK DONE!

メッセージは約2秒表示されます。



重要 ロックすると、前面ボタンから操作できなくなります。ロックを解除するまで、録画ボタンを押して録画することもできませんので注意してください。



こんなことも
できます

SYSTEM SETUP画面のPASSWORD LOCKをONにすると、何も操作しない状態が5分以上継続したとき、自動的にロックできます。→47ページ
ボタンがロックされているとき操作しても、ブザーを鳴らさない設定にすることもできます。→49ページ

ロックを解除する

ロックがかかっているときに操作しようとする多画面モニターにパスワード入力を要求するメッセージが表示されます。ALLまたはOPERATIONのパスワードを入力してロックを解除します。

操作手順

- 1 前面ボタンを押す(どれでもかまいません)

状態

ブザーが「ピー」と鳴ります。

多画面モニターの状態

パスワード入力メッセージが、画面中央に表示されます

NOW KEY LOCKED!

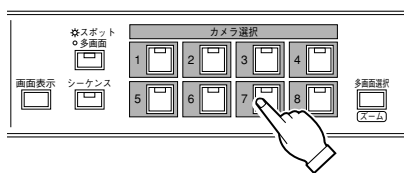
2秒後↓

PASSWORD >-----

続き

操作手順

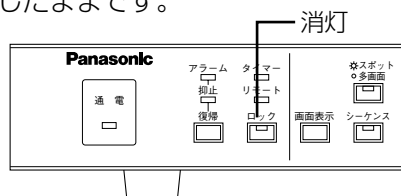
- 2 カメラ選択ボタンでパスワードを入力する(5けた)
お買い上げ時は、12345に設定されています。



状態

正しいパスワードを入力すると、ブザーが「ピピー」と鳴り、ロックが解除されます。

管理者用(ALL)パスワードを入力するとロックボタンのランプが消灯します。オペレーター用(OOPERATION)パスワードを入力した場合は、ロックランプは点灯したままです。



多画面モニターの状態

正しいパスワードを入力すると、ロック解除メッセージが表示されます。

PASSWORD >*****

KEY UNLOCKED!

入力したけたは「-」から「*」に変わります。



重要

パスワードはSYSTEM SETUP画面で定期的に変更することをお勧めします。→47ページ

パスワードを忘れたときは、お買い上げ時の状態に戻してください。→122ページ



- ・パスワード入力メッセージ表示後、約5秒パスワードを入力せずに放置するとメッセージが消え、ロック状態に戻ります。
- ・パスワードを間違えると、ブザーが「ピピッ」と鳴り、多画面モニターにエラーメッセージ(PASSWORD ERROR!)が表示されます。エラーメッセージ表示後、2秒経過すると、パスワード入力メッセージが表示されます(手順1)。
- ・SYSTEM SETUP画面のPASSWORD LOCKをONにすると、何も操作しない状態が5分以上継続したとき、または本機の電源を入れ直すと自動的にロックできます。→47ページ

アラーム発生時の操作

ここでは、アラームが発生したときの操作方法を説明しています

アラームの種類

本機が認識するアラームには以下の3種類があります。

- ・外部機器（センサーなど）から送られてくるアラーム

本機後面のアラーム入力端子に接続されたセンサーなどの外部機器からのアラーム、またはRS-232Cに接続されたPCからのアラームです

- ・動き自動検出機能(→57ページ)によるアラーム
- ・カメラケーブル断線またはカメラの故障(CHn LOSS, nはカメラ番号)

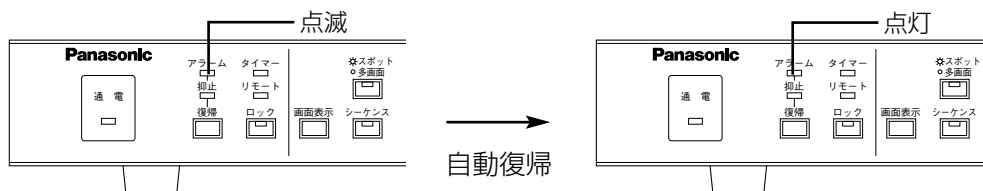


動き自動検出機能を使用する場合、ALARM SETUP画面のVMD SETUPでOFF以外を選択し、検出エリアを設定してください。→57ページ

アラーム発生時の動作

アラームが発生し、本機がアラームを認識するとALARM SETUP画面の設定に従って以下の一連の動作を行います。これらの動作を行うことをアラーム動作と呼びます。

- ・アラームランプを点滅(アラーム発生)/点灯(自動復帰)する



自動復帰とは、アラームが発生してから一定時間経過後、自動的にアラーム動作を終了することです。本機は、REC SETUP画面のPOST ALARM RECに設定された時間が経過すると自動復帰し、アラーム発生前の状態に戻ります(自動復帰)。後面のリセット入力端子をONにした場合も同様です。→31～36ページ

復帰ボタンを押すと、アラームランプを消灯できます。システムコントローラーまたは、HTMLページを表示してリセットした場合も同様です。

- ・アラーム発生日時、アラームの種類をアラーム履歴に記録する(→81ページ)
- ・多画面モニターの状態表示エリアにCHn ALARMメッセージ(nはカメラ番号)を表示し、アラーム発生場所のカメラの画像に切り換える。(CHn LOSSは除く)



・録画モード設定時、TRIGGER ACTION SETUP画面でカメラごとにアラーム動作の有無を設定できます。また、コンビネーションカメラを接続している場合は、アラーム発生時のプリセット移動を設定できます。→34ページ

・ALARM SETUP画面のMONITOR MODEで画像切換の有無を選択できます。→56ページ

- **REC SETUP画面のALM REC MODEに設定されている画質で、自動的に録画を開始する(アラーム録画)(CHn LOSSは除く)→31～36ページ**
 - ・ REC SETUP画面のPOST ALARM RECに設定されている時間、画質を変えて自動的に録画します。
 - ・ REC SETUP画面のPRE ALARM RECに時間が設定されているとき、設定されている時間さかのぼって自動的に録画します。
- **アラーム入力時にブザーを鳴らす(アラームブザー)**

ALARM SETUP画面のALARM BUZZでONを選択しているとき、POST ALARM RECに設定されている時間、ブザーが鳴ります。OFFを選択すると、ブザーは鳴りません。
- **接続しているシステム機器へアラームが発生したことを知らせる(アラーム出力)**

後面パネルのアラーム出力(→116ページ)から信号を出力し、警報などを鳴らすことができます。POST ALARM RECに設定されている時間、出力します。
- **カメラケーブル切断またはカメラ故障時は、CHn LOSSメッセージを表示する**

カメラケーブルが断線またはカメラが故障したとき、多画面モニターにCHn LOSSメッセージを表示するとともに、後面パネルのアラーム出力から信号を出力します。
- **アラーム発生をメールで通知**

メール設定でメールアドレスを登録すると、アラーム発生時、登録したメールアドレスにメールを送信して通知することができます。アラーム発生時の画像を1枚添付してメールを送信することもできます。

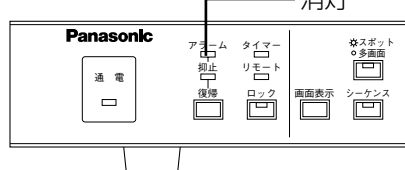
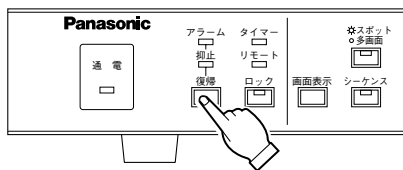
なお、メール設定は、PCのウェブブラウザで行うことができます。→160ページ

アラーム発生時の操作

アラーム動作の解除

アラームが入力されると、本機はアラーム動作を開始します。アラーム動作は、REC SETUPのPOST ALARM RECに設定されている時間が経過すると自動的に解除されます(自動復帰)。手動で解除したいときは、以下の操作を行ってください。

操作手順	状態	多画面モニターの状態
1 復帰ボタンを押す	アラームランプが消灯します。	アラーム発生前の画像が表示されます。



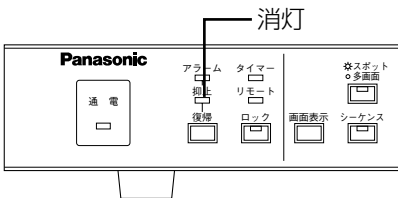
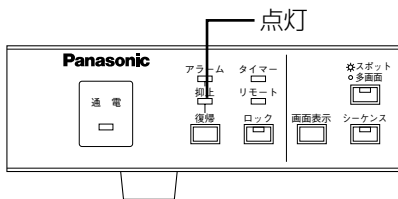
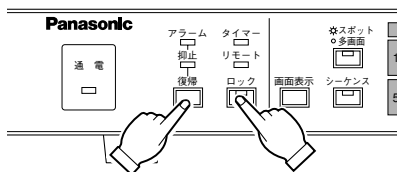
アラーム動作を抑止する

アラームが発生してもアラーム動作を行わないようにすることができます。ある期間(例えば設定作業中など)だけ、アラーム動作を停止したいときに使用します



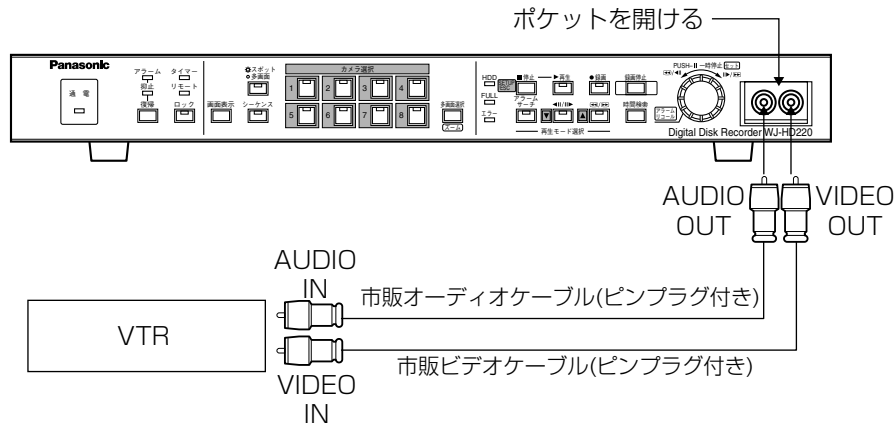
アラームを抑止しても、アラーム録画による自動録画、プリセット移動およびアラーム履歴への記録は行われません。

操作手順	状態	備考
1 復帰ボタンとロックボタンを同時に押し、アラームを抑止する	抑止ランプが点灯します。	システムコントローラーを外部に接続した場合、ユニットアドレス1番のコントローラーからアラーム抑止の操作を行ってください。
2 アラーム動作を再開するときは、再度、復帰ボタンとロックボタンを同時に押す。	抑止ランプが消灯します。	



録画画像をVTRにコピーする

前面パネルにあるVIDEO OUT/AUDIO OUT端子にVTRを接続して、本機に録画された画像をVTRにコピーできます。



多画面モニターに表示している画像(カメラ画像、再生画像)がVIDEO OUT端子から出力されます。設定中は、設定画面も出力されます。AUDIO OUT端子からは音声出力端子から出力されている音声が出力されます。

録画画像をコピーするときは以下の手順で操作してください。

操作手順	状態	多画面モニターの状態
1 上図のようにVTRを接続し、VTRの電源をONにする		
2 VTRの録画ボタンを押し、録画状態にする		
3 VTRにコピーしたい画像を検索して再生する	再生画像がVTRに録画されます	VTRにコピーしている画像が表示されます
4 終了するときは、本機およびVTRの停止ボタンを押す		

システム情報の確認

必要に応じて、設定画面からSYSTEM INFORMATION画面を呼び出し、本機の使用時間、ハードディスク容量、システムバージョン、システムログを確認できます。設定内容をお買い上げ時の状態に初期化することもできます。

表示のしかた

MAIN MENUからSYSTEM INFORMATIONにカーソルを合わせ、ジョグダイヤルを押します。MAIN MENU画面に戻るときは、停止ボタンを押してください。

SYSTEM INFORMATION		
①	HDD1 HOUR METER	xxxxxH
	HDD2 HOUR METER	xxxxxH
②	HDD CAPACITY	xxx.xxG
③	DEFAULT→	SET→
④	SYSTEM VERSION	X.XX
⑤	SYSTEM LOG↵	

設定・表示項目

- ①HDDの稼働時間
- ②ハードディスクの総容量(2台の合計)
- ③設定内容の初期化
- ④システムのバージョン

⑤システムログ

稼働時間(HDD HOUR METER)

本機のHDDの稼働時間が表示されます。HDDの交換目安は、25 °Cの環境下で使用時30,000時間となっています(→16ページ)。なお65535時間(約7.5年)以降は増えません。

ハードディスク総容量(HDD CAPACITY)

内蔵されているハードディスクの容量(単位: GB)が表示されます。

設定内容の初期化(DEFAULT)

設定内容をお買い上げ時の状態に戻すことができます。

操作手順	状態・設定範囲	備考
1 DEFAULTにカーソルを合わせる	DEFAULT→ SET→	
2 ジョグダイヤルを押す	カーソルがSETに移動します。 DEFAULT→ SET→	
3 ジョグダイヤルを再度押す	初期化するときはジョグダイヤルを回し、NOをYESに変更します。 DEFAULT→ YES	
4 ジョグダイヤルを押す。	YESを選択した場合: 初期化が始まります。初期化が終了するとSET DONEに変わります。 DEFAULT→ SET DONE	YESを選択した場合、SET DONEが表示されるまでしばらくお待ちください。
5 停止ボタンを押す	MAIN MENU画面に戻ります。	設定をやり直してください。



時計および解像度の設定は初期化されません。

システムバージョン(SYSTEM VERSION)

本機を制御しているファームウェアのバージョンが表示されます。

システムログの表示(SYSTEM LOG \downarrow)

使用中に発生したエラーの一覧を表示できます。

操作手順	状態・設定範囲	備考																																																
1 SYSTEM LOG \downarrow にカーソルを合わせる	SYSTEM LOG\downarrow																																																	
2 ジョグダイヤルを押す	SYSTEM LOG画面が表示されます。 エラー発生日時がDATE TIMEに表示されます。原因CAU欄に表示されます。 <table border="1"><thead><tr><th colspan="4">SYSTEM LOG (1/10)</th></tr><tr><th>NO.</th><th>DATE</th><th>TIME</th><th>CAU</th></tr></thead><tbody><tr><td>99</td><td>03-10-29</td><td>6:50:06</td><td>TML</td></tr><tr><td>98</td><td>03-10-28</td><td>5:23:51</td><td>POW</td></tr><tr><td>97</td><td>03-10-27</td><td>10:10:23</td><td>POW</td></tr><tr><td>96</td><td>03-10-25</td><td>23:50:42</td><td>HD1</td></tr><tr><td>95</td><td>03-10-20</td><td>23:52:10</td><td>FL%</td></tr><tr><td>94</td><td>03-10- 9</td><td>19:43:32</td><td>TML</td></tr><tr><td>93</td><td>03-10- 1</td><td>19:50:14</td><td>LS1</td></tr><tr><td>92</td><td>03- 9-30</td><td>19:52:54</td><td>TM2</td></tr><tr><td>91</td><td>03- 9-29</td><td>10:40:22</td><td>TM4</td></tr><tr><td>90</td><td>03- 9-20</td><td>10:50:20</td><td>LS1</td></tr></tbody></table>	SYSTEM LOG (1/10)				NO.	DATE	TIME	CAU	99	03-10-29	6:50:06	TML	98	03-10-28	5:23:51	POW	97	03-10-27	10:10:23	POW	96	03-10-25	23:50:42	HD1	95	03-10-20	23:52:10	FL%	94	03-10- 9	19:43:32	TML	93	03-10- 1	19:50:14	LS1	92	03- 9-30	19:52:54	TM2	91	03- 9-29	10:40:22	TM4	90	03- 9-20	10:50:20	LS1	最新のエラーから順番に、最大99件まで確認できます。100件以上になった場合は、古いエラーから順番に削除されます。 ジョグダイヤルを右に回すと次ページを表示できます。 ジョグダイヤルを左に回すと前ページを表示できます。
SYSTEM LOG (1/10)																																																		
NO.	DATE	TIME	CAU																																															
99	03-10-29	6:50:06	TML																																															
98	03-10-28	5:23:51	POW																																															
97	03-10-27	10:10:23	POW																																															
96	03-10-25	23:50:42	HD1																																															
95	03-10-20	23:52:10	FL%																																															
94	03-10- 9	19:43:32	TML																																															
93	03-10- 1	19:50:14	LS1																																															
92	03- 9-30	19:52:54	TM2																																															
91	03- 9-29	10:40:22	TM4																																															
90	03- 9-20	10:50:20	LS1																																															
3 停止ボタンを押す	SYSTEM INFORMATION画面に戻ります。																																																	
4 停止ボタンを押す	MAIN MENU画面に戻ります。																																																	



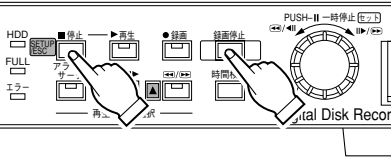
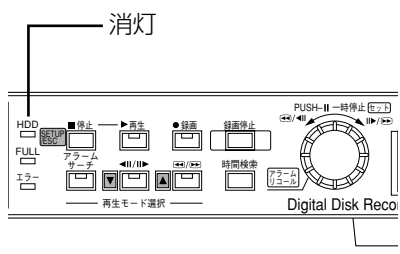
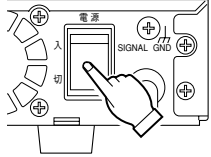
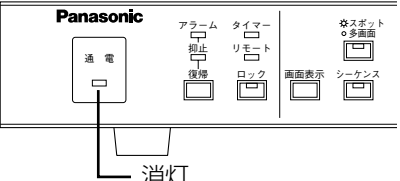
CAU欄に、表示される記号の意味は以下のとおりです。

- **TML**: 温度異常
- **HD1/HD2**: S.M.A.R.T.によるハードディスク異常検出
- **WR1/WR2**: HDD書き込みエラー
- **RV1/RV2**: HDDに異常を検出し自動切り離しを行った
- **POW**: 電源異常
- **ERR**: その他
- **VMn**: 自動動き検出機能が動作したが、録画できなかったことを示す
- **FL%**: 残量警告
- **FLL**: ディスクエンド
- **TMn**: アラーム入力端子にアラームが入力されたが、録画できなかったことを示す
- **PCn**: PC(シリアル接続機器)またはPS・Data機器からアラームが入力されたが、録画できなかったことを示す
- **LSn**: カメラ故障またはケーブル切断などでカメラ画像が入力されなかったことを示す(VIDEO LOSS)。

注: n: カメラの番号(映像入力端子の番号)を表す。

電源を切る

本機の電源を切る場合は、必ず以下の手順にしたがって操作してください。

操作手順	状態	備考
<p>1 再生中は停止ボタンを押す。 録画中は録画停止ボタンを録画ランプが消えるまで押し続ける(約2秒)</p> 	<p>HDDランプが消灯します。</p> 	<p>HDDランプが消灯したことを確認してください。</p>
<p>2 電源スイッチを「切」にする</p> 	<p>通電ランプが消灯します。</p> 	<p>電源スイッチは、本機後面にあります。 電源スイッチを入れ直すときは、電源を切ってから5秒以上、間を空けてください。</p>
<p>3 長時間使用しないときは、電源プラグを電源コンセントから抜く</p>		<p>本機の機能に支障をきたす場合がありますので、ときどき電源を入れて動作させてください。</p>



重要 HDDランプが点灯している場合は、絶対に電源を切らないでください。HDDランプが点灯しているときに電源を切ると、ハードディスクが破壊され、記録した画像を損失する恐れがあります。

ハードディスクのメンテナンス

FULLランプが点滅したときの操作(ディスクエンド)

ハードディスクの空き容量が設定された値(%)より少なくなると、FULLランプが点滅します。また、残量が0%になると録画できなくなり、FULLランプが点灯します。この状態をディスクエンドと呼びます。

ディスクエンドになったときは、以下の操作を行いディスクエンドを解除してください。



FULLランプは、SYSTEM SETUP画面→DISK END MODEで、STOPを選択したときに点灯します(→51ページ)。CONTINUEを選択した場合、古い画像から順番に上書きされるため、点灯しません。

操作手順	状態	多画面モニターの状態
1 MAIN MENUが表示されるまで、停止ボタンを押し続ける(約2秒間)	多画面モニターにMAIN MENUが表示されます。	<pre>WJ-HD220 MAIN MENU TIMER OFF REC SETUP"↓ EXT REC SETUP"↓ DISPLAY SETUP"↓ SYSTEM SETUP"↓ ALARM SETUP"↓ COMMUNICATION SETUP"↓ SWITCHER SETUP"↓ SYSTEM INFORMATION"↓</pre>
2 SYSTEM SETUP"↓にカーソルを合わせる	▲ボタンまたは▼ボタンでカーソルを移動できます。	<pre>SYSTEM SETUP"↓</pre>
3 ジョグダイヤルを押す	SYSTEM SETUP画面が表示されます。	<pre>SYSTEM SETUP (1/2) PASSWORD LOCK OFF ALL→ ***** OPERATION→ ***** KEYLOCK BUZZ ON SKIP ALM-RECALL 1PAGE SIMUL REC&PLAY ON ALTER DETECT OFF DISK END MODE CONTINUE DISK END BUZZ ON</pre>
4 DISK END MODEにカーソルを合わせる	▲ボタンまたは▼ボタンでカーソルを移動できます。	<pre>DISK END MODE STOP</pre>
5 ジョグダイヤルを回して、CONTINUEに変更する。	以下から選択できます。 STOP CONTINUE	
6 停止ボタンを押す	MAIN MENU画面に戻ります。	
7 MAIN MENU画面が消えるまで、停止ボタンを押し続ける(約2秒)	ディスクエンドが解除され、変更したモードで動作が始まります。	
8 手順1から7を繰り返して、DISK END MODEの設定をSTOPに戻す		

ハードディスクのメンテナンス

エラーランプが点滅したときの操作

本機は、電源投入時ハードディスクの状態を確認します。確認時、ハードディスクに問題があるとき、本機は以下の動作を行います。以下の動作が行われたときは販売店にご相談ください。

- ・エラーランプを点滅する
黄色点滅: ハードディスク状態チェックで問題を発見したとき
赤色点滅: ハードディスクが故障したとき
- ・後面パネルのエラー出力端子をONにする

エラーランプが赤色点滅しているときに、電源を入れ直すと本機は以下の動作を行います。

- ・DISK MENUを表示する(→101ページ)
- ・ブザーを5秒ごとに鳴らす(ブザーは前面パネルのボタンを押すと止まります)



重要

エラーランプが点滅したときは、ハードディスクの交換が必要です。販売店にご相談ください。お客様自身で交換すると感電やけがの原因となりますので絶対にお止めください。

ハードディスクは消耗品です。25℃の環境でご使用になる場合、30,000時間を目安に交換してください(ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、部品を保証するものではありません)。なお、ハードディスクの交換は販売店にご相談ください。ハードディスクの稼働時間→96ページ



本機にはハードディスクが2台内蔵されています。2台のハードディスクのうち1台が故障しても、残りの1台で運用を継続できるように設計されています。(ただし、故障のモード、状況によっては、1台の故障でも運用が完全に停止することがあります。)

ハードディスクの初期化

以下の場合、ハードディスクの初期化を行います。ハードディスクの初期化はDISK MENU画面で行います(→104ページ)。

- ・録画画像をすべて消去する
- ・ハードディスクを交換、または追加した(交換または追加したハードディスクは本機で初期化するまで使用できません)



ハードディスクを初期化しても、設定内容は初期化されません。
設定内容を初期化し、お買い上げ時の状態に戻す場合は→122ページ

DISK MENU画面の操作

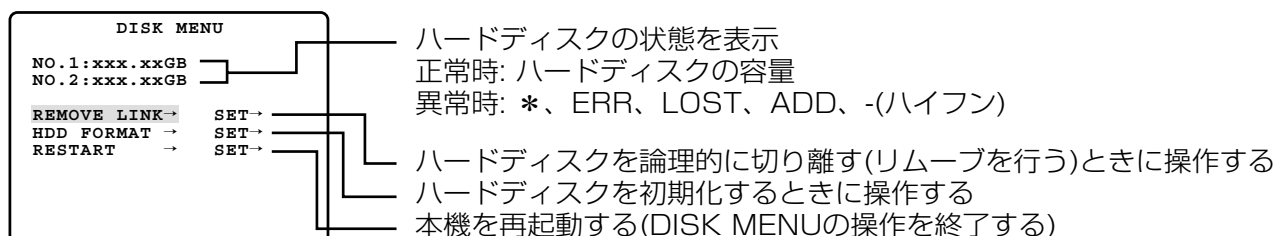
DISK MENU画面について

本機は電源を入れたとき、ハードディスクの状態をチェックします。このとき、ハードディスクの状態に異常があると、自動的にDISK MENU画面が表示されます(エラーランプ点滅、ブザーON(5秒に1回)、後面エラー出力端子ON)。

DISK MENU画面は、以下の操作を行って表示することもできます。DISK MENU画面を操作するためには、管理者(ALL)のパスワードが必要です。

操作手順	状態	多画面モニターの状態
1 電源を入れ直す	通電ランプが点灯します。	「SYSTEM CHECK」メッセージ表示後、「SYSTEM CEHCK DONE! TO OPEN DISK MENU PUSH STOP KEY」メッセージが表示されます。(約2秒間)
2 停止ボタンを押して、DISK MENU画面を表示する		DISK MENU画面が表示されます。 
3 通常運用に戻るときはリスタートしてください(→105ページ)		

DISK MENU画面には以下の情報が表示されます。ハードディスクの状態については次ページをお読みください。



ハードディスクのメンテナンス

ハードディスクの状態について

ハードディスクに容量が表示されないときは、下表の操作を行ってください。DISK MENU表示後、何も操作せずに1分以上経過すると、本機は自動的に通常運用を行います(状態が、ERRに変わります)。

状態表示	意味	対策	備考
ERR	書き込みエラーが発生した。	初期化しても、ERRが表示されるときは、ハードディスク交換後、初期化してください	書き込みエラーはシステムログで確認できます。ハードディスクの交換は販売店にご相談ください。



状態表示には、上記以外に以下の項目が表示されることがあります。

LOST: ハードディスクを論理的に切り離さずにハードディスクを本機から取り外した後、電源を入れると表示されます。ハードディスクを追加し、初期化してください。ハードディスク1台で運用を続けるときは、ハードディスクを論理的に切り離してください。

—: ハードディスクを論理的に切り離した後、前ページの手順でDISK MENUを表示すると表示されます。

ADD: ハードディスクを追加した後、電源を入れると表示されます。ハードディスクを初期化してください。

*: 他のデジタルディスクレコーダー(WJ-HD220)で使用していたハードディスクを取り付けると表示されます。ハードディスクの状態によっては、そのまま再生することができますが、初期化してから使用することをお勧めします。

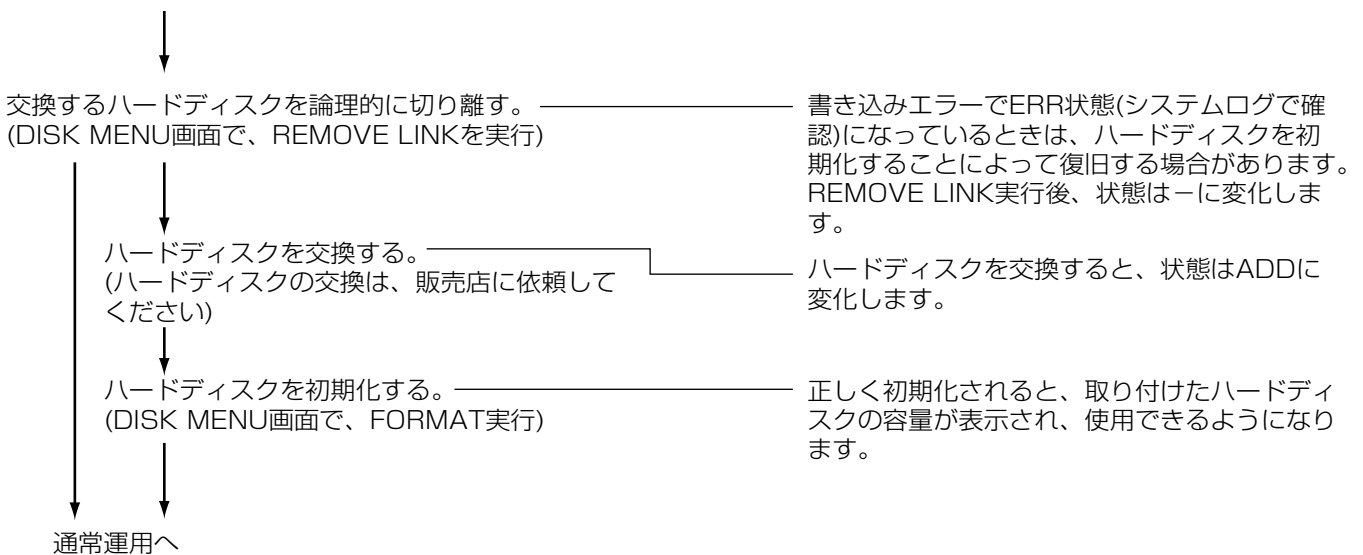
ハードディスク故障時の対処方法(ERR状態)

ハードディスクが故障したときは、以下の手順で対処してください。



ハードディスクは消耗品です。25℃の環境でご使用になる場合、30,000時間を目安に交換してください(ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、部品を保証するものではありません)。なお、ハードディスクの交換は販売店にご相談ください。ハードディスクの稼働時間→96ページ

DISK MENU画面で状態確認 → 以下の手順はHDD2が故障した場合にのみ有効です。



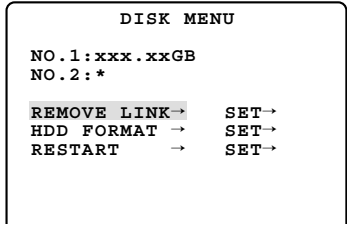
ハードディスクを論理的に切り離す(REMOVE LINK)

論理的な切り離しとは、物理的にハードディスクを取り外すことなく、システムから認識できなくすることです。

この操作は、ハードディスクを交換するとき、または問題のあるハードディスクを一時的に切り離して運用を継続したいときにのみ行ってください。



- ・利用できるハードディスクが1台あるときにのみ、残りの1台を切り離すことができます。2台を同時に切り離すことはできません。
- ・REMOVE LINKを実行すると、以下の状態のハードディスクが切り離されます。
 - *、ERR、LOST

操作手順	状態	多画面モニターの状態
1 DISK MENU画面を表示する (→101ページ)		
2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、カーソルをREMOVE LINKに移動する		REMOVE LINK → SET →
3 ジョグダイヤルを押す		REMOVE LINK → NO
4 ジョグダイヤルを回してYESを選択する	異常のあるハードディスクを切り離します。 操作を取り消すときは、停止ボタンを押してください。手順1に戻ります(通常運用に戻るにはリスタートしてください)。	REMOVE LINK → YES →
5 ジョグダイヤルを押す	ハードディスクの切り離しを行い、SET DONE!を表示します。約5秒後に通常運用に戻ります。	REMOVE LINK → SET DONE! (切り離し終了) ↓約5秒後 通常運用



切り離せるハードディスクがない、または切り離すと運用に使うハードディスクがなくなる場合、ERROR!を表示し、約5秒後に手順1の状態に戻ります。

ハードディスクのメンテナンス

初期化のしかた(FORMAT)

ハードディスクを初期化するときは以下の操作を行ってください。初期化は、以下の状態のときに行うことができます。

ERR(書き込みエラー時)、*(ハードディスク交換後)、ADD(ハードディスク追加)、容量表示



重要 ハードディスクを初期化すると、録画された画像はすべて消去されます。必要ならば、ネットワーク機能を使い必要な画像をサーバーに転送するか、前面パネルのVIDEO OUT端子にVTRを接続してコピーしてください。

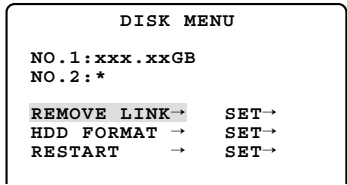
操作手順	状態	多画面モニターの状態
1 DISK MENU画面を表示する (→101ページ)		
2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、カーソルをHDD FORMATに移動する		<u>HDD FORMAT</u> → SET →
3 ジョグダイヤルを押す	パスワードを入力できるようになります	PASSWORD → _
4 カメラ選択ボタン1~8で、管理者用(ALL)パスワードを入力する	正しいパスワードを入力すると、HDD選択に変わります。	PASSWORD →***** ↓ DISK NO. →1→
5 ジョグダイヤルを回して初期化するハードディスクを選択する	以下から選択できます。 1: NO.1のHDDを初期化 2: NO.2のHDDを初期化 ALL: 接続されている全HDDを初期化	DISK NO. → <u>ALL</u> →
6 ジョグダイヤルを押す	確認画面に換わります	HDD FORMAT → <u>YES</u> →
7 ジョグダイヤルを押す	ジョグダイヤルを回してYES(初期化する)を選択します。	HDD FORMAT → <u>YES</u> →

続き

操作手順	状態	多画面モニターの状態
8 ジョグダイヤルを押す	初期化が完了するまでそのままお待ちください(約40分かかります)。 操作を取り消すときは、停止ボタンを押してください。手順1に戻ります(通常運用に戻るにはリスタートしてください)。	NOW FORMATING(初期化中) ↓ HDD FORMAT →SET DONE!(初期化終了) ↓ 約5秒後に、自動的に再起動します。

再起動のしかた(RESTART)

DISK MENU画面の操作を終了し、通常運用に戻る場合、リスタートを行います。

操作手順	状態	多画面モニターの状態
1 DISK MENU画面を表示する(→101ページ)		
2 ▲ボタンまたは▼ボタンを押して、カーソルをRESTARTに移動する		RESTART → SET →
3 ジョグダイヤルを押す		RESTART → NO
4 ジョグダイヤルを回してYESを選択する	以下の2種類のモードが選択できます。 YES：通常運用モード PLAY ONLY：再生専用モード	RESTART → YES →
5 ジョグダイヤルを押す	SET DONE!表示後、再起動します。 操作を取り消すときは、停止ボタンを押してください。手順1に戻ります。	RESTART → SET DONE! ↓ 再起動(ハードディスクの状態に変更があるとき、再度DISK MENU画面を表示します)



- 再生専用モードは本機の故障などにより、別のWJ-HD220にハードディスクドライブのみを移動したときに使用します。故障の際は販売店にご相談ください。
誤って再生専用モードにしてしまった場合は、再度DISK MENU画面を表示し、RESTARTでYES(通常運用モード)を選択してください。
- 再生専用モードで使用する場合、カメラ画像表示中は“STOP (PO)”を表示します。

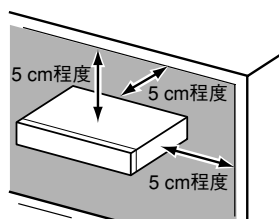
設置上のお願い

以下の場所には設置しないでください

- ①直射日光の当たる場所
- ②振動の多い場所や衝撃が加わる場所
- ③スピーカーやテレビ、磁石など、強い磁力を発生するものの近く
- ④結露しやすい場所、温度差の激しい場所、水気（湿気）の多い場所
- ⑤厨房など蒸気や油分の多い場所
- ⑥傾斜のある場所

横置き（水平）に設置してください

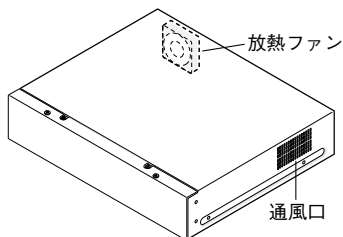
縦置きや傾けて設置しないでください。段積みする際は、上下の間隔を5 cm程度空けてください。



放熱について

内部に熱がこもると、火災や故障の原因となりますので、次のことに注意してください。

- 放熱ファンの吹き出し口近くや通風口を壁やラック、布などでふさがれないでください。ほこりなどで通風口がふさがれないように、定期的にお手入れしてください。
- 放熱ファンは消耗品です。約30 000時間を目安に交換してください。交換は販売店にご依頼ください。
- 機器の側面、上面、後面は壁面から5 cm程度空けてください。また、側面にある空気吸い込み口から空気を吸い込み、内部のHDDを冷却していますので、この空気吸い込み口をふさがないようにしてください。



雑音源は避ける

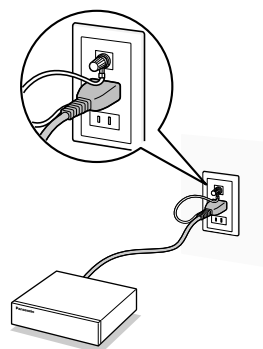
電灯線など雑音源にケーブルを近づけると、映像が乱れる場合があります。そのときは雑音源からできるだけ離すように配線する、または本機の位置を変えてください。

ラックにマウントするときは

- 本機をラックマウントする場合は、必ずEIA規格相当のラック（奥行き450 mm以上）をご使用ください。
- ラック内の温度が45 °C以上にならないようにしてください。内部の部品に悪影響を与え、故障の原因となります。

アース（接地）について

ご使用前に、アースが正しく確実に取り付けられているかご確認ください。



電源について

アース接続は、必ず電源プラグを主電源につなぐ前に行ってください。また、アース接続をはずす場合は、必ず電源プラグを主電源から切り離してから行ってください。

設置工事について

ハードディスクセーフティモードについて

本機の電源を切れない状態で、設置作業を行わなければならないときは、HDD SAFETY MODEを「ON」にして作業を行ってください。HDD SAFETY MODEは、MAIN MENU - SYSTEM SETUPで設定できます。



- ・電源「入」時に、HDD SAFETY MODEが「OFF」の状態で行った場合、振動や衝撃により、ハードディスクが故障する恐れがあります。
- ・HDD SAFETY MODEが「ON」の状態ではハードディスクの交換はできません。電源「切」後、30秒経過してから行ってください（ハードディスクの交換は販売店にご相談ください）。

初めてお使いになるときは

初めてお使いになる場合は、以下の手順で本機をセットアップしてください。

操作手順	状態	多画面モニターの状態
1 背面の電源スイッチを「入」にする	通電ランプが点灯し、ハードディスクの状態を自動的に確認します。	ハードディスクの状態確認中、モニターにメッセージが数秒表示されます。
2	システムチェック後、HDD SAFETY MODE画面が表示され、HDD停止制御を行います。同時に、本体前面のカメラ選択ボタン1~8のランプが緑色に点滅します。約30秒間そのままお待ちください。	<pre>*** HDD SAFETY MODE *** DO NOT MOVE HDD! WAIT UNTIL ALL HDD MOTORS STOP. -STILL IN PROCESS FOR STOP-</pre>
3	すべてのハードディスクの動作停止制御を終え、モーターが停止すると、右の画面が表示されます。同時に、本体前面のカメラ選択ボタン1~8のランプが2秒間緑色点灯→2秒間橙色点灯を繰り返します。作業は右の画面を確認してから行ってください。	<pre>*** HDD SAFETY MODE *** ALL HDD MOTORS STOPPED. NOW YOU CAN MOVE UNIT. SELECT OFF AND PUSH JOG TO RESTART. HDD SAFETY MODE ON</pre>
4 ジョグダイヤルを回してOFFに変更する	作業終了後はHDD SAFETY MODEをOFFに変更します。	HDD SAFETY MODE <u>OFF</u>
5 ジョグダイヤルを押す	自動的に再起動し、通常運用モードに移行します。	HDD SAFETY MODE <u>SET DONE!</u>

設置工事について

メンテナンス（ハードディスクの交換や設置作業など）を行うときは

運用開始後に、ハードディスクの交換や設置作業（ラックへの取り付け、取り外し）などメンテナンスを行う際、以下の操作を行ってください。

操作手順	状態	多画面モニターの状態
1 MAIN MENUが表示されるまで、停止ボタンを押し続ける（約2秒間）	多画面モニターにMAIN MENUが表示されます。	<pre>WJ-HD220 MAIN MENU TIMER OFF REC SETUP"↓ EXT REC SETUP"↓ DISPLAY SETUP"↓ SYSTEM SETUP"↓ ALARM SETUP"↓ COMMUNICATION SETUP"↓ SWITCHER SETUP"↓ SYSTEM INFORMATION"↓</pre>
2 SYSTEM SETUP"↓にカーソルを合わせる	▲ボタンまたは▼ボタンでカーソルを移動できます。	<u>SYSTEM SETUP"↓</u>
3 ジョグダイヤルを押す	SYSTEM SETUP(1/2)画面が表示されます。カーソルをDISK END BUZZに合わせ、▼ボタンを押すと、SYSTEM SETUP(2/2)画面を表示できます。	<pre>SYSTEM SETUP (1/2) PASSWORD LOCK OFF ALL→ ***** OPERATOR ***** KEYLOCK BUZZ ON SKIP ALM-RECALL 1PAGE SIMUL REC&PLAY ON ALTER DETECT OFF DISK END MODE CONTINUE DISK END BUZZ ON SYSTEM SETUP (2/2) PLAY PRIORITY LOCAL TIME ADJUST SETUP"↓ RESOLUTION→ NORMAL→ HDD SAFETY MODE OFF</pre>
4 HDD SAFETY MODEにカーソルを合わせる	▲ボタンまたは▼ボタンでカーソルを移動できます。	<u>HDD SAFETY MODE OFF</u>
5 ジョグダイヤルを回してONに変更する	以下から選択できます。 ON OFF	<u>HDD SAFETY MODE ON</u>
6 停止ボタンを押す	MAIN MENU画面に戻ります。	
7 MAIN MENU画面が消えるまで、停止ボタンを押し続ける（約2秒間）	自動的に再起動し、HDDセーフティモードに入ります。	

続き

操作手順	状態	多画面モニターの状態
8	HDD SAFETY MODE画面が表示され、HDD停止制御を行います。同時に、本体前面のカメラ選択ボタン1~8のランプが緑色に点滅します。約30秒間そのままお待ちください。	<pre>*** HDD SAFETY MODE *** DO NOT MOVE HDD! WAIT UNTIL ALL HDD MOTORS STOP. -STILL IN PROCESS FOR STOP-</pre>
9	すべてのハードディスクの動作停止制御を終えモーターが停止されると、右の画面が表示されます。同時に、本体前面のカメラ選択ボタン1~8のランプが2秒間緑色点灯→2秒間橙色点灯を繰り返します。作業は右の画面を確認してから行ってください。	<pre>*** HDD SAFETY MODE *** ALL HDD MOTORS STOPPED. NOW YOU CAN MOVE UNIT. SELECT OFF AND PUSH JOG TO RESTART. HDD SAFETY MODE ON</pre>
10 ジョグダイヤルを回してOFFに変更する	作業終了後はHDD SAFETY MODEをOFFに変更します。	HDD SAFETY MODE <u>OFF</u>
11 ジョグダイヤルを押す	自動的に再起動し、通常運用モードに移行します。	HDD SAFETY MODE <u>SET DONE!</u>

各部のなまえ (後面パネル部)

音声入力(ピンプラグ)

LINE入力です。マイクアンプなどからの音声を入力します。

入力した音声は音声出力端子から出力されます(再生時は除く)。

映像入力1~8(BNC,75Ω自動終端付)

カメラやレシーバーなどの映像出力などを接続します。

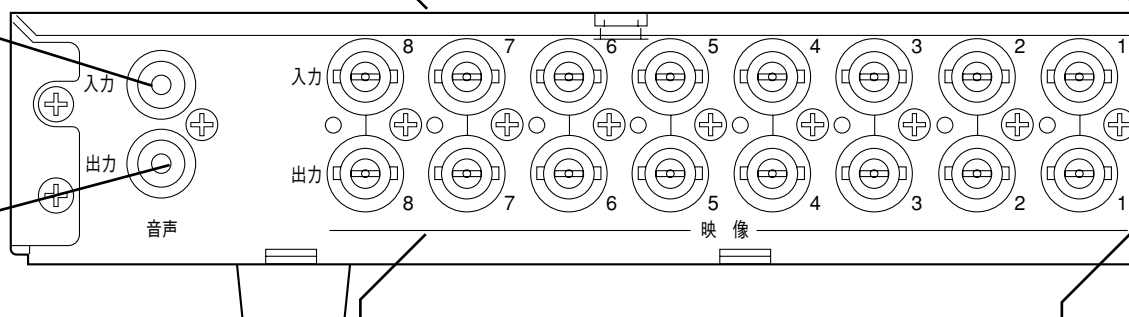
映像入力1~4はコンビネーションカメラを直接接続することができます。

注: 映像入力5~8にコンビネーションカメラを使用する場合、別売りの同軸通信ユニットが必要です。

スポット出力(BNC)

モニターを接続します。この端子に接続したモニターをスポットモニターと呼びます。

スポットモニターにはカメラ画像のみ表示できません。多画面、再生画像、設定メニューは表示できません。



音声出力(ピンプラグ)

音声を出力する端子です。音声入力に入力した音声が出力されます。再生時は、録音されている音声が出力されます。

映像出力1~8(BNC,ループスルー)

映像入力1~8端子に入力した映像が出力されます。

映像出力1~4は本機の電源が入っていない場合、出力されません。

多画面出力(BNC)

モニターを接続します。この端子に接続したモニターを多画面モニターと呼びます。

多画面モニターには、以下の画像を表示できます。

- ・カメラ画像
- ・再生画像
- ・設定メニュー

アラーム/リモート端子(D-SUB25ピン)

センサーなどを接続します。または、外部機器で本機を操作する場合、本機を操作するための制御スイッチなどを接続します。

モードスイッチ

本機の動作モードを設定します。

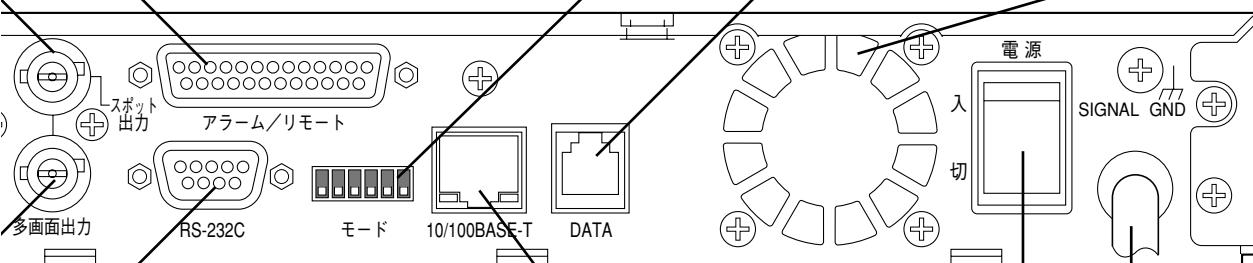
DATAポート

PS-Data機器を接続するときに使います。RS-232C端子使用時には使用できません。

注: システムコントローラーを接続して、本機または本機に接続された機器を操作する場合、ネットワークポートは使用しないでください。

放熱ファン

放熱ファンは消耗品です。約30,000時間を目安に交換してください(ただし、この時間はあくまでも交換の目安であり、部品を保証するものではありません)。放熱ファンの交換は、当社サービスマンまたは販売店にご相談ください。



RS-232C端子(D-SUB9ピン)

PCを接続します。DATAポート使用時には使用できません。

電源コード

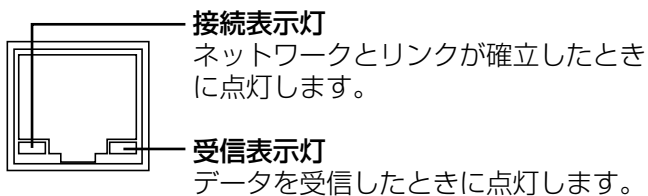
AC100 V 50 Hz/60 Hz

電源スイッチ

ネットワークポート

本機を10BASE-Tまたは100BASE-TXネットワークに接続します。ネットワーク接続されたPCから本機を操作する場合に使用します。

注: ネットワークに接続された機器から本機または本機に接続された機器を操作する場合、DATAポートに、システムコントローラーは接続しないでください。



接続のしかた

基本的な接続例

本機単体で使用する場合の接続例を紹介します。

接続上の注意

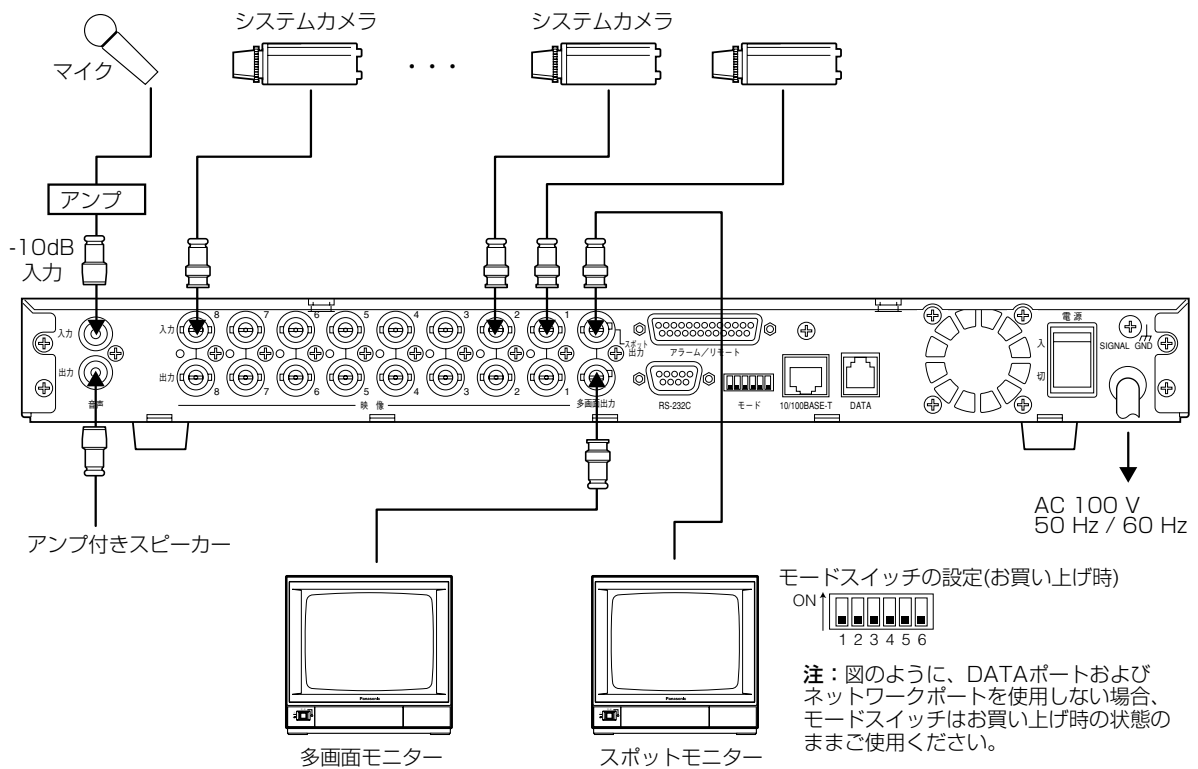
- ・電源プラグは最後に接続してください。
- ・コンビネーションカメラを5台以上使用する場合は、同軸通信ユニットが必要です。次ページをお読みください。
- ・外部スイッチまたはセンサーを使用する場合→116ページ

関連設定項目

以下の設定画面の設定内容を確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
REC SETUP	REC MODE	音声を録音する場合、録画モードをSF-A/FQ-A/NQ-A/EX-A/SP-Aから選択すること。

接続例



PS・Dataモード対応機器との接続例

PS・Dataモード対応機器を接続する場合の接続例を紹介します。PS・Dataモード対応システムコントローラーを接続すると、システムコントローラーで本機および本機に接続された機器を操作できます。

接続上の注意

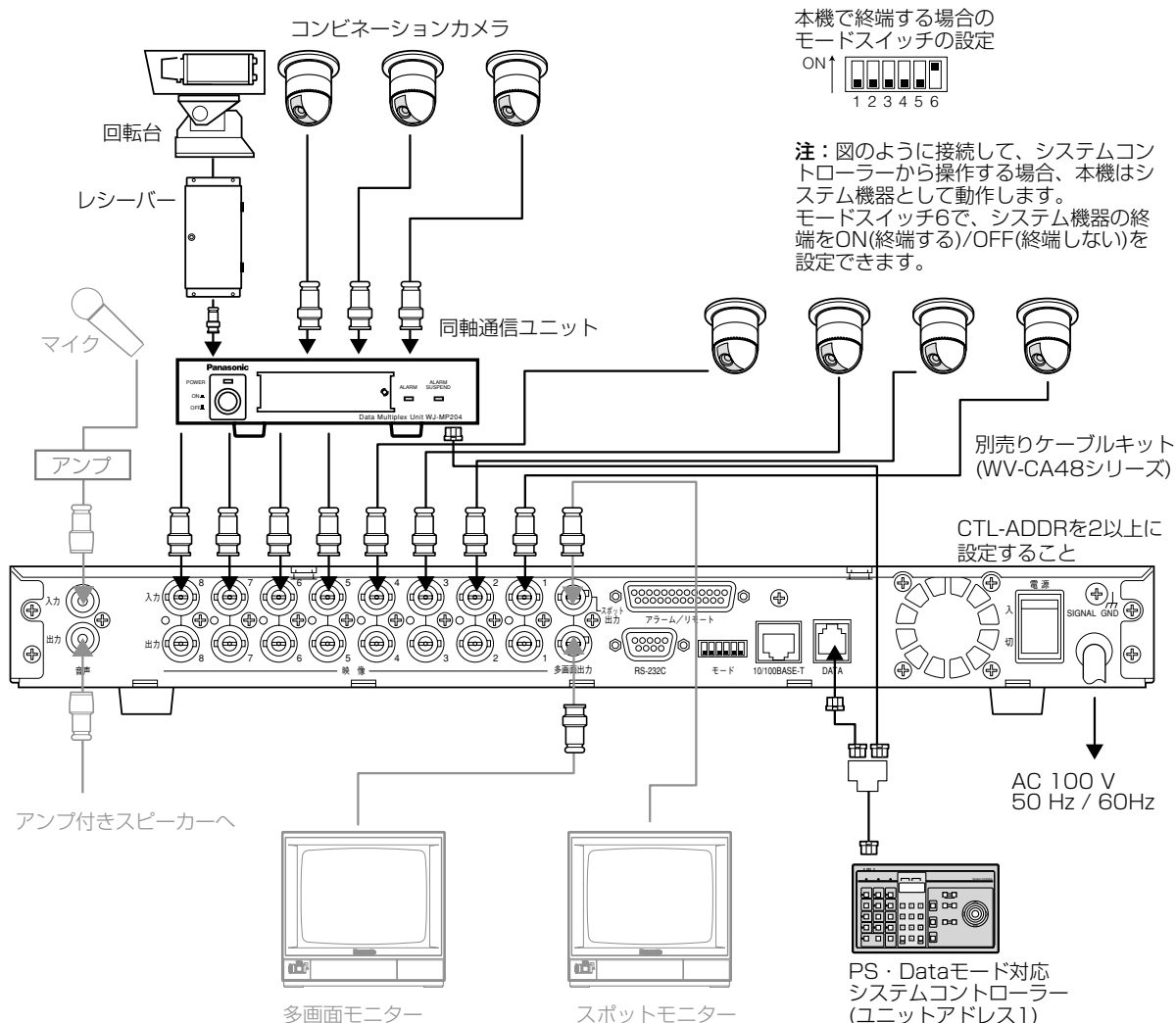
- 電源プラグは最後に接続してください。
- PS・Dataモード対応システムコントローラーを接続する場合、10/100BASE-Tポートは使用しないでください(誤動作することがあります)。10/100BASE-Tに接続された機器(PCなど)で本機を操作する場合→121ページ

関連設定項目

以下の設定画面の設定内容は必ず確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
SERIAL PORT SETUP	PROTOCOL	PS・DATAを選択すること。
	SYS-UNIT ADDR	ユニットアドレスを設定すること。→62ページ
	CTL-UNIT ADDR	コントロール用のユニットアドレスを2以上に設定すること。→62ページ

接続例



接続のしかた

ネットワークへの接続例(遠隔操作)

本機をネットワークに接続すると、ネットワークに接続されたPC(ウェブブラウザ)で本機を操作できます。

接続上の注意

- ・電源プラグは最後に接続してください。
- ・10/100BASE-Tポートを使いネットワークに接続する場合、システムコントローラーは接続しないでください(誤動作することがあります)。
- ・本機とPCを1対1で接続する(HUB/ルーターを使用しない)場合、LANケーブルはクロスケーブルをご使用ください。

関連設定項目

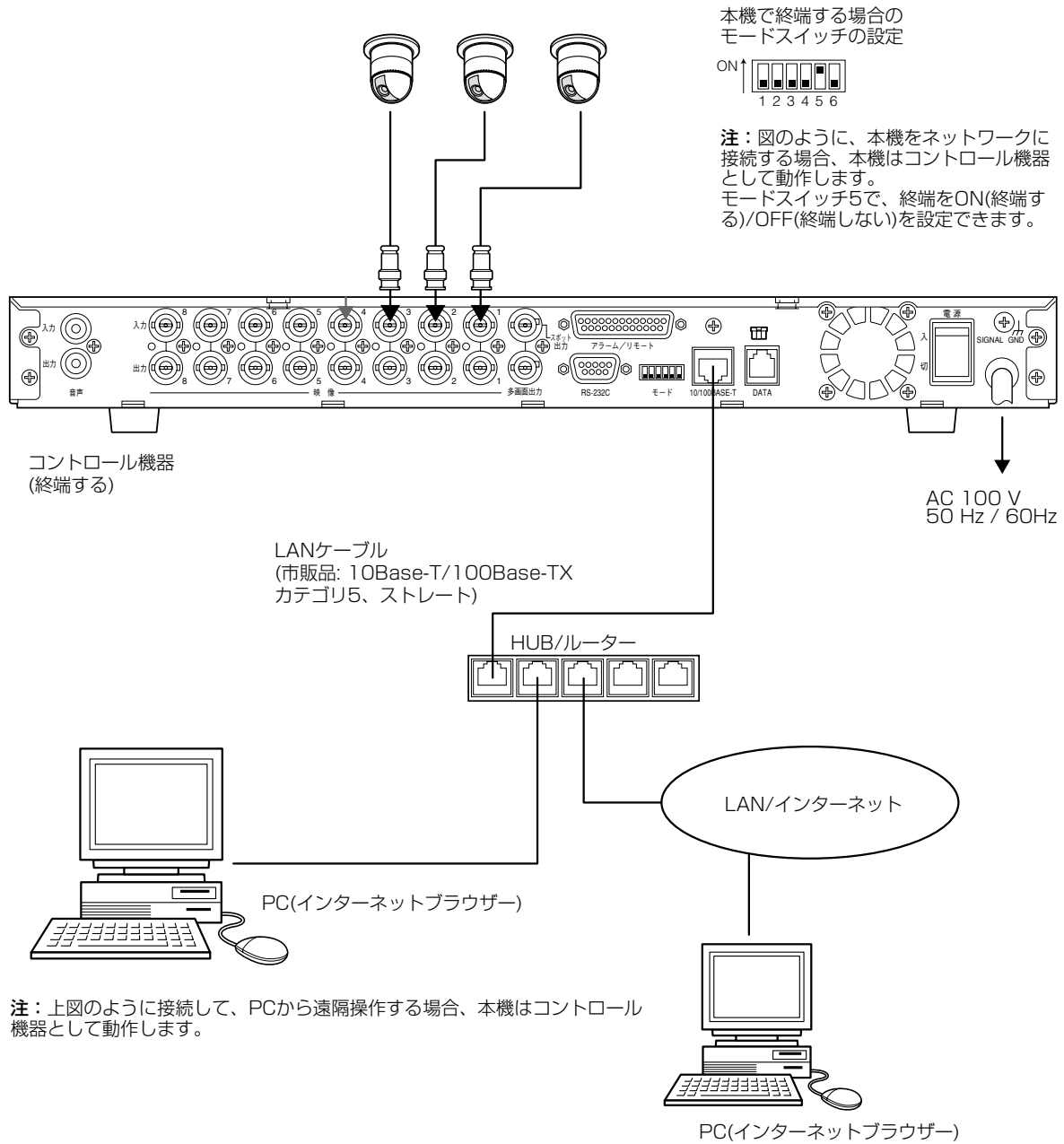
以下の設定画面の設定内容は必ず確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
SERIAL PORT SETUP	PROTOCOL	同軸通信ユニットを使用する場合は、PS·DATAを選択すること。
	SYS-UNIT ADDR	同軸通信ユニットを使用する場合は、本機のユニットアドレスを設定すること。→62ページ
	CTL-UNIT ADDR	コントロール用のユニットアドレスを設定すること。→62ページ
NETWORK SETUP		ネットワークに関する各種アドレスを設定すること。→65ページ



PCのネットワーク環境の設定方法は→126ページ

接続例

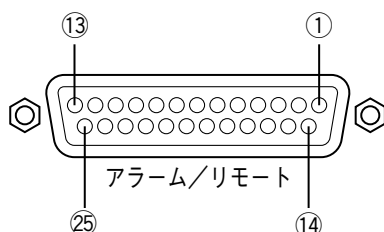


接続のしかた

アラーム/リモート端子の使いかた

ピン配列

アラーム/リモート端子のピン配列は以下のとおりです。



ピン番号	I/O	信号名	定格
1	IN	アラーム復帰入力	無電圧メイク接点 パルス幅100 ms以上
2	IN	アラーム1入力	同上
3	IN	アラーム2入力	同上
4	OUT	アラーム復帰出力1	DC5 V 220 Ω 正極性 (※1)
5	OUT	アラーム復帰出力2	オープンコレクタ DC2.4V 最大100 mA (※2)
6	OUT	アラーム出力1	DC12 V 4.7 kΩ 正極性
7	OUT	アラーム出力2	オープンコレクタ DC24 V 最大100 mA
8	OUT	ディスクエンド出力	同上
9	OUT	機器異常検知出力	同上
10	IN	アラーム3入力	無電圧メイク接点 パルス幅100 ms以上
11	IN	アラーム4入力	同上
12	OUT	録画中出力	オープンコレクタ DC24 V 最大100 mA
13	IN	時刻合わせ入力	無電圧メイク接点 パルス幅100 ms以上
14	OUT	時刻合わせ出力	オープンコレクタ DC24 V 最大100 mA
15	IN	アラーム5入力	無電圧メイク接点 パルス幅100 ms以上
16	IN	アラーム6入力	同上
17	IN	アラーム7入力	同上
18	IN	アラーム8入力	同上
19, 20		シグナルグランド	
21	OUT	再生中出力	オープンコレクタ DC12 V 最大100 mA
22	IN	外部録画入力	無電圧メイク接点 パルス幅100 ms以上
23		未使用	
24	IN	シーケンス入力	無電圧メイク接点 パルス幅100 ms以上
25	OUT	シーケンス出力	オープンコレクタ DC24 V 最大100 mA

※1：通常5 V、アラーム動作時0 V、アラーム復帰後5 V

※2：通常クローズ、アラーム動作時オープン、アラーム復帰後クローズ

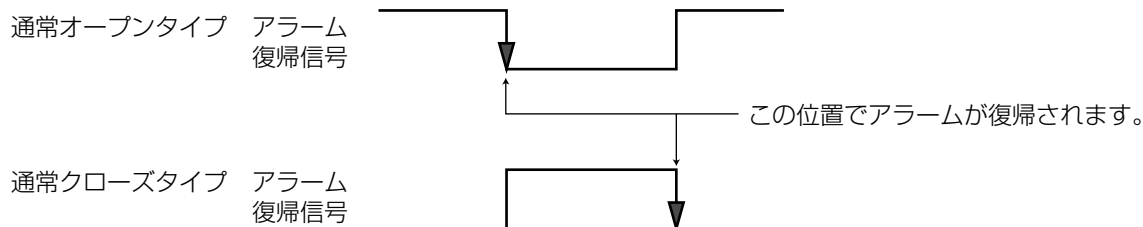
アラームの接続

- ・センサーは、アラーム入力1～8に接続できます。センサーが動作すると、設定内容に従って動作します。
- ・復帰ボタンの代わりにアラーム復帰スイッチを接続することができます(アラーム復帰スイッチで、アラームを復帰すると、アラームランプは点滅から点灯に変わります)。
- ・アラーム出力に、ブザーや警報装置などを接続することができます。

接続上の注意

- ・センサーは本機の定格に適合する機器を接続してください。
- ・アラーム出力およびアラーム復帰出力に接続する機器の定格を確認し、適合するピンに接続してください。

- ・アラーム復帰入力に接続するスイッチの種類によって、復帰するタイミングが下図のように異なります。

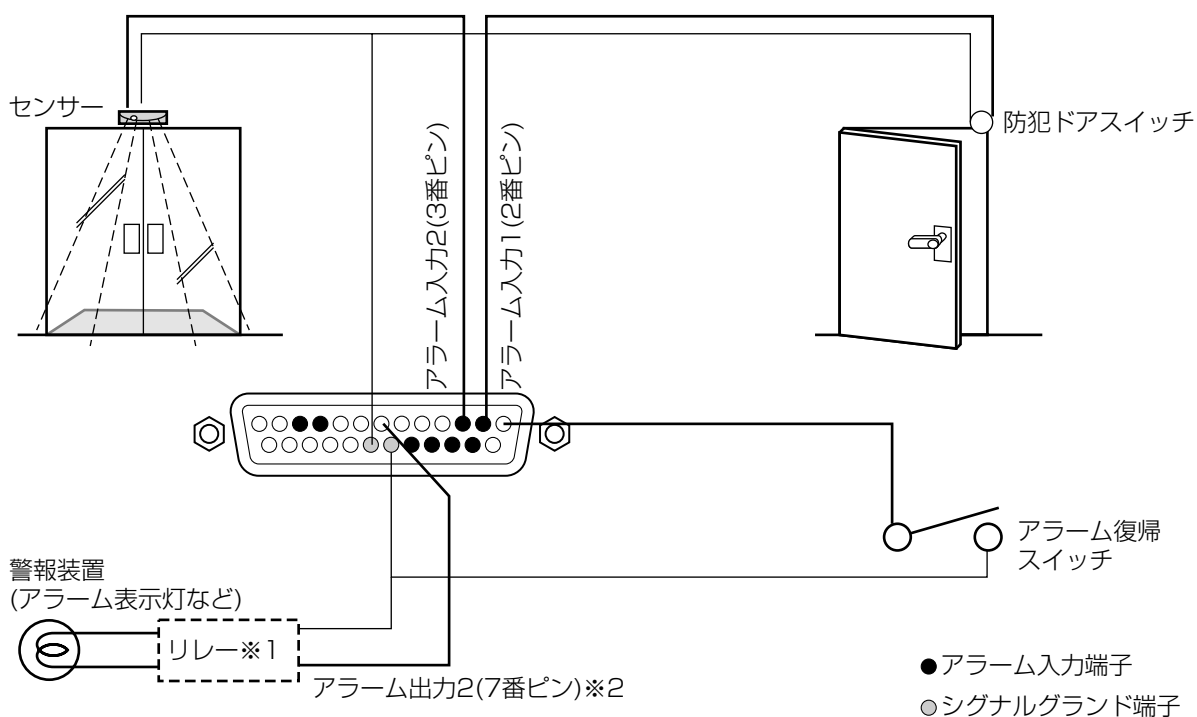


関連設定項目

以下の設定画面の設定内容を確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
ALARM SETUP	全項目(VMDは除く)	音声を録音する場合、録画モードをSF-A/FQ-A/NQ-A/EX-A/SP-Aから選択すること。→28～39ページ

接続例



※1: リレーは必要に応じて取り付けること。

※2: DC 12V タイプの機器を接続する場合は、アラーム出力1 (6番ピン)に接続すること。

メモ こんなことも
できます

アラーム復帰出力1 (4番ピン)または2 (5番ピン)で、他の機器にアラーム復帰を通知することができます。アラーム復帰出力1と2では定格が異なりますので、接続する機器の定格にあったピンに接続してください。

接続のしかた

自動時刻補正を行う場合

時刻合わせ入力(13番ピン)または時刻合わせ出力(14番ピン)を使えば、他の機器(例えば親時計)の時刻で、本機の時刻を補正したり、本機の時刻で他の機器の時刻を補正することができます。

本機の時刻で他の機器の時刻を合わせる

本機に設定されている時刻を基に、他の機器の時刻を合わせます。時刻合わせ出力端子から1秒間パルスを出力します。

本機の時刻を他の機器の時刻に合わせる

時刻合わせ入力端子にパルスが入力されると、時刻を00分に合わせます。毎時±15分の範囲で補正できます。
例：8:00～8:15→8:00、8:45～8:55→9:00

接続上の注意

- ・本機の定格に適合する機器を接続してください。
- ・時刻合わせ入力と時刻合わせ出力を同時に使用することはできません。

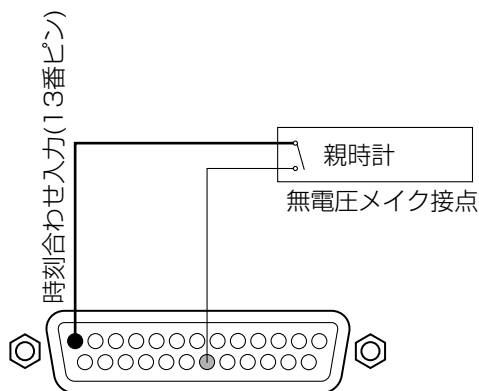
関連設定項目

以下の設定画面の設定内容を確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
SYSTEM SETUP(2/2)	TIME ADJUST SETUP	本機の時刻で他の機器の時刻を合わせる場合: MASTERに設定する。 本機の時刻を他の機器の時刻に合わせる場合: SLAVEに設定する。

接続例

下図は親時計で本機の時刻を補正する場合の例です。この場合、TIME ADJUST SETUPはSLAVEに設定します。



外部スイッチで録画する

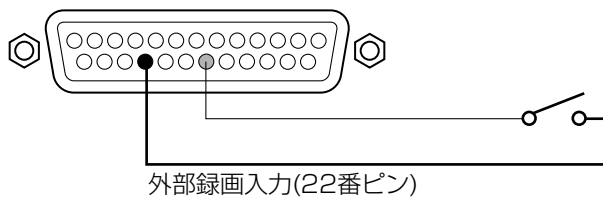
外部録画入力(22番ピン)にスイッチを接続すれば、スイッチをONにしている間、録画モードを切り換えて録画することができます。なお、外部スイッチで録画を開始することはできません。

関連設定項目

以下の設定画面の設定内容を確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
EXT REC SETUP	REC MODE	外部スイッチをONにしている間の画質を設定する。

接続例



その他の端子

その他のピンの動きは以下のとおりです。

ピン番号	信号名	動き
8	ディスクエンド出力	HDDの残量が設定値に達したとき2秒間クローズになり、HDDの空きがなくなったとき、クローズになり続けます。
9	機器異常検知出力	温度異常など本機に異常が発生したとき、クローズになります。
12	録画中出力	録画中オープンになります。
21	再生中出力	再生中オープンになります。
24	シーケンス入力	シーケンスの切り換えタイミングを入力したいときクローズにします。クローズにするとシーケンスを1ステップ実行し停止します(シーケンスの開始はできません)。
25	シーケンス出力	多画面モニターでシーケンスを実行中、画像が切り換えられるたびにパルスが出力されます。

関連設定項目

シーケンス入力(24番ピン)を使用するときは、以下の設定を確認してください。

画面名	設定項目	設定内容
SEQUENCE SETUP	SEQUENCE TIMING	EXTに設定してください。

接続のしかた

ラックに取り付ける

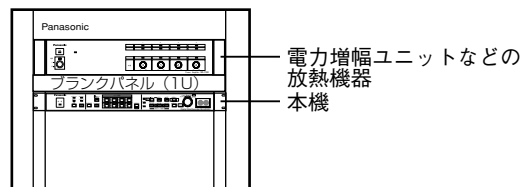
ラックについて

本機を取り付けるラックは次のいずれかをご使用ください。

スタンダードラック : WU-RS71 (収納ユニット数 29U)

ロングラック : WU-RL76 (収納ユニット数 41U)

EIA規格相当品 : EIA 19型 奥行450 mm以上



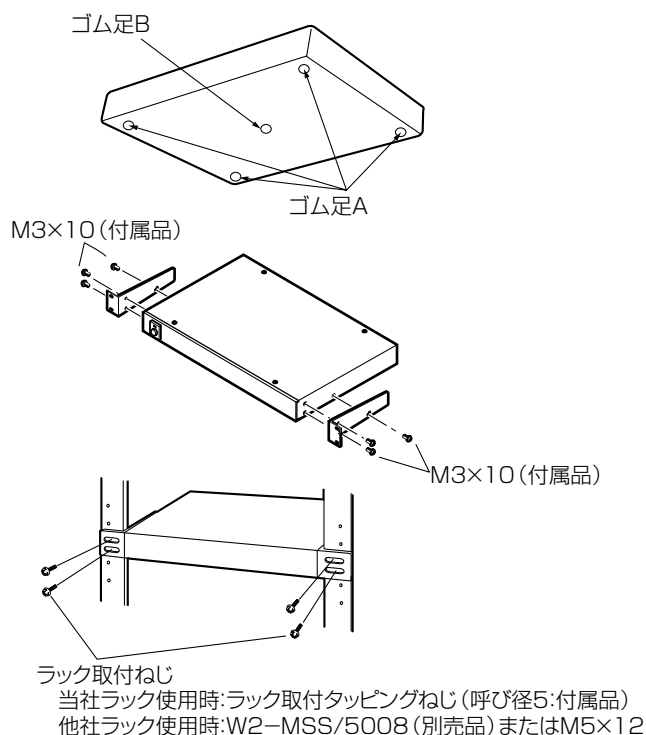
- ・本機はできるだけ電力増幅ユニットなど発熱する機器よりも下に設置し、本機1台分以上の間隔を空けてください。
- ・ラック内の温度は45℃以上にならないようにしてください。
- ・振動の多い場所には設置しないでください。
- ・付属のラック取付タッピングねじ（呼び径5：付属品）は、ラックの取付部にねじが切れていない場合に使用してください。ねじが切れているところに使用すると、ねじ山が壊れることがあります。
- ・組み込むラックの前面に扉を付けるなどして、ふさがないようにください。
- ・ラック設置時は、ラック内の温度が30℃以内におさまるようファンなどの取り付けをおすすめします。

取り付けかた



- ・当社製品のラックをご使用になるときは本機付属のラック取付タッピングねじ（呼び径5）を使います。
- ・他社製品のラックをご使用の際は別売のラック取付ねじ（W2-MSS/5008またはM5×12）4本が別途必要です。

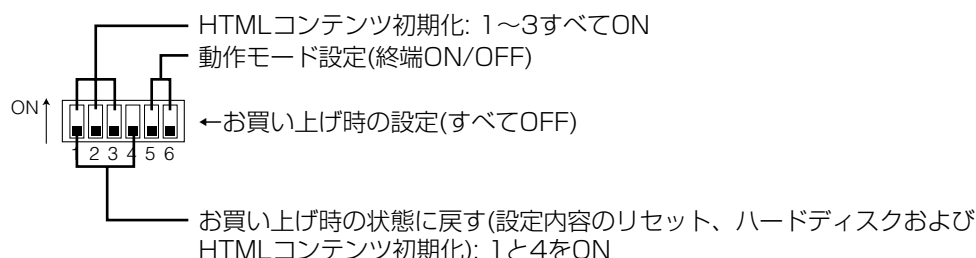
1. 本機底面ゴム足(5個)を外す。
ゴム足Aは、固定しているねじをマイナスドライバーでゆるめると外れます。
ゴム足Bは両面テープではり付けられています。
2. 本機にラックマウント金具（付属）をラック取付ねじ（M3×10：付属品）で取り付ける。
3. ラック取付タッピングねじ（呼び径5：付属品）でラックに取り付ける。



モードスイッチについて

モードスイッチで以下の設定を行います。

- ・動作モードの設定
- ・HTMLコンテンツの初期化
- ・お買い上げ時の状態に戻す



動作モードの設定(PS・Data終端ON/OFF)

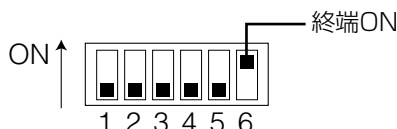
本機とシステム機器の通信をPS・Dataモードで行う場合、RS485インターフェースで行われます。RS485インターフェースで接続されている機器の両端は終端抵抗で終端する必要があります。

本機にはDATAポートと10/100BASE-Tポートがあり、使用するポートによって終端のしかたが異なります。

DATAポートを使用する場合(システム機器として使用する)

本機は、他のシステム機器と同じようにPS・Dataモード対応のシステムコントローラーで操作できます。

本機が接続の端になる場合、MODEスイッチを下図のように設定し、終端してください。接続例→113ページ



10/100BASE-Tポートを使用する場合(コントロール機器として使用する)

本機をネットワークに接続し、カメラを同軸通信ユニット経由で接続すれば、ネットワークに接続されたPCなどの機器から制御コマンドを送信し、カメラを操作することができます。このとき、本機は制御コマンドをPS・Dataコマンドに変換するコントロール機器として動作します。

本機が接続の端になる場合、MODEスイッチを下図のように設定し、終端してください。接続例→115ページ



DATAポートおよび10/100BASE-Tポートを同時に使用する場合

両方のポートを同時に使用する、またはどちらも使用しない場合は、お買い上げ時の状態のままお使いください。



重要 Dataポートに接続したシステムコントローラーとネットワークに接続されたPCからの操作が同時に行われた場合、予期しない動作を行う場合があります。このため、DATAポートと10/100BASE-Tポートを同時に使用することはお勧めしません。

モードスイッチについて

HTMLコンテンツの初期化

本機に搭載されているHTMLに不具合があった場合、初期化することによってお買い上げ時の状態に戻すことができます。

- 1 録画、再生を停止し、本機の電源を切る。
- 2 モードスイッチを右図のように変更する。
- 3 電源を入れる。



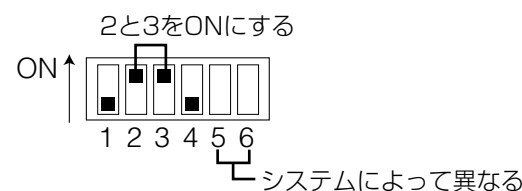
HTMLコンテンツを初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。
初期化が完了すると、モニターにメッセージが表示されます。

- 4 モードスイッチを元の状態に戻し、停止ボタンを押す。

ネットワーク設定メニューの初期化

本機のネットワーク設定（136ページの⑩～⑭）をお買い上げ時の状態に戻すときは以下の操作を行ってください。

- 1 録画、再生を停止し、本機の電源を切る。
- 2 モードスイッチを右図のように変更する。
- 3 電源を入れる。



ネットワーク設定値を初期化し、お買い上げ時の状態に戻します。
初期化が完了すると、モニターにメッセージが表示されます。

- 4 モードスイッチを元の状態に戻し、停止ボタンを押す。

お買い上げ時の状態に戻す

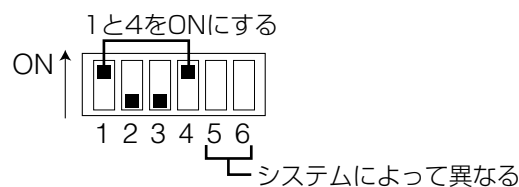
本機をお買い上げ時の状態に戻すときは以下の操作を行ってください。



この操作を行うと、設定内容のリセット、HTMLおよびハードディスクの初期化が同時に行われます。本操作を行う前に、必要な画像をVTRにコピーする、またはPCにダウンロードしてください。HTMLおよびハードディスクの初期化は個別に行うこともできます。

- ・HTMLの初期化→上記
- ・ハードディスクの初期化→104ページ

- 1 録画、再生を停止し、本機の電源を切る
- 2 モードスイッチを右図のように変更する。
- 3 電源を入れる



設定内容のリセット、HTMLおよびハードディスクの初期化が開始されます。

初期化が完了すると、モニターにメッセージが表示されます。初期化には約40分かかります。

- 4 電源を切り、モードスイッチを必ず元の状態に戻す。
元の状態に戻さずに、電源を入れると再度初期化が開始されますので注意してください。

HTML操作ガイド

本機をネットワークに接続すると、PCにインストールされているウェブブラウザで、本機を操作したり設定したりすることができます。

機能概要

ネットワークから最大4人まで同時に操作できます。

・カメラ画像の表示・録画・再生

本機単体で使用する場合と同等の操作を行うことができます。

・カメラコントロール機能

ウェブブラウザ上から、パン/チルト、プリセット操作などを行うことができます(弊社製コンビネーションカメラが接続されている場合に限る)。

・画像の保存・送信

ウェブブラウザに表示している画像をPCのハードディスクにJPEG形式で保存できます。FTPクライアントを設定すれば、指定したFTPサーバーに定期的に画像を送信できます。

・アラーム通知機能

アラームが発生したとき、指定したメールアドレスにメールを送信して通知することができます。メールを送信する際、アラーム発生時の画像を添付して送信することもできます。

・ユーザー認証機能

利用者のレベルを3段階に分けて登録できます。

管理者(アクセスレベル1): セットアップを含むすべての機能を使用できます。一人以上登録してください。

ライブ画モニタリング&蓄積画再生(アクセスレベル2): カメラ画像表示、カメラ制御、再生、検索を行うことができます。録画、セットアップは行うことはできません。

ライブ画モニタリング(アクセスレベル3): カメラ画像の表示およびカメラ制御を行うことができます。再生、録画、セットアップを行うことはできません。

・ホスト認証機能

登録されていないIPアドレスからは本機に接続できないように設定できます。



- ・リモート操作を行うと、最大録画レートが7.5FPS~30FPSの間で変動します。
- ・使用する回線速度または回線状態によっては、画像が表示または更新されるまで時間がかかる場合があります。
- ・本体の前面パネルで操作している間、ネットワークから本機を操作することはできません。また、ネットワークから本機を操作しているときに前面パネルで操作すると、ネットワークからの操作は解除されず(BUSYが表示されます)。



保存または転送した画像を画像処理ソフトウェアで表示すると横長の画像が表示されます。正常なサイズで確認したい場合は、高さが2倍になるよう画像解像度を変更してください。

使用前の準備

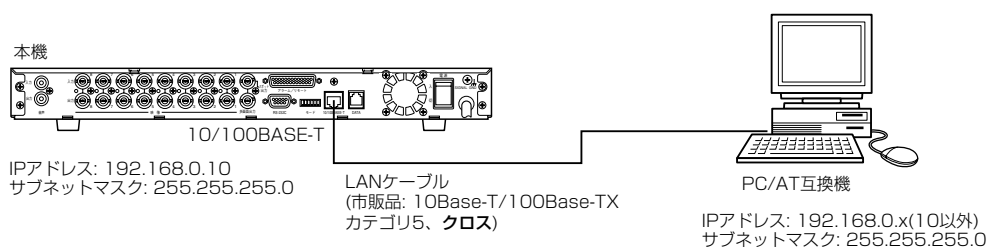
PCの環境

PCで本機を操作するためには以下の環境を持つPCが必要です。

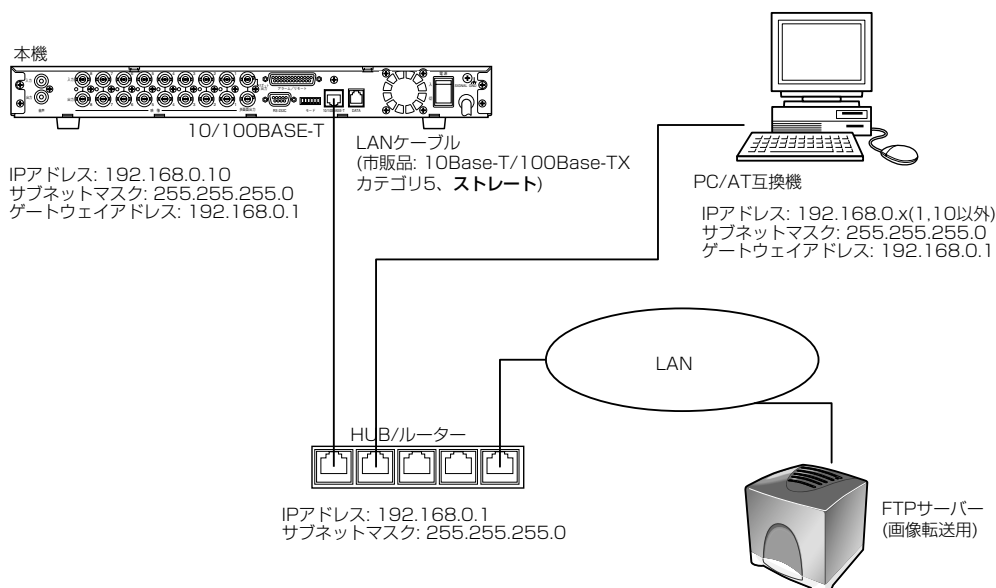
OS	Microsoft® Windows® 98 Second Edition日本語版 Microsoft® Windows® 2000日本語版 Microsoft® Windows® Millennium Edition日本語版 Microsoft® Windows® XP ProfessionalまたはHome Edition SP1日本語版
コンピューター	IBM PC/AT互換機
CPU	Celeron 700 MHz以上
メモリ	128MB以上
画面	1024×768ピクセル以上の解像度、HIGH color 16ビット以上
インターフェース	10/100MbpsのEthernetカードが内蔵されていること
対応しているネットワークプロトコル	TCP/IP、HTTP、SMTP、FTP、DHCP、SNMP、DNS/DDNS
推奨ウェブブラウザ	Microsoft® Internet Explorer 5.5SP2、6.0 SP1 上記以外のウェブブラウザをご使用の場合、動作の保証はいたしません。

接続のしかた

本機を直接PCに接続する場合



既存のネットワークに本機を組み込む場合



使用前の準備

ネットワーク環境の設定

PCのネットワーク環境が以下の場合、設定は不用です。接続完了後、ウェブブラウザから本機の設定および操作を行うことができます。

IPアドレス: 192.168.0.2~192.168.0.9、192.168.0.11~192.168.0.255

サブネットマスク: 255.255.255.0

ゲートウェイアドレス: 192.168.0.1

上記以外に設定されている場合、本機またはPCのネットワークの設定を行ってください。

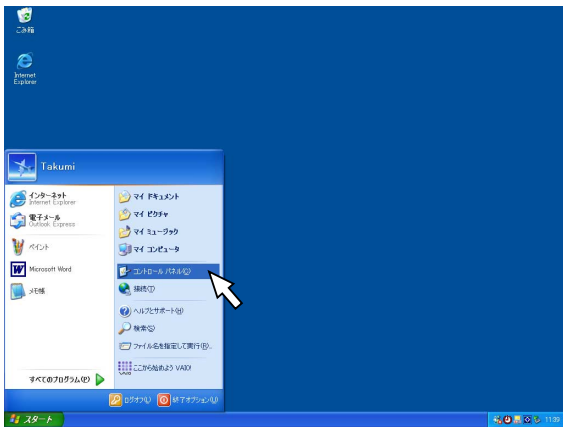
本機の設定

本機をPCの環境に合わせる場合は、NETWORK SETUP画面で設定します。→65~69ページ

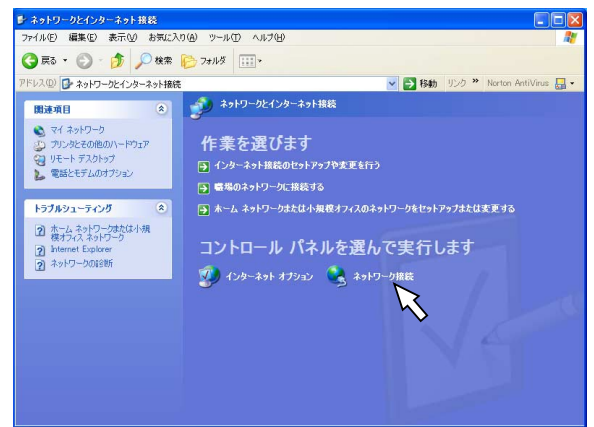
PCの設定

PCを本機の環境に合わせる場合は、以下の手順で操作してください(本機を直接PCに接続する場合で、Windows XPの標準設定を例に説明します)。その他のOSをご使用の場合の設定方法は、ご使用になるOSの説明書をお読みください。

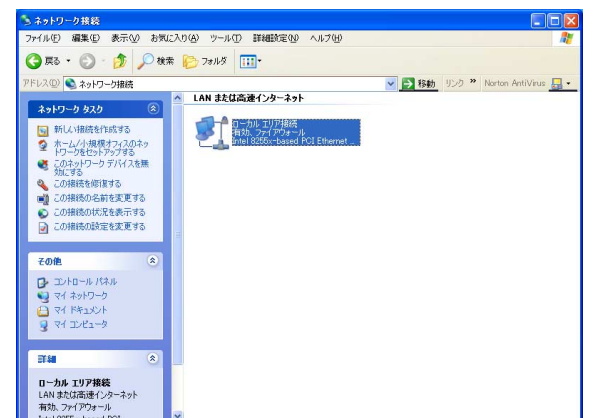
1. PCを起動する。
「コンピュータの管理者」権限のあるユーザーでログインします。
2. スタート画面からコントロールパネルを選択する。
3. ネットワークとインターネット接続をクリックする。
ネットワークとインターネット接続画面が表示されます。



コントロールパネルが表示されます。



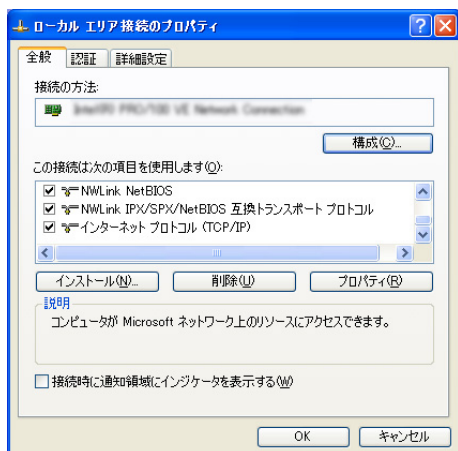
4. ネットワーク接続をクリックする。
ネットワーク接続画面が表示されます。



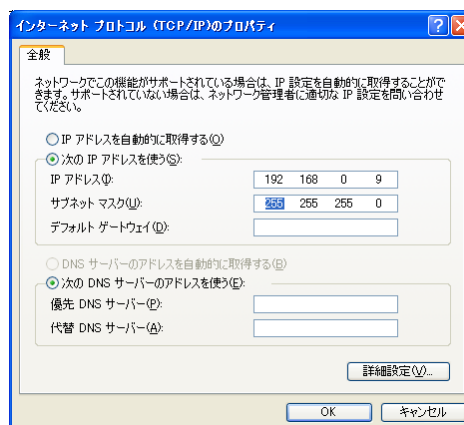
5. ローカルエリア接続をダブルクリックする。
ローカルエリア接続の状態画面が表示されます。



6. [プロパティ]をクリックする。
ローカルエリア接続のプロパティ画面が表示されます。



7. インターネットプロトコル(TCP/IP)をクリックし、[プロパティ]をクリックします。
インターネットプロトコル (TCP/IP) のプロパティ画面が表示されます。



8. [次のIPアドレスを使う] をクリックし、[IPアドレス] と [サブネットマスク] を以下のように設定します。
・ IPアドレス : 192.168.0.9
・ サブネットマスク : 255.255.255.0
9. [OK]ボタンをクリックして、画面を閉じる。
10. ローカルエリア接続のプロパティ画面を表示し、接続を有効にする。
11. 「操作のしかた」(→129ページ)を参照し、操作画面を表示する。
12. 基本設定画面から[設定メニュー]ボタンをクリックし、設定メニュー(ネットワーク設定メニュー)を表示する。

必要に応じて以下の項目を設定してください。

- ・ ユーザー設定→157ページ
- ・ ホスト設定→158ページ
- ・ FTPクライアント設定→159ページ
- ・ メール設定→160ページ
- ・ ブラウザ表示設定→161ページ

上記5項目は、ウェブブラウザ上からのみ設定できます。



- ・ 本機でセットアップ中(セットアップ画面表示中)、HTMLの設定メニューで設定の変更はできません。
・ 入力項目には、HTMLタグとして有効な文字列を入力しないでください。以降の正常な設定ができなくなる場合があります。万一、そのような場合には、設定内容の初期化を行ってください。→96ページ



HTMLページを更新するたびに出す音が気になるときは、コントロールパネルから「サウンドとオーディオデバイス」を開き、以下のいずれかの設定を行ってください。

- ・ サウンドタブをクリックしプログラムイベントからエクスプローラーの「ナビゲーションの開始」のサウンドを「(なし)」にする。
- ・ 音量タブをクリックし、音量を最小(またはミュート)にする。

使用前の準備

本機のネットワークセキュリティ

本機に装備されているセキュリティ機能

①ホスト認証・ユーザー認証によるアクセスの制限

ホスト認証・ユーザー認証の設定をONにすることで、本機にアクセスできるユーザーを制限することができます。



“admin” のパスワードは必ず変更してください。→157ページ

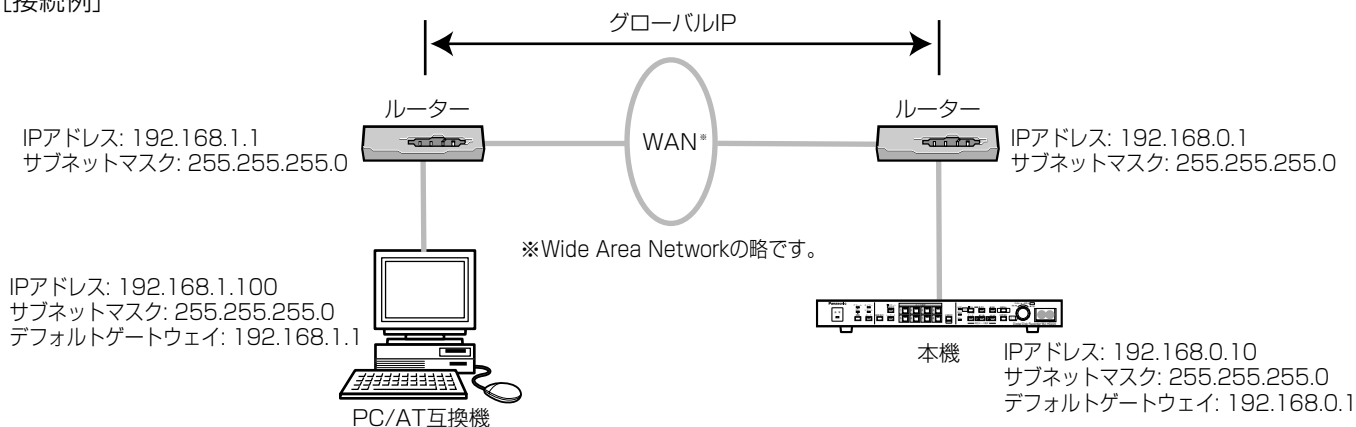
②HTTPポートの変更によるアクセスの制限

HTTPのポート番号を変更することで、ポートスキャン等不正アクセスを防止することができます。
→150ページ

セキュリティ強化のために

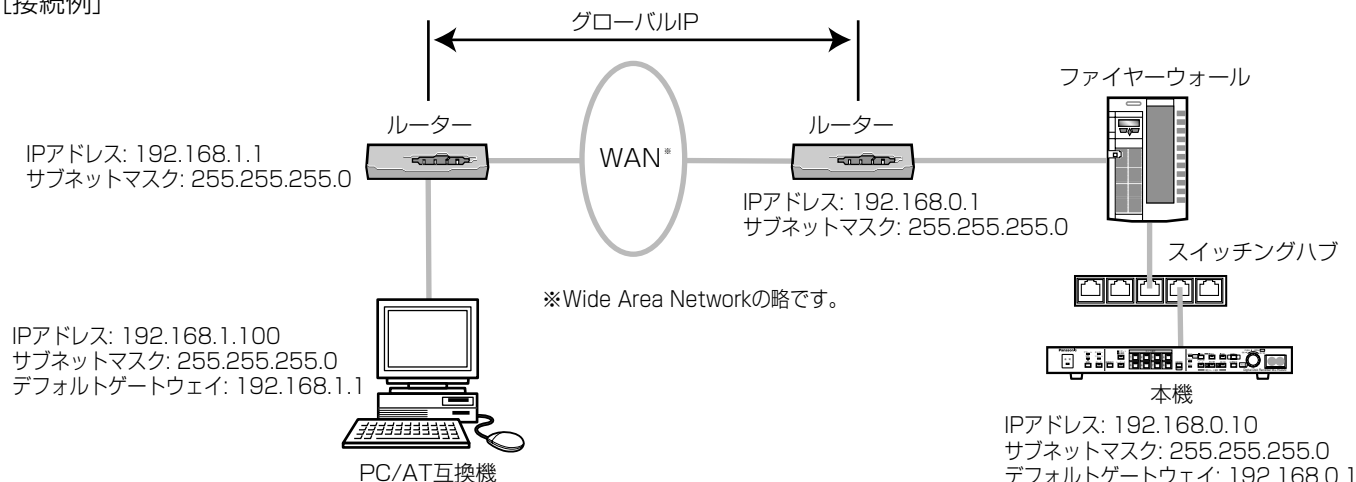
ルーターを使用してサブネットに分け、本機とルーターでIPアドレスによる認証を2重に行うことでネットワークセキュリティを強化します。

[接続例]



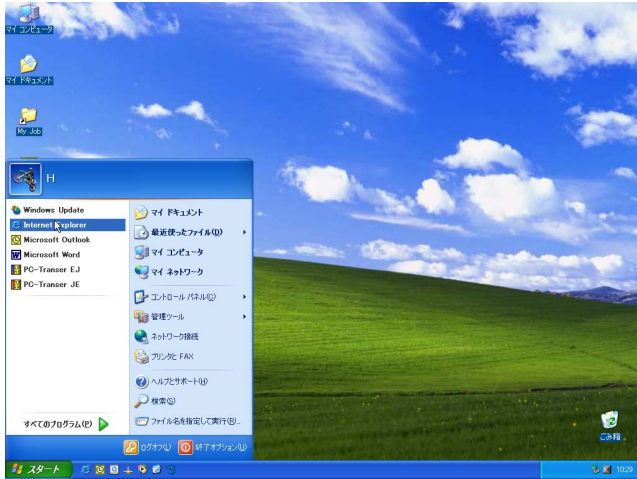
さらにファイアーウォール等を使用し、パケットフィルタリングやプロトコルフィルタリングを行うことで、ネットワークセキュリティを強化します。

[接続例]



操作のしかた

操作画面の表示方法



1. パソコンを立ち上げウェブブラウザを起動する。

ウェブブラウザ起動



2. アドレス欄に本機のIPアドレス(192.168.0.10)を入力(DDNS使用時はURLを入力)し、Enterキーを押す。

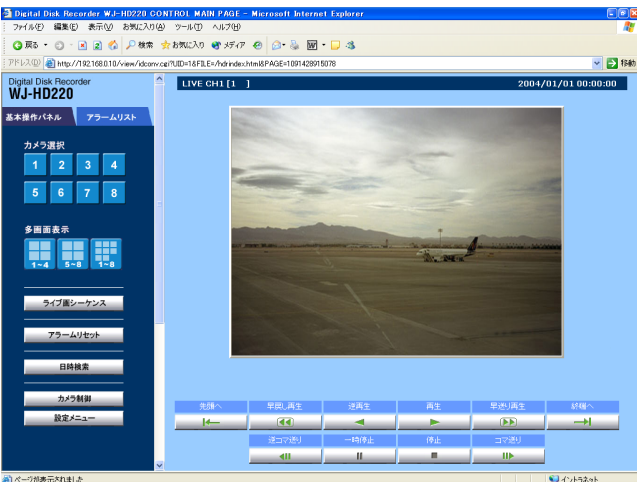
- ・トップページが表示されます。
- ・本機前面パネルのリモートランプが点灯します。

注: 「このユーザーIDはすでに無効です。ブラウザを再起動してください。」と表示されるときは、ネットワーク管理者に確認したIPアドレス(DDNS使用時はURL)以外の文字をすべて削除してください。



お気に入り追加することで簡単にトップページを表示することができます。

トップページ



3. ボタンをクリックして本機を操作します。



Windows XPをお使いの場合、ボタンの線の太さが異なることがあります。

操作のしかた

操作画面について

操作画面は、以下のように構成されています。ボタンをマウスでクリックして操作します。

1画面表示(起動時)

メニューエリア

基本操作パネル、アラーム履歴、設定メニューを表示します。

制御エリア

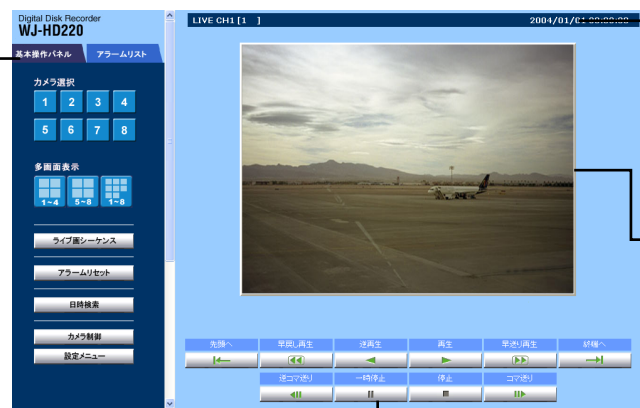
本機を操作するためのパネル(レコーダー制御パネル)またはカメラを制御するためのパネル(カメラ制御パネル)を表示します。

状態表示

画像の配信時刻、動作状態、カメラの番号を表示します。

画像表示エリア

本機から配信された画像(カメラ画像または再生画像)を表示します。
画像内をクリックすると8画面表示になります。



4画面表示



画像内をクリックするとその画像を1画面で表示します。

8画面表示



画像内をクリックするとその画像を1画面で表示します。

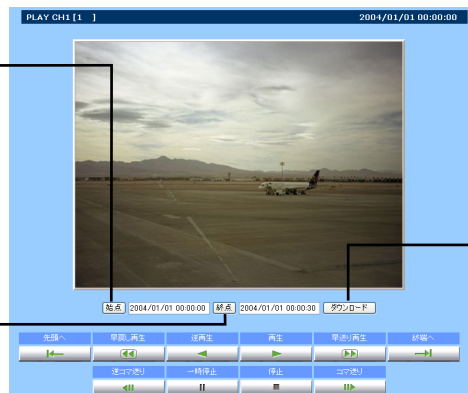
再生中(1画面表示のときだけ、開始点・終了点・ダウンロードボタンを表示します)

始点

クリックすると、現在表示している画像の日時を表示します。直接入力することもできます。

終点

ダウンロードしたい画像まで再生しクリックすると、表示されている画像の日時が表示されます。直接入力することもできます。ダウンロードできる録画データの時間は、最大30分です。→162ページ/再生は179ページ



ダウンロード

クリックすると、開始点から終了点の画像とビューワー(HTML)を実行ファイル形式でPCにダウンロードします。

基本操作パネル



①カメラ基本操作パネルタブ

基本操作パネルを表示します。

②アラームリストタブ

画面表示エリアにアラーム履歴を表示します。番号をクリックすると、該当する画像を画像表示エリアで再生できます。→132ページ

③カメラ選択(1~8)

選択したカメラの画像を表示します。カメラが接続されていない番号を選択すると、ブルー画像が表示されます。

④多画面表示(1~4/5~8/1~8)

4台または8台までのカメラの画像を同時に表示します。カメラが接続されていない番号の画像はブルー画像が表示されます。

⑤ライブ画シーケンス

カメラを自動的に切り換えて表示します。このボタンは、ブラウザ表示設定ページのライブシーケンス設定で「シーケンスの使用」を「ON」に設定したときのみ使用できます。→161ページ

⑥アラームリセット

アラーム動作を解除します。復帰ボタンと同じ動作を行います。

⑦日時検索

このボタンをクリックすると、日時検索画面(右図)が表示されます。

再生したい日時を入力し、検索ボタンをクリックすると、画像表示エリアに再生画像が表示されます。



⑧カメラ制御

制御エリアにカメラ制御パネルを表示します。

⑨設定メニュー

画面表示エリアに設定画面を表示します。

⑩お気に入り追加

接続中のIPアドレス (DDNS使用時はURL) をウェブブラウザの「お気に入り」に追加できます。

⑪録画/録画停止

[録画]ボタンをクリックすると、マニュアル録画を開始します。[録画停止]ボタンをクリックすると、マニュアル録画を停止します。

アラームリストタブ



①アラームリスト

アラームの発生日時、カメラ番号(CH)、アラーム種別(タイプ)が一覧表示されます。番号をクリックすると、該当するアラームの録画画像を再生できます。モニターの表示(1画または8画)は、優先録画の設定(OFF/ALM-MULTI)によって異なります。→139ページ

アラーム種別について

TERM: アラーム/リモート端子にアラームが入力されました。数字はアラーム入力の番号です。

VMD: 動き検出機能が動きを検出しました。数字は、カメラが接続されている映像入力端子の番号です。

PC: PC(シリアル接続機器)、カメラのサイトアラームまたはPS-Data機器からアラームを受信しました。

②CHソート

カメラ番号を選択するとリスト内のアラームをカメラ番号で絞り込むことができます。ALLを選択するとソートを解除します。

③前へ/次へ

改ページします。

④アラームリスト検索

このボタンをクリックすると、アラームリスト検索画面(右図)が表示されます。

日時を入力し、検索ボタンをクリックすると、一番近い日時のページが表示されます。カメラ番号を指定すると、指定したカメラ番号の履歴のみ表示されます。



基本操作パネルタブをクリックすると、基本操作パネルに戻ります。

レコーダー操作ボタン



①先頭へ

ハードディスクに録画されている画像から一番古い画像を表示し、一時停止します。再生中にのみ操作できます。

②早戻し再生

逆再生を高速で行います。クリックするたびに再生速度を切り換えることができます。再生速度は状態表示欄で確認できます。再生中にのみ操作できます。→135ページ

③逆再生

逆再生を行います。

④再生

再生を開始します。

⑤早送り再生

再生を高速で行います。クリックするたびに再生速度を切り換えることができます。再生速度は状態表示欄で確認できます。再生中にのみ操作できます。→135ページ

⑥終端へ

再生画像の最終画像(最新)を表示し、一時停止します。再生中にのみ操作できます。

⑦逆コマ送り

1コマ前の画像を表示し、一時停止状態にします。一時停止中にのみ操作できます。

⑧一時停止

再生を一時停止します。

⑨停止

再生を停止します。

⑩コマ送り

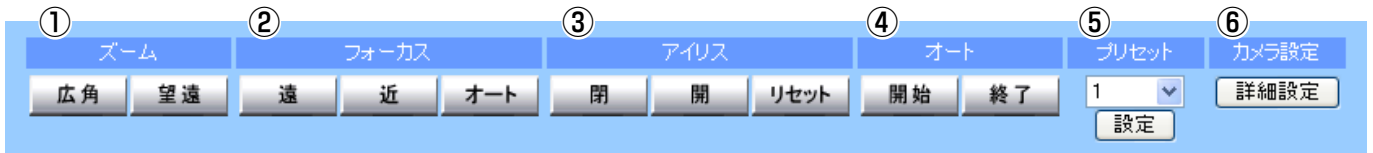
1コマ先の画像を表示し、一時停止状態にします。一時停止中にのみ操作できます。

画面詳細

カメラ制御パネル

カメラ制御パネルは、基本制御パネルのカメラ制御ボタンをクリックして表示します。

これらのボタンは、コンビネーションカメラ（1～4CHのみ）、同軸通信ユニットを経由してカメラが接続されている場合にのみ操作できます。また、接続されているカメラによっては操作できない機能があります。カメラの機能についてはご使用になるカメラの取扱説明書をお読みください。



①ズーム 広角/望遠

ズームレンズを操作します。倍率はズームレンズによって異なります。

②フォーカス 遠/近/オート

ピントを調節します。[オート]ボタンをクリックすると、オートフォーカスでピントを合わせます。

③アイリス 閉/開/リセット

絞りを調節します。[リセット] ボタンをクリックするとカメラの設定されている絞り値に戻します。

④オート 開始/終了

カメラのオート機能(例えば、オートパン機能)を開始/終了します。オート機能の動作はカメラによって異なります。詳しくは、カメラの取扱説明書をお読みください。

⑤プリセット 1～64/HOME, 設定

コンビネーションカメラが接続されている場合にのみ操作できます。あらかじめ、カメラにプリセットポジションおよびホームポジションを設定しておく必要があります。設定のしかたはカメラの取扱説明書をお読みください。

1～64: プリセット番号。番号を選択後、設定ボタンをクリックすると設定されている位置に旋回します。

HOME: HOMEを選択後、設定ボタンをクリックすると設定されている位置に旋回します。

⑥カメラ設定

このボタンをクリックすると、カメラのメニューを開くことができ、カメラ設定画面(右図)が表示されます。

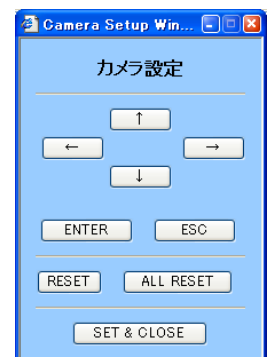
↑↓: カーソル移動

←→: カーソル移動、設定値の変更

ENTER: 設定値の確定、下層のメニューへ移動

ESC: 上層のメニューへ移動

SET & CLOSE: カメラ設定終了



重要

RESET: メニュー画面上のSPECIALにカーソルを合わせ、クリックすると特別メニューに入ることができます。

ALL RESET: 特別メニュー内のCAMERA RESETにカーソルを合わせ、クリックすると、カメラの設定内容がすべて解除されます。

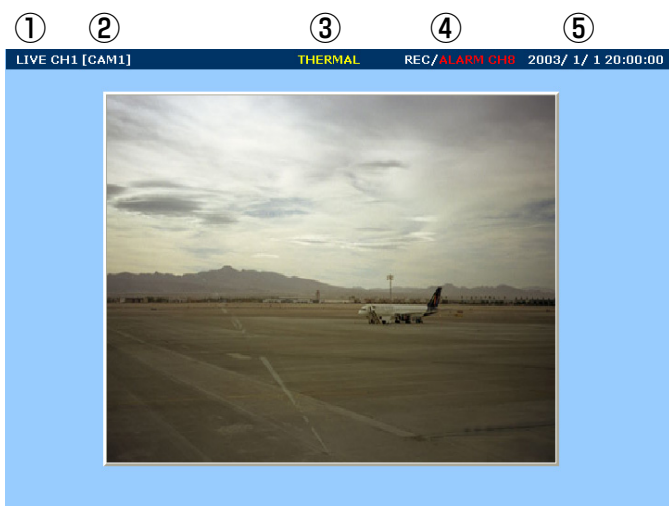
カメラによって操作方法やメニュー項目は異なります。カメラの取扱説明書をお読みください。



コンビネーションカメラの画像を1画面で表示しているときは、画像をクリックして、パン・チルトを操作できます。例えば、画像の右端をクリックすると、右方向にカメラを旋回できます。

状態表示

動作状態は、画像表示エリアの上部に表示されています。回線状況などによって、表示される状態は現在の状態と異なる場合があります。



①リモート操作状態/映像入力

表示しているカメラが接続されている映像入力の番号と動作状態が表示されます。動作状態には以下の情報が表示されます。

LIVE: 選択したカメラの画像を表示しています。

PLAY: 再生中です。録画レートが変動した画像を再生すると、*PLAYと表示されます。

REV PLAY: 逆再生中です。

CHn[カメラタイトル]: 再生しているカメラの番号とタイトルを表示しています。「n」は映像入力番号を表しています。

<<X5, <<X10, <<X15, <<X30, <<X50, <<X100, <<X200, >>X5, >>X10, >>X15, >>X30, >>X50, >>X100, >>X200: 高速再生または高速逆再生中です。

PAUSE: 一時停止中

PLAY CHn [タイトル] AL: アラーム画像を再生しています。「n」は映像入力番号を表しています。

LIVE SEQ: ライブ画シーケンス中

Simultaneous Rec/Playback Mode OFF: 同時録再機能がOFFに設定されているため、録画中は再生できません。画像表示エリアにはBUSYが表示されます。

Local Playback in progress: 再生優先順位が本機側操作に設定されているため、本機側で再生中は、HTMLで再生できません。再生画像には、BUSYが表示されます。

Local Alarm Activated: 本機がアラーム画像を1画面で表示しているため、HTMLで再生できません。再生画像には、BUSYが表示されます。

FTP Download in progress: 別売りのFTPソフト(WV-AS20)で録画画像をダウンロード中です。ダウンロード中は、HTMLで再生できません。再生画像には、BUSYが表示されます。

Other Client Playback or HTTP Download: 他のPCで再生中または画像をダウンロードしています。他のPCで再生中または画像をダウンロード中は、HTMLで再生できません。再生画像には、BUSYが表示されます。

HTTP Download in progress: HTMLページから再生画像をダウンロード中です。

HTTP Download Error!!: HTMLページから再生画像ダウンロード中にエラーが発生しました。再度カメラを選択するか、または再生操作を行ってください。

②カメラタイトル

画像表示エリアに表示しているカメラタイトルを表示します。カメラタイトルに矢印(↑↓←→)が含まれている場合、ブラウザー上にはそれぞれ、u, d, l, rと置き換えて表示されます。

③異常表示

本機に、以下の異常が発生している場合、メッセージが表示されます。

THERMAL: 本機の内部温度異常

HDD REMOVED: ハードディスクに障害によるハードディスク自動切り離し

HDD FULL: ハードディスク残量なし

HDD NR FULL: ハードディスク残容量警告

④録画状態/アラーム発生状態

REC: 本機が録画しているとき表示されます。

ALARM CHn: アラームが発生すると表示されます。「n」はアラーム発生チャンネル番号を表しています。

⑤日時

カメラ画像を表示しているときは、現在日時が表示されます。再生中は、録画日時が表示されます。

設定メニュー

設定メニューは、基本操作パネルから設定画面ボタンをクリックして表示します。本機のセットアップメニューと同じ項目をHTML上で設定できます。ネットワーク設定メニューは、ネットワークを利用した固有の機能を設定できます。メニュー上のボタンをクリックすると、メニューの右フレームに設定ページが表示されます。



基本設定パネルに戻ります。

・メイン設定メニュー

①内部タイマー設定

録画の開始方法を選択します。タイマー録画を選択した場合、プログラムを作成し、割り当てます。→137ページ

②録画設定

録画ボタンで録画するときの画質を設定します。→141ページ

③外部録画設定

本機に外部スイッチを接続して、外部スイッチで録画中の画質を変更するとき、変更する画質を設定します。→142ページ

④表示設定

本機の時刻、多画面モニターに表示する情報などを設定します。→143ページ

⑤システム設定

本機の基本的な動作を設定します。→144ページ

⑥アラーム設定

アラーム発生時の動作および動き自動検知機能で検出エリアを設定します。

⑦データ通信設定

データポート、ネットワークポートに関する設定を行います。→148ページ

⑧スイッチャー設定

スポットシーケンスまたは多画面シーケンスに関する設定や多画面ボタンを押したときの動作を設定します。→152ページ

⑨システム情報

ハードディスクの使用時間、バージョンなどを確認できます。→154ページ

・ネットワーク設定メニュー

⑩ユーザー設定

ネットワークから本機にアクセスするためのユーザー情報を登録します。→157ページ

⑪ホスト設定

本機にアクセスするPCを設定します。→158ページ

⑫FTPクライアント設定

本機に録画されている画像をFTPサーバーに転送するとき設定します。→159ページ

⑬メール設定

メール環境を設定すると、アラーム発生時設定したメールアドレスにメールを送信することができます。アラーム発生時画像を添付して転送することもできます。→160ページ

⑭ブラウザ表示設定

画像の配信方法、画像の切換順序(ウェブブラウザで画像を確認する際の、カメラの切換順序)を設定します。→161ページ



重要

設定変更後は、各設定ページにある設定ボタンをクリックして、本機に設定内容を登録してください。

内部タイマー設定ページ

本機の電源を入れたときの録画モードを設定します。

内部タイマー設定

タイマー録画

① タイマーモード

曜日	プログラム
日曜	
月曜	
火曜	
水曜	
木曜	
金曜	
土曜	
毎日	

内部タイマー設定(マニュアル録画で録画する)

①タイマーモード

マニュアル録画で録画する場合、タイマーモードをOFFにします。

内部タイマー設定

タイマー録画

① タイマーモード

曜日	プログラム
日曜	
月曜	
火曜	
水曜	
木曜	
金曜	
土曜	
毎日	

内部タイマー設定(連続録画で録画する)

①タイマーモード

連続録画で録画する場合、タイマーモードをEXTにします。

設定メニュー

内部タイマー設定ページ(INT選択時)

内部タイマー設定

タイマー録画

タイマーモード	INT
曜日	プログラム
日曜	OFF
月曜	OFF
火曜	OFF
水曜	OFF
木曜	OFF
金曜	OFF
土曜	OFF
毎日	OFF

プログラム設定

PROG No.	OFF/ON	開始	終了	モード
1	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
2	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
3	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
4	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定
	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON	00:00	00:00	詳細設定

設定

開始時刻および終了時刻は 00:00 または 0000 の形式で入力してください。

・タイマー録画

①タイマーモード

タイマー録画で録画する場合、タイマーモードをINTにします。

②曜日(日曜～土曜、毎日)

③プログラム

実行するプログラムを選択します。OFFを選択すると、「毎日」に設定したプログラムで動作します。「毎日」および曜日を「OFF」にすると、その曜日ではタイマー録画は行われません。

・プログラム設定



⑥または⑦を変更したら、忘れずに⑧[設定]ボタンをクリックし、変更内容を本機に登録してください。

④PROG(プログラム番号)

⑤No.(イベント番号)

⑥ON/OFF

OFF: イベントを無効にします。

ON: イベントを有効にします。開始・終了時間の間、詳細設定で設定した録画モードで録画します。

⑦開始/終了

イベントの開始時間および終了時間を24時間制で入力します。同一プログラム内で重複する時間は設定できません。

⑧設定

プログラム設定の変更内容を本機に登録します。

⑨モード

クリックすると、PROGn NO.m 設定ページ(nはプログラム番号、mはイベント番号)を表示し、録画モードが表示されます。PROGn NO.m 設定ページで、イベント実行時の録画モードを設定できます。→次ページ

プログラム設定ページ

PROG1 NO.1 設定

① 録画モード	SF	96H
② SPモード録画レート		
③ SPモード録画画質		
④ アラーム録画モード	SF	96H
⑤ SPモード録画レート		
⑥ SPモード録画画質		
⑦ プレアラーム録画時間	0 SEC	
⑧ ポストアラーム録画時間	10 SEC	
⑨ 優先録画	<input checked="" type="radio"/> OFF	<input type="radio"/> ALARM-MULTI

⑩ 設定

⑪ トリガー動作設定

⑫ 録画カメラ設定

⑬ 戻る

①録画モード

タイマー録画時の録画モードを選択します。左側で画質を、右側で録画時間モードを選択します。録画レートと録画画質を自分で設定するには、「SP(録音しない)」または「SP-A(録音する)」を選択します。

②SPモード録画レート

タイマー録画時の録画レートを選択します。

③SPモード録画画質

タイマー録画時の画質(JPEG画像の画質)を選択します。

④アラーム録画モード

アラーム録画時の録画モードを選択します。左側で画質を、右側で録画時間モードを選択します。アラーム録画モードの録画レートと録画画質を自分で設定するには、「SP(録音しない)」または「SP-A(録音する)」を選択します。

⑤アラーム録画時のSPモード録画レート

録画レートを選択します。

⑥アラーム録画時のSPモード録画画質

タイマー録画時の画質(JPEG画像の画質)を選択します。

⑦プレアラーム録画時間

アラーム発生時、直前の画像を5秒までさかのぼって録画することができます。プレアラーム録画を行わないときは、「0SEC」を選択します。

⑧ポストアラーム録画時間

アラームモードの継続時間(録画時間と自動復帰する時間)を選択します。

⑨優先録画

アラーム発生時、録画するカメラを選択します。「ALARM-MULTI」にすると、アラーム番号に対応したカメラの画像のみを録画します。「OFF」にすると、全カメラの画像を録画します。

⑩設定

変更内容を本機に登録します。

⑪トリガー動作設定

トリガー設定ページを表示します。→次ページ

⑫録画カメラ設定

録画カメラ設定ページを表示します。→次ページ

⑬戻る

前のページに戻ります。

設定メニュー

トリガー動作設定ページ

カメラごとにアラーム発生時の録画動作を設定します。イベントごとに設定できます。録画設定ページからこのページを表示したときは、PROGn No.m(nはプログラム番号、mはイベント番号)は表示されません。

トリガー動作設定

PROG1 NO.1

カメラ番号	① モード
1	REC&ALARM ▼
2	REC&ALARM ▼
3	REC&ALARM ▼
4	REC&ALARM ▼
5	REC&ALARM ▼
6	REC&ALARM ▼
7	REC&ALARM ▼
8	REC&ALARM ▼

② 設定

③ 戻る

①モード

以下から選択します。

OFF: アラーム動作は行いません。

REC&ALARM: アラーム録画とアラーム動作を行います。

REC: アラーム録画、プリセット移動のみ行います。その他のアラーム動作は行いません。

②設定

変更内容を本機に登録します。

③戻る

前のページに戻ります。



コンビネーションカメラを接続したときのアラーム発生時プリセット移動は、プログラムごとに設定することはできません。

プリセット移動は録画設定ページ - トリガー動作設定のプリセット設定にしたがって動作します。(→142ページ)

録画カメラ設定ページ

カメラごとに、録画するかまたは録画しないを設定できます。録画設定ページからこのページを表示したときは、PROGn No.m(nはプログラム番号、mはイベント番号)は表示されません。

録画カメラ設定

PROG1 NO.1

カメラ番号	① モード
1	<input type="radio"/> ALARM-ONLY <input checked="" type="radio"/> REC
2	<input type="radio"/> ALARM-ONLY <input checked="" type="radio"/> REC
3	<input type="radio"/> ALARM-ONLY <input checked="" type="radio"/> REC
4	<input type="radio"/> ALARM-ONLY <input checked="" type="radio"/> REC
5	<input type="radio"/> ALARM-ONLY <input checked="" type="radio"/> REC
6	<input type="radio"/> ALARM-ONLY <input checked="" type="radio"/> REC
7	<input type="radio"/> ALARM-ONLY <input checked="" type="radio"/> REC
8	<input type="radio"/> ALARM-ONLY <input checked="" type="radio"/> REC

② 設定

③ 戻る

①モード

以下から選択します。

ALARM-ONLY: アラーム録画のみ行います。

REC: すべての録画動作で録画します。

②設定

変更内容を本機に登録します。

③戻る

前のページに戻ります。

録画設定ページ

マニュアル録画/連続録画の録画モードとアラーム録画の録画モードを設定します。このページで設定したアラーム録画時の録画モードは、タイマー録画が停止しているとき(録画していないとき)に適用されます。

録画設定

① 録画モード	SF	96H
② SPモード録画レート		
③ SPモード録画画質		
④ アラーム録画モード	SF	96H
⑤ SPモード録画レート		
⑥ SPモード録画画質		
⑦ プレアラーム録画時間	0 SEC	
⑧ ポストアラーム録画時間	10 SEC	
⑨ 優先録画	<input checked="" type="radio"/> OFF	<input type="radio"/> ALARM-MULTI

⑩ 設定

⑪ トリガー動作設定

⑫ 録画カメラ設定

① マニュアル録画/連続録画時の録画モード

マニュアル録画/連続録画時の録画モードを選択します。左側で画質を、右側で録画時間モードを選択します。録画レートと録画画質を自分で設定するには、「SP(録音しない)」または「SP-A(録音する)」を選択します。

② SPモード録画レート

マニュアル録画/連続録画時の録画レートを選択します。

③ SPモード録画画質

マニュアル録画/連続録画時の画質(JPEG画像の画質)を選択します。

④ アラーム録画モード

マニュアル録画/連続録画時の録画モード、タイマー録画の録画時間範囲外、連続録画を停止している間に発生したアラーム録画の画質を選択します。

左側で画質を、右側で録画時間モードを選択します。アラーム録画モードの録画レートと録画画質を自分で設定するには、「SP(録音しない)」または「SP-A(録音する)」を選択します。

⑤ SPモード録画レート

アラーム録画レートを選択します。

⑥ アラーム録画時のSPモード録画画質

アラーム録画時の画質(JPEG画像の画質)を選択します。

⑦ プレアラーム録画時間

アラーム発生時、直前の画像を5秒までさかのぼって録画することができます。プレアラーム録画を行わないときは、「0SEC」を選択します。

⑧ ポストアラーム録画時間

アラームモードの継続時間(録画時間と自動復帰する時間)を選択します。

⑨ 優先録画

アラーム発生時、録画するカメラを選択します。「ALARM-MULTI」にすると、アラーム番号に対応したカメラの画像のみを録画します。「OFF」にすると、全カメラの画像を録画します。

⑩ 設定

変更内容を本機に登録します。

⑪ トリガー動作設定

トリガー設定ページを表示します。→140ページ

⑫ 録画カメラ設定

録画カメラ設定ページを表示します。→140ページ

設定メニュー

トリガー動作設定ページ

カメラごとにアラーム発生時の録画動作を設定します。

カメラ番号	モード	プリセット
1	REC&ALARM	--
2	REC&ALARM	--
3	REC&ALARM	--
4	REC&ALARM	--
5	REC&ALARM	--
6	REC&ALARM	--
7	REC&ALARM	--
8	REC&ALARM	--

③ 設定

④ 戻る

①モード

以下から選択します。

OFF: アラーム動作は行いません。

REC&ALARM: アラーム録画とアラーム動作を行います。

REC: アラーム録画、プリセット移動のみ行います。その他のアラーム動作は行いません。

②プリセット

以下から選択できます。

1~64: プリセットポジションに移動します。

HOME: ホームポジションに移動します。

--: プリセット移動は行いません。

③設定

変更内容を本機に登録します。

④戻る

前のページに戻ります。トリガー設定ページを表示します。



重要

- ・コンビネーションカメラが接続されていない場合は設定が無効です。
- ・CAM5~8はプリセットの設定ができません。

外部録画設定ページ

外部録画で変更する画質を設定します。アラーム録画の画質は、通常録画設定ページで設定した画質になります。

① 外部録画モード	SF	96H
② SPモード録画レート		
③ SPモード画質		

④ 設定

①外部録画時の録画モード

外部録画時の録画モードを選択します。左側で画質を、右側で録画時間モードを選択します。録画レートと録画画質を自分で設定するには、「SP(録音しない)」または「SP-A(録音する)」を選択します。

②SPモード録画レート

外部録画時の録画レートを選擇します。

③SPモード録画画質

外部録画時の画質(JPEG画像の画質)を選択します。

④設定

変更内容を本機に登録します。

表示設定ページ

モニターに表示する情報と各種ランプの点灯の有無を設定します。

①時刻設定

日時を入力します。入力した日時は、設定ボタンをクリックしたとき、本機に設定されます。

②設定

設定した時刻を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

③時刻表示形式（12時間／24時間）

時刻表示形式を選択します。

④時刻表示位置

表示位置を選択します。8画面のときは、右下の画面に固定表示されます。

⑤時刻埋め込み

時計表示も合わせて録画する(ON)/しない(OFF)を選択します。



時計表示も合わせて録画する設定にし、時刻表示形式で「表示しない」を選択している場合、時計表示形式はTYPE1 24Hで埋め込まれます。

⑥状態表示

多画面モニターに本機の状態表示する(ON)/しない(OFF)を選択します。

⑦状態表示位置

状態の表示位置を選択します。8画面のときは、右下の画面に固定表示されます。

⑧ハードディスク残量警告

入力した値以下になると警告します。

⑨リモートLED

ネットワークに接続されたPCから本機を操作している間、リモートランプを点灯する(ON)かしない(OFF)かを選択します。

⑩ハードディスク障害チェック

定期的にハードディスクの自己管理報告機能(S.M.A.R.T.)を使用しハードディスクの状態を確認する場合、確認時刻を選択します。

⑪設定

「時刻設定」以外の項目の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

⑫カメラタイトル設定

カメラタイトル設定ページを表示します。→144ページ

設定メニュー

カメラタイトル設定ページ

カメラごとに名前を付けて識別しやすくします。

カメラタイトル設定

カメラ番号	① タイトル (5文字以内)	② 表示位置
1	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON 1	右下 (Right-Lower) ▼
2	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON 2	右下 (Right-Lower) ▼
3	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON 3	右上 (Right-Upper) ▼
4	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON 4	右上 (Right-Upper) ▼
5	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON 5	右下 (Right-Lower) ▼
6	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON 6	右下 (Right-Lower) ▼
7	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON 7	右上 (Right-Upper) ▼
8	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON 8	右上 (Right-Upper) ▼

使用可能な文字は右記の通り A~Z(大文字) 0~9 空白 ! % & () * - . / : ?
矢印は以下のように英小文字を入力すれば表示できます。
←:l →:r ↑:u ↓:d

③ 設定

④ 戻る

① タイトル

タイトルを半角文字で入力します。入力したタイトルをモニターに表示させるときは「ON」をクリックします。「OFF」にすると、タイトルを入力してもモニターには表示されません。

② 表示位置

表示位置を選択します。

③ 設定

変更内容を本機に登録します。

④ 戻る

前のページに戻ります。

システム設定ページ

本機の基本的な動作に関する設定を変更できます。

システム設定

①	自動キーロック	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON
②	ALL用パスワード	●●●● (再入力) ●●●● (数字1~8が使用可能。長さは5文字。)
③	OPERATION用パスワード	●●●● (再入力) ●●●● (数字1~8が使用可能。長さは5文字。)
④	キーロックブザー	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
⑤	アラーム履歴スキップページ数	1 ▼ (ページ)
⑥	同時録再	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
⑦	改ざん検出	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON
⑧	ディスク終端動作	<input type="radio"/> STOP <input checked="" type="radio"/> CONTINUE
⑨	ディスク終端警告ブザー	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
⑩	優先再生	LOCAL ▼
⑪	自動時刻合わせ	<input checked="" type="radio"/> SLAVE <input type="radio"/> MASTER => 補正時刻 0:00 ▼

⑫ 設定

①自動キーロック

「ON」にするとパスワードを入力するまで、本機前面のボタン操作を無効にできます。本機前面からの操作をパスワードで保護するときは、「ON」にします。「ON」にすると、電源を入れ直したとき、またはロック解除後ボタン操作を5分以上行わなかったとき自動的に前面ボタンがロックされ、パスワードを入力するまで操作できません。

②ALL用パスワード

管理者用パスワードを1～8までの数字5けたで入力します。誤入力確認のため、再入力欄に同じパスワードを再入力します。

③OPERATION用パスワード

オペレーター用パスワードを1～8までの数字5けたで入力します。誤入力確認のため、再入力欄に同じパスワードを再入力します。

④キーロックブザー

パスワード保護中に本機前面のボタンを操作したとき、ブザーを鳴らす(ON)、鳴らさない(OFF)を選択します。

⑤アラーム履歴スキップページ数

本機モニターにアラーム履歴を表示しているとき、本機前面のジョグダイヤルを回して改ページするページ数を選択します。

⑥同時録再

録画をしながら再生したいとき「ON」にします。
→50ページ(「重要」を合わせてお読みください)

⑦改ざん検出

録画する画像に改ざんチェック用のコードを埋め込むときは「ON」にします。ただし、「ON」にすると、ネットワーク配信速度が若干遅くなります。
→50ページ(「重要」を合わせてお読みください)

⑧ディスク終端動作

本機内蔵のハードディスクに録画された画像を常の上書きして使用するときは「CONTINUE」にします。上書きしないときは「STOP」にします。→51ページ

⑨ディスク終端警告ブザー

本機内蔵のハードディスクの容量を使い切ったときに、ブザーを鳴らすときは「ON」にします。「ディスク終端動作」を「STOP」に設定した場合に有効です。

⑩優先再生

再生操作の優先順位を選択します。→52ページ

⑪自動時刻合わせ

本機で他の機器の時刻を補正する場合、「MASTER」を選択します。本機に接続されている親時計で時刻を補正するときは「SLAVE」を選択します。

補正する時刻は「補正時刻」で選択します。

⑫設定

変更内容を本機に登録します。

設定メニュー

アラーム設定ページ

アラーム発生時の動作を設定します。

アラーム設定	
① アラームブザー	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
② ビデオロス	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
③ モニターモード(多画面)	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> SPOT
④ モニターモード(スポット)	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> SPOT

⑤ 設定

⑥ 動き検出設定

①アラームブザー

アラーム発生時ブザーを鳴らすときは「ON」にします。「OFF」にするとブザーを鳴らしません。

②ビデオロス

カメラ故障またはケーブル断線などにより、カメラからの映像が途切れことを検出する(ON)または検出しない(OFF)を選択できます。ONにすると、映像が途切れたとき本機に接続されたモニターにメッセージ(VIDEO LOSS)を表示します。ただし、HTMLに配信された画像にメッセージは表示されません。

③モニターモード (多画面)

アラーム発生時の多画面モニターの画像表示方法を選択します。「SPOT」にすると、アラーム発生地点の画像を1画面で表示します。「OFF」にすると、アラームが発生しても現在表示しているカメラの画像を表示し続けます。

④モニターモード (スポット)

アラーム発生時のスポットモニターの画像表示方法を選択します。

⑤設定

変更内容を本機に登録します。

⑥動き検出設定

動き検出設定ページを表示します。

動き検出設定ページ

本機の動き検出機能を使用するときに設定します。



①感度

動きを検出する感度を選択します。感度を選択すると、[詳細設定]ボタンが表示されます。

動き検出機能を使用しないときは「OFF」を選択します。

②エリア([詳細設定]ボタン)

感度を選択すると、[詳細設定]ボタンが表示されます。[詳細設定]ボタンをクリックすると、動き検出エリア設定ページを表示します。エリアを設定してください。

③戻る

前のページに戻ります。

動き検出エリア設定ページ

動き検出エリアを設定します。



①設定領域

エリアは、エリアの始端と終端を対角線上でクリックすることで設定できます。4か所まで設定できます。エリアを設定後、[設定]ボタンをクリックしてください。

設定する際は、58ページの「重要」に記載されている内容も合わせてお読みください。

動き検出エリア設定ページで、エリアが重なるような設定はできません。エリアを重ねる必要があるときは、VMD SETUP画面で設定してください。

→57ページ

②削除

選択したエリアを削除します。削除するときは、削除したい領域をクリックして選択し、[削除]ボタンをクリックします。その後、[設定]ボタンをクリックしてください。

③設定

変更内容を本機に登録します。

④戻る

前のページに戻ります。



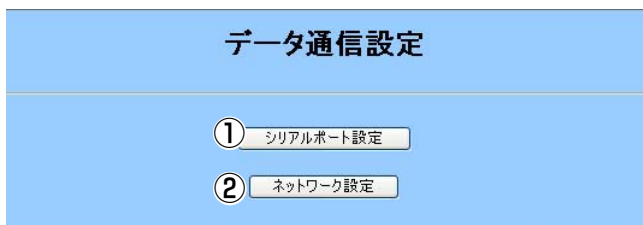
重要

設定できない場合、以下のサイトからJavaソフトウェアをダウンロードしてください。(2004年10月現在)

<http://java.com/ja/index.jsp>

設定メニュー

データ通信設定メニューページ



①シリアルポート設定

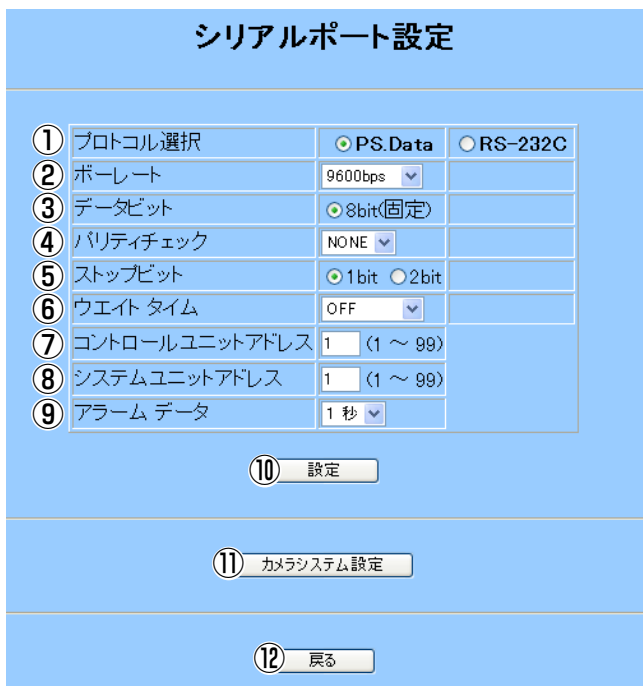
シリアルポート設定ページを表示します。→148ページ

②ネットワーク設定

ネットワーク設定ページを表示します。

シリアルポート設定ページ

DATAポートまたはRS-232Cに接続した機器との通信方法を設定します。



④パリティチェック/⑤ストップビット/⑥ウェイトタイム

これらは、接続している機器の設定と一致する値を選択してください。

⑦コントロールユニットアドレス

システム内の機器間で重複しない番号を入力してください。PS・Dataのみ入力できます。

⑧システムユニットアドレス

システム内で固有の番号を入力してください。PS・Dataのみ入力できます。

⑨アラームデータ

アラーム信号を出力する間隔を選択します。

⑩設定

変更内容を本機に登録します。

⑪カメラシステム設定

カメラシステム設定ページを表示します。→次ページ

⑫戻る

前のページに戻ります。

①プロトコル選択

接続している機器の種別を選択します。

PS・Data: DATAポートにPS・Data機器を接続しています。

RS-232C: シリアルポートにPCを接続しています。

②ボーレート

通信速度は、接続している機器の通信速度と一致する速度を選択してください。

③データビット

データ長を選択します。RS-232Cのみ選択できません。

カメラシステム設定ページ

PS・Data対応のコントローラーからカメラを操作する際、設定した番号で操作するカメラを指定します。カメラ番号はシステム内で固有の番号を設定する必要があります。また、カメラとの信号のやりとりに関する項目をカメラごとに設定します。

カメラシステム設定			
	①	②	③
カメラ入力	カメラ番号	ケーブル補償	データ設定
1	1 (1~128)	S	ON
2	2 (1~128)	S	ON
3	3 (1~128)	S	ON
4	4 (1~128)	S	ON
5	5 (1~128)		
6	6 (1~128)		
7	7 (1~128)		
8	8 (1~128)		

④ 設定

⑤ 戻る

①カメラ番号

コントローラーからカメラを選択するとき使用する番号を入力します。システム内で固有の番号を入力してください。カメラ入力の番号は本機背面の映像入力1~8に対応しています。

②ケーブル補償

カメラから送られてくる映像信号のケーブルによる伝送ロスの補正值を選択します。

③データ設定

カメラと同軸通信を行う(ON)/行わない(OFF)を選択します。

④設定

変更内容を本機に登録します。

⑤戻る

前のページに戻ります。

設定メニュー

ネットワーク設定ページ

本機をLANなどのネットワークに接続するための環境を設定します。設定するときは、接続するネットワーク管理者またはインターネットサービスプロバイダー(ISP)に設定内容を確認してください。

ネットワーク設定

① 通信速度	AUTO
② HTTPポート番号	80
③ DHCP設定	<input checked="" type="radio"/> 使用しない(固定アドレス) <input type="radio"/> 使用する(動的なアドレス設定)
④ IPアドレス	192.168.0.10
⑤ ネットマスク	255.255.255.0
⑥ デフォルトゲートウェイ	192.168.0.1

⑦ DNS設定	<input type="radio"/> OFF (IPアドレスのみ) <input checked="" type="radio"/> 手動 (ドメイン名を解決する:手動でDNSサーバを設定) <input type="radio"/> 自動 (ドメイン名を解決する:DHCPサーバが自動的にDNSサーバを設定)
⑧ ドメイン名	localdomain
⑨ DNSサーバアドレス	0.0.0.0

⑩ DDNS設定	<input type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON
⑪ DDNSホスト名	WJ-HD200
⑫ DDNSユーザー名	
⑬ DDNSパスワード	
⑭ DDNSアクセス間隔	1時間

⑮ 設定 & 再起動

⑯ SNMPコミュニティ	public
⑰ SNMPコンタクト(SysContact)	
⑱ SNMPシステム名(SysName)	
⑲ SNMPシステムロケーション(SysLocation)	

⑳ 設定

㉑ 戻る

①通信速度

通信速度を選択します。通常は「AUTO」に設定してください。

②HTTPポート番号

本機に接続するためのHTTPポートの番号を入力します。ネットワーク管理者またはISPのから指定がない限り、80のままお使いください。

③DHCP設定

IPアドレス、ネットマスク、デフォルトゲートウェイアドレスをDHCPサーバーから取得する場合、「使用する」にします。これらのアドレスを手入力するときは「使用しない」にします。

④IPアドレス

DHCP設定で「使用しない」を選択した場合、IPアドレスを入力します。本機は、0~255までの10進数を4つに区切って入力します。

⑤ネットマスク

DHCP設定で「使用しない」を選択した場合、本機を接続するネットワークの規則に従ってサブネットマスクを入力します。

⑥デフォルトゲートウェイ

DHCP設定で「使用しない」を選択した場合、本機を接続するネットワークの規則に従ってゲートウェイのアドレスを入力します。

⑦DNS設定

DNSを使用して、ホスト名から対応するIPアドレスを検索できるようにするときは、「手動」または「自動」を選択します。DHCPサーバーを使用しない場合(DHCP設定: 使用しない)、「手動」を選択し、ドメイン名とDNSサーバーアドレスを入力してください。

い。DHCPサーバーを使用する場合のみ(DHCP設定: 使用する)、「自動」を選択できます(ドメイン名とDNSサーバーアドレスはDHCPサーバーから取得します)。

⑧ドメイン名

本機をネットワークに参加させる際に使用するドメイン名を入力します。入力規則は以下のとおりです。

- ・半角英数字(大文字、小文字区別なし)
- ・記号(ハイフン(-)、ピリオド(.))

⑨DNSサーバーアドレス

本機をネットワークに接続する際使用するDNSサーバーのIPアドレスを入力します。

⑩DDNS設定

DDNS(Dynamic Domain Name Server)を使用するときは「ON」にします。この設定は、DNS設定を「手動」または「自動」に設定したとき「ON」にできます。

⑪DDNSホスト名

DDNSに登録したホスト名を入力します。当社が提供しているDDNSサービスをご使用になる場合、本機にアクセスする際のURLは、以下のようになります。
http://(DDNSホスト名).nmdns.net

DDNSホスト名の入力規則は以下のとおりです。

- ・半角英数字(大文字、小文字区別なし)
- ・記号(ハイフン(-)、ピリオド(.))

⑫DDNSユーザー名

DDNSに登録されているユーザー名を入力します。DNS設定を「手動」または「自動」で設定したとき入力できます。入力規則は以下のとおりです。

- ・半角英数字(大文字、小文字区別なし)
- ・記号(!#\$%')=&tilde|<>?_^[]/@*.,:;+~¥)

⑬DDNSパスワード

DDNSユーザー名に入力したユーザー名のパスワードを入力します。DNS設定を「手動」または「自動」で設定したとき入力できます。入力規則は以下のとおりです。

- ・半角英数字(大文字、小文字区別なし)
- ・記号(!#\$%')=&tilde|<>?_^[]/@*.,:;+~¥)

⑭DDNSアクセス間隔

DNSを更新する間隔を選択します。DNS設定を「手動」または「自動」で設定したとき選択できます。

⑮設定&再起動

①～⑭いずれかの項目を変更したら、[設定&再起動]ボタンをクリックし、設定内容を本機に登録し再起動します。[設定&再起動]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをク

リックすると、変更内容は本機に反映されません。

⑯SNMPコミュニティ

SNMP認証に使用する名前を英数字で入力します。入力規則は以下のとおりです。

- ・半角英数字32文字(大文字、小文字区別あり)
- ・記号(!#\$%')=&tilde|<>?_^[]/@*.,:;+~¥)

⑰SNMPコンタクト(SysContact)

本機管理者の連絡先(メールアドレスなど)を入力します。入力規則は以下のとおりです。

- ・半角英数字255文字(大文字、小文字区別あり)
- ・記号(!#\$%')=&tilde|<>?_^[]/@*.,:;+~¥)

⑱SNMPシステム名(SysName)

本機をSNMPシステムで管理するための名前を英数字で入力します(例: No1)。入力規則は以下のとおりです。

- ・半角英数字255文字(大文字、小文字区別あり)
- ・記号(!#\$%')=&tilde|<>?_^[]/@*.,:;+~¥)

⑲SNMPシステムロケーション(SysLocation)

本機の設置場所を英数字で入力します(例: 2F)。入力規則は以下のとおりです。

- ・半角英数字255文字(大文字、小文字区別あり)
- ・記号(!#\$%')=&tilde|<>?_^[]/@*.,:;+~¥)

⑳設定

⑯～⑲のいずれかの項目を変更した場合、このボタンをクリックして、変更内容を本機に登録します。このボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、[設定&再起動]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

㉑戻る

前のページに戻ります。

設定メニュー

スイッチャー設定ページ

スイッチャー設定	
共通設定	
① 初期画面(多画面)	QUAD 4A
② 初期画面(スポット)	CH1
③ 多画面モード	<input type="radio"/> 4画面のみ <input checked="" type="radio"/> 全て
④ 多画面シーケンス	詳細設定
⑤ シーケンスタイミング	<input checked="" type="radio"/> 内部タイマー <input type="radio"/> 外部信号入力
⑥ オートスキップ	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
⑦ スポットシーケンス	詳細設定
⑧ シーケンスタイミング	<input checked="" type="radio"/> 内部タイマー <input type="radio"/> 外部信号入力
⑥ オートスキップ	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
⑨ カメラ表示設定	詳細設定
⑩ シークレットビュー	<input checked="" type="radio"/> OFF <input type="radio"/> ON
⑪ 設定	

①初期画面 (多画面)

本機に電源を入れたときに多画面モニターに表示するカメラを選択します。

②初期画面 (スポット)

本機に電源を入れたときにスポットモニターに表示するカメラを選択します。

③多画面モード

本機前面にある多画面選択ボタンの動作を選択します。「4画面のみ」は「QUAD ONLY」に、「全て」は「ALL」に対応しています。→71ページ

④多画面シーケンス([詳細設定])

[詳細設定]ボタンをクリックすると、多画面シーケンス設定ページを表示します。→次ページ

⑤シーケンスタイミング

画像を切り換えるタイミングを選択します。

内部タイマー: 「多画面シーケンス設定ページ」で設定した間隔で画像を切り換えます。

外部信号: 外部機器からの信号で画像を切り換えます(切り換え信号を出力する機器が本機に接続されている場合のみ)。

⑥オートスキップ

カメラが接続されていないチャンネルを自動的にスキップする(ON)または黒画を表示する(OFF)を選択します。

⑦スポットシーケンス([詳細設定])

[詳細設定]ボタンをクリックすると、スポットシーケンス設定ページを表示します。→次ページ

⑧シーケンスタイミング

画像を切り換えるタイミングを選択します。

内部タイマー: 「スポットシーケンス設定ページ」で設定した間隔で画像を切り換えます。→次ページ

外部信号: 外部機器からの信号で画像を切り換えます(切り換え信号を出力する機器が本機に接続されている場合のみ)。

⑨カメラ表示設定/[詳細設定]

カメラ表示設定ページを表示します。→154ページ

⑩シークレットビュー

シークレットビュー機能を使用する場合は「ON」を選択します。→76ページ

⑪設定

変更内容を本機に登録します。



- ・このページは、本機の前面ボタンによるシーケンスの順番を定義するもので、HTMLページのライブ画シーケンスボタンで画像を切り換える順番を定義するものではありません。ライブ画シーケンスで自動切り換えする順序は、ブラウザ表示設定ページで設定します。→161ページ
- ・本機側でシーケンスを開始する。→87ページ

多画面シーケンス設定ページ、スポットシーケンス設定ページ

多画面シーケンス設定ページで、多画面モニターでシーケンスを行うときのカメラの切り換え順序を設定します。スポットシーケンス設定ページで、スポットモニターでシーケンスを行うときのカメラの切り換え順序を設定します。

多画面シーケンス設定

STEP	カメラ番号	時間 (2 ~ 30)
1	QUAD 4A	2 秒
2	QUAD 4B	2 秒
3	OFF	2 秒
4	OFF	2 秒
5	OFF	2 秒
6	OFF	2 秒
7	OFF	2 秒
8	OFF	2 秒

③ 設定

④ 戻る

①カメラ番号

該当ステップで表示するカメラ番号を選択します。多画面シーケンス設定ページはカメラ番号の他に4画面表示(QUAD 4AまたはQUAD 4B)を選択できます。

②時間

表示時間を2~30秒までの間で入力します。

③設定

変更内容を本機に登録します。

④戻る

前のページに戻ります。

スポットシーケンス設定

STEP	カメラ番号	時間 (2 ~ 30)
1	CH 1	2 秒
2	CH 2	2 秒
3	CH 3	2 秒
4	CH 4	2 秒
5	CH 5	2 秒
6	CH 6	2 秒
7	CH 7	2 秒
8	CH 8	2 秒

③ 設定

④ 戻る

設定メニュー

カメラ表示設定ページ

このページで、「OFF」を選択したカメラの画像は本機に接続されたモニターに表示されません。

カメラ表示設定

①

カメラ番号	表示
1	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
2	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
3	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
4	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
5	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
6	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
7	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON
8	<input type="radio"/> OFF <input checked="" type="radio"/> ON

② 設定

③ 戻る

①表示

モニター(多画面およびスポット)に表示しなくてもよいカメラを「OFF」にします。

②設定

変更内容を本機に登録します。

③戻る

前のページに戻ります。

システム情報ページ

システム情報

①

累積稼働時間	ディスク1	10000 時間
	ディスク2	10000 時間
ハードディスク容量		240.00 GB
解像度		NORMAL
システムバージョン		1.00
MACアドレス		00:80:45:12:34:56
IPアドレス		192.168.0.10
サブネットマスク		255.255.255.0
ゲートウェイ		192.168.0.1
ドメイン名		localdomain
DNSサーバーアドレス		0.0.0

② 障害情報

③ サーバー接続エラー情報

①システム情報表示

ハードディスクの稼働時間、総容量、設定されているネットワークアドレスを確認できます。

②障害情報

障害情報ページを表示します。

③サーバー接続エラー情報

サーバー接続エラー情報ページを表示します。

障害情報ページ

このページで、本機使用中に発生した障害情報を99件まで確認できます。

①戻る

前のページに戻ります。

障害情報

THERMAL = 温度異常
WRITE1/2 = HDD書きこみエラー
REMOVE1/2 = 自動リソウまずし
HDD1/2CHK = ハードディスクチェックエラー
FULL = HDD残容量なし警告
NR FULL = HDD残容量警告
VMD1-8 = VMDアラーム保存失敗
TERM1-8 = 端子アラーム保存失敗
PC1-8 = PSD/RS232Cアラーム保存失敗
LOSS1-8 = ビデオロス
POWER = 本体電源オフ
ERROR = その他のエラー

No.	日時	原因
99	2003/12/31 19:00:00	THERMAL
98	2003/12/31 18:00:00	WRITE1
97	2003/12/31 17:00:00	REMOVE2
96	2003/12/31 16:00:00	FULL
95	2003/12/31 15:00:00	HDD1CHK
06	2003/01/01 06:00:00	THERMAL
05	2003/01/01 05:00:00	POWER
04	2003/01/01 04:00:00	WRITE2
03	2003/01/01 03:00:00	PC3
02	2003/01/01 02:00:00	PC7
01	2003/01/01 01:00:00	HDD1CHK

①

設定メニュー

サーバー接続エラー情報ページ

このページで、FTP、SMTP、DDNSの各サーバー接続で発生した障害の情報を100件まで確認できます。

①戻る

前のページに戻ります。

サーバー接続エラー情報		
No.	発生日時	エラー内容
100	2004/07/10 12:00:00	<SMTP> 認証エラー
99	2004/06/30 12:00:00	<SMTP> DNSからMailサーバーアドレス解決できず
98	2004/06/20 12:00:00	<FTP> FTPサーバー見つからず
97	2004/06/10 12:00:00	<FTP> DNSからFTPサーバーアドレス解決できず
96	2004/05/30 12:00:00	<FTP> ユーザー名パスワードエラー
95	2004/05/20 12:00:00	<FTP> FTPサーバー見つからず
94	2004/05/10 12:00:00	<FTP> DNSからFTPサーバーアドレス解決できず
6	2004/03/10 12:00:00	<FTP> ユーザー名パスワードエラー
5	2004/02/20 12:00:00	<FTP> FTPサーバー見つからず
4	2004/02/10 12:00:00	<FTP> その他のエラー
3	2004/01/30 12:00:00	<SMTP> 認証エラー
2	2004/01/20 12:00:00	<FTP> DNSからFTPサーバーアドレス解決できず
1	2004/01/10 12:00:00	<SMTP> DNSからMailサーバーアドレス解決できず

① 戻る

ユーザー設定ページ

ユーザー設定

ユーザー認証

① ユーザー認証 使用しない 使用する

② 設定

ユーザーの登録/更新(パスワード、アクセスレベル)

③ ユーザー名

④ パスワード (再入力)

⑤ アクセスレベル

- [1] 管理者
- [2] ライブ画モニタリング & 蓄積画再生
- [3] ライブ画モニタリング

⑥ 設定

登録されているユーザーの削除

⑦ 削除するユーザー

⑧ 削除

内容は本機に反映されません。

③ユーザー名

認証に使用するユーザー名を16文字までの半角英数字で入力します。ユーザー名は16個登録できます。

④パスワード

パスワードを16文字までの半角英数字で入力します。再入力欄に同じ文字を入力します(誤入力防止のため)

⑤アクセスレベル

アクセスレベルを選択します。

[1]管理者: HTML操作で、すべての操作を行うことができます。必ず1人は登録してください。

[2]ライブ画モニタリング&蓄積画再生: HTML操作でカメラ選択したり、録画画像を再生することができます。

[3]ライブ画モニタリング: HTML操作でカメラ選択のみ行うことができます。

⑥設定

「ユーザーの登録/更新(パスワード、アクセスレベル)」の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

⑦削除するユーザー/削除

登録ユーザーを削除します。削除するユーザー名を選択後、[削除] ボタンをクリックします。[削除] ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので、削除しても良いときは[OK]ボタンをクリックします。削除を中止するときは[キャンセル]ボタンをクリックします。



重要

- ・セキュリティ確保のため、ユーザー認証を「使用する」に設定し、ユーザーを登録することを推奨します。
- ・お買い上げ時に登録されている「admin」のパスワードは変更してください。



ユーザー認証を「使用する」にすると、PCからアクセスするときユーザー認証画面が表示されます。登録されているユーザー名とパスワードを入力してください。正しければトップページが表示されます。

①ユーザー認証

PCのウェブブラウザで本機を操作するとき、ユーザー認証を行うとき、「使用する」にします。お買い上げ時、以下のユーザー名とパスワードが管理者として登録されています。

ユーザー名: admin

パスワード: admin

②設定

ユーザー認証の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内

設定メニュー

ホスト設定ページ

The screenshot shows the 'Host Settings' page with the following sections and callouts:

- ホスト設定** (Host Settings)
- ホスト認証** (Host Authentication): Callout ① points to the 'Host Authentication' label and radio buttons for 'Use' (selected) and 'Do not use'. Callout ② points to the '設定' (Settings) button.
- アクセスを許可するホストの登録** (Registration of Hosts to be Allowed Access): Callout ③ points to the 'Host Address' input field. Callout ④ points to the '設定' (Settings) button.
- 登録されているホストの削除** (Deletion of Registered Hosts): Callout ⑤ points to the 'Delete Host Address' dropdown menu. Another callout ⑤ points to the '削除' (Delete) button.



ホスト認証を使用すると、登録されているIPアドレスのPCからのみネットワーク操作を許可することができます(簡易ファイアウォールとして使用できます)。ユーザー認証と組み合わせて使用すれば、ネットワークセキュリティを強化できます。

①ホスト認証

PCのウェブブラウザで本機を操作するとき、PCのIPアドレスで認証するときは「使用する」にします。

②設定

ホスト認証の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

③ホストアドレス

本機へのアクセスを許可するPCのIPアドレスを入力します。IPアドレスは8つまで登録できます。IPアドレスを入力する場合、0～255までの10進数を4つに区切って入力します。

④設定

ホストアドレスに入力したIPアドレスを本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、入力内容は本機に登録されません。

⑤削除するホストアドレス/削除

登録ホストを削除します。削除するホスト名を選択後、[削除] ボタンをクリックします。[削除]ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので、削除しても良いときは[OK]ボタンをクリックします。削除を中止するときは[キャンセル]をクリックします。

FTPクライアント設定ページ

本機に接続されたカメラの画像を定期定期に、指定したFTPサーバーに転送するよう設定できます。

FTPクライアント設定

FTPクライアント基本設定

① サーバーアドレス: ftpserv.somedomain.co.jp

② ログインユーザー名: ftpuser

③ ログインパスワード: (再入力)

④ モード: シーケンシャル パッシブ

⑤ 設定

定期画像送信の設定

⑥ FTP送信: 使用しない 使用する

⑦ サーバーディレクトリ: /ftpdir/periodic

⑧ ファイル名: 日時を名前にする 番号を名前にする 1から 65535 まで(最大=99999999)

⑨ 送信間隔: 10 分
1~1440(秒), 1~1440(分)

⑩ カメラ番号: CH1 CH2 CH3 CH4 CH5 CH6 CH7 CH8
 OFF OFF OFF OFF OFF OFF OFF OFF
 ON ON ON ON ON ON ON ON

⑪ 設定

①サーバーアドレス

画像送信先となるFTPサーバーのIPアドレスまたはFTPサーバー名を入力します。FTPサーバー名は、DNS設定を「手動」または「自動」にしたときのみ使用できます。

②ログインユーザー名

FTPサーバーにアクセスするためのユーザー名(ログイン名)を入力します。

③ログインパスワード

FTPサーバーに画像を送信するときのパスワードを選択します。

④操作モード

FTPサーバーに画像を送信するときのモードを選択します。「シーケンシャル」で送信できないときは「パッシブ」に変更してください。

⑤設定

FTPクライアント基本設定の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

⑥FTP送信

録画画像を定期的送信するとき、「使用する」を選択します。

⑦サーバーディレクトリ

送信先のディレクトリを入力します。大文字・小文字を間違えずに入力してください。

⑧ファイル名

画像送信時のファイル名の規則を選択します。

注 「番号を名前にする」を選択した場合、送信枚数が設定された最大値をこえると、ファイル名が再度1から割り付けられます。このとき古い画像は上書きされてしまいます。

⑨送信間隔

定期送信する間隔を入力します。単位は「秒」または「分」を選択できます。

⑩カメラ番号

定期的送信するカメラの画像を選択します。ONにしたカメラの画像がFTPサーバーに送信間隔に設定した間隔で送信されます。

⑪設定

「定期画像送信の設定」の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

設定メニュー

メール設定ページ

メール通知を使用すると、アラーム発生時にメールを送信してお知らせすることができます。送信先のメールアドレスなどを設定します。メールの送信先は、4アドレス登録できます。

メール設定

アラームによる送信の設定

①	メール通知	<input checked="" type="radio"/> 使用しない <input type="radio"/> 使用する
②	画像添付	<input checked="" type="radio"/> しない <input type="radio"/> する
③	SMTPサーバーアドレス	smtp.mailsrv.somedomain
④	送信元メールアドレス	sender@mailsrv.somedomain
⑤	POP3認証	<input type="radio"/> 使用しない <input checked="" type="radio"/> 使用する
⑥	POP3サーバーアドレス	pop3.mailsrv.somedomain
⑦	ユーザ名	mailuser
⑧	パスワード

⑨ 設定

通知先メールアドレスの登録

⑩ メールアドレス

⑩ 設定

通知先メールアドレスの削除

⑪ 削除するメールアドレス

⑪ 削除

①メール通知

メールでアラーム発生を通知するとき「使用する」にします。

②画像添付

アラーム発生時の画像をメールに添付するとき「する」にします。

③SMTPサーバーアドレス

メールを送信するSMTPサーバーのIPアドレスまたはSMTPサーバー名を入力します。SMTPサーバー名は、DNS設定を「手動」または「自動」にしたときのみ使用できます。

④送信元メールアドレス

送信元メールアドレスを入力します。入力したアドレスがメール受信者のFrom(差出人)欄に表示されます。

⑤POP3認証

POP before SMTPで認証を行うとき「使用する」にします。

⑥POP3サーバーアドレス

POP3認証で「使用する」を選択した場合、POP3サーバーのIPアドレスまたはPOP3サーバー名を入力します。POP3サーバー名は、DNS設定を「手動」または、「自動」にしたときのみ使用できます。

⑦ユーザー名

送信元のアカウントのユーザー名を入力します。

⑧パスワード

送信元のアカウントのパスワードを入力します。

⑨設定

「アラームによる送信の設定」の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

⑩メールアドレス/[設定]

メールアドレス欄に、送信先のメールアドレスを入力します。入力後、⑩[設定]ボタンをクリックします。

複数メールアドレスをまとめて登録することはできません。1メールアドレスごとに⑩[設定]ボタンをクリックしてください。⑩[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

⑪削除するメールアドレス/[削除]

通知先メールアドレスを削除します。「削除するメールアドレス」から削除したいメールアドレスを選択後、[削除] ボタンをクリックします。[削除]ボタンをクリックすると、確認メッセージが表示されますので、削除しても良いときは[OK]ボタンをクリックします。削除を中止するときは[キャンセル]をクリックします。

ブラウザ表示設定ページ

本機からPCのウェブブラウザに画像を配信するときのモード(転送モード)と、ウェブブラウザでカメラを自動的に切り換えて表示するとき(ライブシーケンス)の切り換え順序、切り換え時間を設定します。

ブラウザ表示設定

画像更新速度設定

① 画像更新速度 MIDDLE

② 設定

ライブシーケンス設定

③ シーケンスの使用 OFF ON

④ オートスキップ OFF ON

STEP	⑤ カメラ番号	⑥ 時間
1	CH 1	MIDDLE
2	CH 2	MIDDLE
3	CH 3	MIDDLE
4	CH 4	MIDDLE
5	CH 5	MIDDLE
6	CH 6	MIDDLE
7	CH 7	MIDDLE
8	CH 8	MIDDLE

⑦ 設定

④ オートスキップ

カメラが接続されていないチャンネルをスキップするとき、「ON」にします。

⑤ カメラ番号

表示する順番にカメラ番号を選択します。

⑥ 時間

表示時間を選択します。「画像更新速度」に「VERY SLOW」を選択した場合、表示時間は「MIDDLE」または「FAST」を選択してください。

「画像更新速度」に「VERY SLOW」を選択した場合、表示時間に「SLOW」または「VERY SLOW」を選択すると、画像が完全に表示される前に次の画像が表示されることがあります。

⑦ 設定

ライブシーケンス設定の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

① 画像更新速度

画像更新速度を選択します。



通信回線の状況によっては、配信画像が途中でしか表示されないことがあります。このような現象が発生するときは、現在設定されている更新速度より、遅い画像更新速度に変更してください。

② 設定

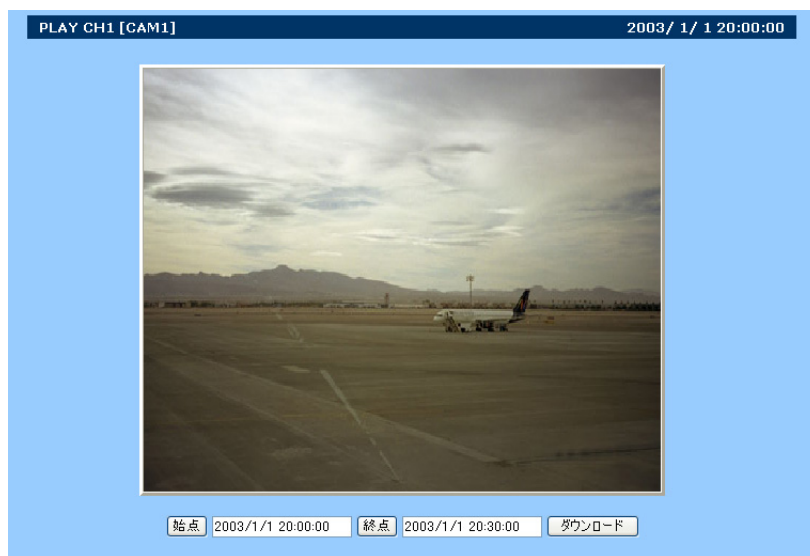
画像更新速度設定の変更内容を本機に登録します。この[設定]ボタンをクリックせずに、他の画面に移動したり、他の[設定]ボタンをクリックすると、変更内容は本機に反映されません。

③ シーケンスの使用

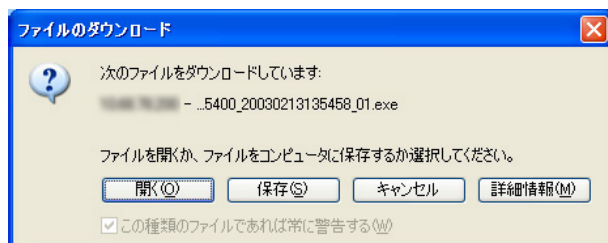
ウェブブラウザ上でライブシーケンスを使用するとき、「ON」にします。

録画画像のダウンロード

録画画像をダウンロードするときは、以下の手順で操作してください。



1. 再生ボタンをクリックし、ダウンロードする先頭の画像を表示する。
2. 再生画像を確認しながら、[始点]ボタン、[終点]ボタンをクリックしてダウンロードする時間を入力する。
始点または終点の日時は、キーボードから入力することもできます。なお、ダウンロードできる録画時間は、最大30分です。
3. ダウンロードボタンをクリックする。
以下の画面が表示されます。



3. [保存]ボタンをクリックする。
任意の場所に、フォルダーを新規に作成し、保存してください(自己解凍形式の実行ファイルがダウンロードされます)。ダウンロード中はBUSYが表示されます。停止ボタンをクリックすると、カメラ画像を表示できます。ダウンロードを中止するときは、[キャンセル]ボタンをクリックしてください。その後、停止ボタンをクリックして、カメラ画像を表示してください。



重要 キャンセルすると、約2分間、ダウンロードを再開することはできません。

故障かな!?

修理を依頼される前に、この表で症状を確かめてください。

これらの処置をしても直らないときや、この表以外の症状のときは、お買い上げの販売店にご相談ください。

症 状	原 因 ・ 対 策	参照ページ
電源が入らない	<ul style="list-style-type: none"> 電源プラグがACコンセントに確実に接続されていますか？ 接続されているか、確認してください。 	—
画面に、HDD ERRORが表示される	<ul style="list-style-type: none"> 使用可能なハードディスクが1台もありません。販売店にご相談ください。 	101~105
画面に、CHn LOSS (nはカメラ番号)が表示される	<ul style="list-style-type: none"> カメラは正しく接続されていますか？ 接続がゆるんでいないか、確認してください。接続に問題がないときは、ケーブルの断線またはカメラの故障が考えられますので販売店にご相談ください。 	112
画面に、THERMAL ERRORが表示される	<ul style="list-style-type: none"> 周囲温度は+5℃~+45℃の範囲内ですか？ 範囲内でも、本機の内部温度が上昇するとTHERMAL ERRORが表示されることがあります。THERMAL ERRORが頻発するときは、本機の故障が考えられますので販売店にご相談ください。 	—
管理者用パスワードを忘れた	<ul style="list-style-type: none"> 本機をお買い上げ時の状態に戻してください。 	122
電源を入れるとDISK MENU画面が表示される	<ul style="list-style-type: none"> ハードディスクの故障またはハードディスクの状態が変更されています。DISK MENU画面でハードディスクの状態を確認し、必要な操作を行ってください。ハードディスクが故障しているときは販売店にご相談ください。 	99~105
カメラ画像が表示されない	<ul style="list-style-type: none"> カメラのレンズキャップは外しましたか？ カメラや接続機器の電源は入っていますか？ モニターの輝度およびコントラストは正しく調節されていますか？ 	接続機器の取扱説明書
	<ul style="list-style-type: none"> 特定のカメラの画像を表示しないように設定していませんか？ 	70, 75
録画画像に真っ黒な画像がある	<ul style="list-style-type: none"> アラーム録画時、本機は録画画像の前または後ろに黒画像を挿入します。本機の仕様によるもので、故障ではありません。 	—

その他

故障かな!?

続き

症 状	原 因 ・ 対 策	参 照 ペ ー ジ
<p>マトリクススイッチャーやシステム機器の設定画面が録画できない</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● ノンインターレース信号で表示される設定画面は録画できません(マトリクススイッチャーの設定画面はノンインターレース信号です)。 	<p>—</p>
<p>アラーム履歴画面から検索して再生すると、再びアラーム履歴画面に戻ってくる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 時刻補正や時刻の変更を行った際に、アラームデータの時刻順序が前後した場合は、一度で検索を行えない場合があります。再度、再生ボタンを押すことで見たい画像を再生できます。 	<p>—</p>
<p>再生速度が遅い 一定時間に画像が更新されない 音が途切れる</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 録画画像の状態や録音の有無によっては、画像の更新が遅くなることがあります。また、録画レートによっては、一定間隔で画像を更新できないことがあります。 ● ネットワークアクセス中、音が途切れることがあります。また、一定間隔で画像を更新できないときも音が途切れることがあります。 <p>上記は、本機の仕様によるもので故障ではありません。更新間隔は、低画質で録画することによって改善することがあります。</p>	<p>—</p>
<p>日時検索結果から再生すると表示されない画像がある</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 本機の仕様であり、故障ではありません。検索時間を数秒前に設定してください。または、録画レートを大きくすると改善することがあります。 	<p>—</p>

HTML操作・ダウンロード画像

症 状	原因・対策	参照ページ
BUSYが表示されて操作できない	<ul style="list-style-type: none"> ●本機で再生を行っていませんか? ●他のユーザーがHTMLで再生を行っていませんか? ●本機でFTP/HTTPで画像をダウンロードしていませんか? ●本機にアラームが発生していませんか? 停止キーを押してライブ画に戻ると左記の症状を解消できます。	-
画像更新速度が遅い、レスポンスが遅い	<ul style="list-style-type: none"> ●ネットワークが混雑している場合や複数の人(最大4人)が同時にアクセスしていると、左記の症状が発生します。ウェブブラウザの停止(またはSTOP)ボタンで処理を中止できます。 	-
保存した画像が縦に縮んで表示される	<ul style="list-style-type: none"> ●ダウンロードした再生画像やFTPで転送したJPEG画像を表示すると縦1/2サイズで表示されます。録画時、フィールド単位で録画しているためで故障ではありません。 	-
配信された画像にノイズが入る	<ul style="list-style-type: none"> ●配信画像によっては、カメラ画像または再生画像の右下が欠けることがあります。 	-
FTPの定期送信で、画像のファイル名(番号)に抜けがある	<ul style="list-style-type: none"> ●送信先サーバーが停止していませんか? 	-

その他

症 状	原因・対策
アラーム履歴からアラームサーチができない	<ul style="list-style-type: none"> ●再生したい日時より前の時刻で検索後、再生してください。 ●DISK END MODE(ディスク終端動作)がCONTINUEに設定されていませんか? CONTINUEに設定されている場合、上書きされた画像は検索できません。 ●アラームサーチボタンを操作して検索できるのは、アラーム履歴に記録されている画像のみです(最大9999件、9999件を超えた場合、古い履歴から順に上書きされます)。

故障かな!?

電源コード・コネクター・電源プラグは、ときどき点検してください。

症 状

電源コードの被ふくが
傷んでいる

使用中、電源コード・
コネクター・電源プラ
グの一部が熱い

使用中、電源コードを
曲げたり伸ばしたりす
ると、暖かくなったり、
ぬるくなったりする

原 因 ・ 対 策

- 電源コード・コネクター・電源プラグが傷んでいます。そのままの状態を使い続けると、感電や火災の原因になります。直ちに電源プラグを抜いて、お買い上げの販売店に修理を依頼してください。

資料

システムコントローラーで操作する

本機をPS・Dataモードで使用する場合、PS・Dataモード対応のシステムコントローラーで下表の項目を操作することができます。以下の操作は本機にシステムコントローラーを接続している場合のものです。本機は、WV-CU360C、WV-CU650のシステムコントローラーに対応しています。



PS・Dataモード対応のシステムコントローラーで本機を操作する場合、設定しSERIAL PORT SETUPメニューの設定を変更する必要があります。→113ページ、148ページ



■部の機能を操作する場合、システムコントローラーのSHIFTボタンを押して、SHIFTボタン右側のライトを点灯させてください。

■WV-CU650の操作のしかた

操作項目	本機	WV-CU650	備考
セットアップ画面の表示/消去		メニュー画面301を呼び出し、 F1 : 表示 F2 : 消去	デフォルトでは、SHIFT + F1 でメニュー画面301を呼び出すことができます。
設定項目の選択			
設定内容の変更		または または	
カーソルの設定項目に入る		または	「→」または「↓」のある設定項目だけ有効です。
カーソルを設定項目に戻す、または直前の画面に戻す			
アラーム履歴の表示/非表示		アラームリコール	
アラーム履歴(カーソル移動)		または	
アラーム履歴(改ページ)			
アラーム履歴表示中の時間検索画面表示/非表示		F1	
アラーム復帰		アラーム復帰 アラームリセット	
アラーム抑止	 同時押し	SHIFT + アラーム抑止	
録画		録画 - 録画停止	
録画停止		録画 - 録画停止 2秒押し	録画中のみ操作可能。
再生		再生/一時停止	
アラーム履歴からの再生		再生/一時停止 または または	

操作項目	本機	WV-CU650	備考
再生停止		停止 	再生中のみ操作可能。
一時停止	ジョグ 押す	再生/一時停止 	
コマ送り (FWD)	→		
コマ送り (RWD)	→		
早送り再生	→		
早戻し再生	→		
ハードディスクの終 端へ移動	→ → ジョグ 押す	3 → SHIFT +	システムコントローラーで操作した場合、最新 の録画映像の終点に移動します。
ハードディスクの先 端に移動	→ → ジョグ 押す	7 → SHIFT +	システムコントローラーで操作した場合、一番古 い映像の開始点に移動します。
キーロックOFF		3 0 → SHIFT +	
キーロックON		3 1 → SHIFT +	
録画モード切換	SETUP MENU画面 で操作	1 4 → SHIFT +	OFF、INTまたはEXTを切り換えます。
画面表示のON/OFF	画面表示 	画面表示 	
画面分割数の選択	多画面選択 	多画面分割選択 	
多画面モニター選択	※スポット 多画面 消灯	1 →	
スポットモニター選 択	※スポット 多画面 点灯	2 →	
カメラ選択	カメラ選択ボタン1～ 8	カメラ番号 →	
画像拡大ON/OFF (電子ズーム)	多画面選択 	電子ズーム 	拡大位置はジョイスティックで移動できます。
シーケンスON	シーケンス 	アーシーケンス グループシーケンス	カメラ選択で、シーケンスを停止(OFF)できます。
時間検索画面表示	時間検索 	サーチ 時間サーチ	
時間検索画面非表示 (検索画面)	時間検索 	モニター 	
設定項目の選択 (検索画面)		または	
日時の変更 (検索画面)		または + - または	
検索実行 (検索画面)		再生/一時停止 または または	

システムコントローラーで操作する

■WV-CU360Cの操作のしかた

操作項目	本機	WV-CU360C	備考
セットアップ画面の表示/消去			
設定項目の選択			
設定内容の変更			
カーソルの設定項目に入る	ジョグ押す		「→」または「↓」のある設定項目だけ有効です。
カーソルを設定項目に戻す、または直前の画面に戻す			
アラーム履歴の表示/非表示	ジョグ押す		
アラーム履歴(カーソル移動)			
アラーム履歴(改ページ)			
アラーム履歴表示中の時間検索画面表示/非表示			
アラーム復帰			
アラーム抑止			
録画			
停止(再生・録画)			システムコントローラーで左の操作を行うと、録画と再生が同時に停止します。
録画停止			録画中のみ操作可能。
再生またはアラーム履歴検索後再生			
アラーム履歴からの再生			
再生停止			再生中のみ操作可能。
一時停止	ジョグ押す		

操作項目	本機	WV-CU360C	備考
コマ送り (FWD)			
コマ送り (RWD)			
早送り再生			
早戻し再生			
ハードディスクの終 端へ移動			システムコントローラーで操作した場合、最新 の録画映像の終点に移動します。
ハードディスクの先 端に移動			システムコントローラーで操作した場合、一番古 い映像の開始点に移動します。
キーロックOFF			
キーロックON			
録画モード切換	SETUP MENU画面 で操作		OFF、INTまたはEXTを切り換えます。
画面表示のON/OFF			
画面分割数の選択			
多画面モニター選択			
スポットモニター選 択			
カメラ選択	カメラ選択ボタン1～ 8	カメラ番号 → 	
画像拡大ON/OFF (電子ズーム)			拡大位置はジョイスティックで移動できます。
シーケンスON			カメラ選択で、シーケンスを停止(OFF)できます。
時間検索画面表示			
時間検索画面非表示 (検索画面)			
設定項目の選択 (検索画面)			
日時の変更 (検索画面)			
検索実行 (検索画面)			

その他

RS-232Cコマンドリファレンス

RS-232Cとは

RS-232Cとは、2台以上の機器で、データ通信を行うためのインターフェース（EIA規格番号）を示しています。RS-232Cインターフェースを使ってパーソナルコンピュータ（PC）から本機に、特定のコマンドを送信することによって、各種機能进行操作することができます。



- ・USB変換でのRS-232C通信は、動作保証いたしません。
- ・RS-232CでPCから本機を操作する場合は、COMMUNICATION SETUP画面のPROTOCOLをRS-232Cに変更してください。
- ・データ通信を行うためには、以下の内容を通信する機器間で一致させる必要があります。通信速度（BAUD RATE）、データ長（DATA BIT）、パリティチェック（PARITY CHECK）、ストップビット（STOP BIT）
本機の場合、上記の項目はCOMMUNICATION SETUP画面で設定します。

コマンドフォーマット

ここでは、コマンドの記述方法について説明します。

送信コマンド（PC →本機）

シンタックス	[STX]	[送信コマンド] : [パラメータ]	[ETX]
キャラクターコード	02h		03h

STX : データの始まりを示します。データの始まりには、必ずSTX（キャラクターコード02h）を付けます。hは16進数を示します。

送信コマンド : コマンドリストに記載されているコマンドを指定します。

ETX : データの終わりを示します。データの終わりには、必ずETX（キャラクターコード03h）を付けます。

文字コードは、ASCIIコードです。

パラメータが必要なコマンドは、コマンドとパラメータをコロンの（:）で区切ります。

以下は、パラメータを複数指定する場合の記述方法です。

[STX]	[送信コマンド] :	[パラメータ] :	[パラメータ]	[ETX]
-------	------------	-----------	---------	-------

応答コマンド (PC ←本機)

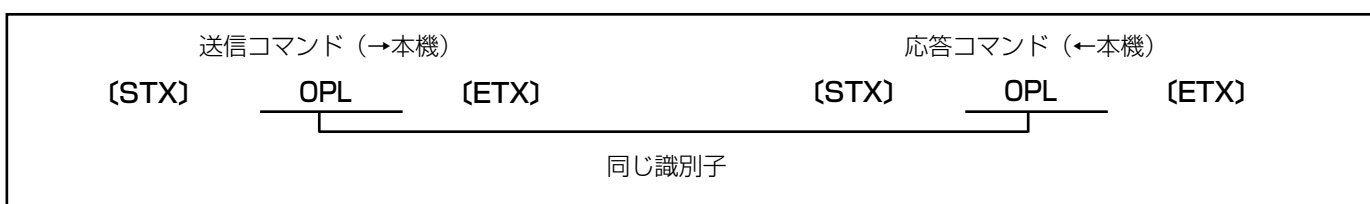
PCからのコマンドに対して、本機は応答コマンドを返します。

・通信が正常に行われた場合

ANSWER (ステータス、各種データの返信) 必要/不要によって応答コマンドが異なります。

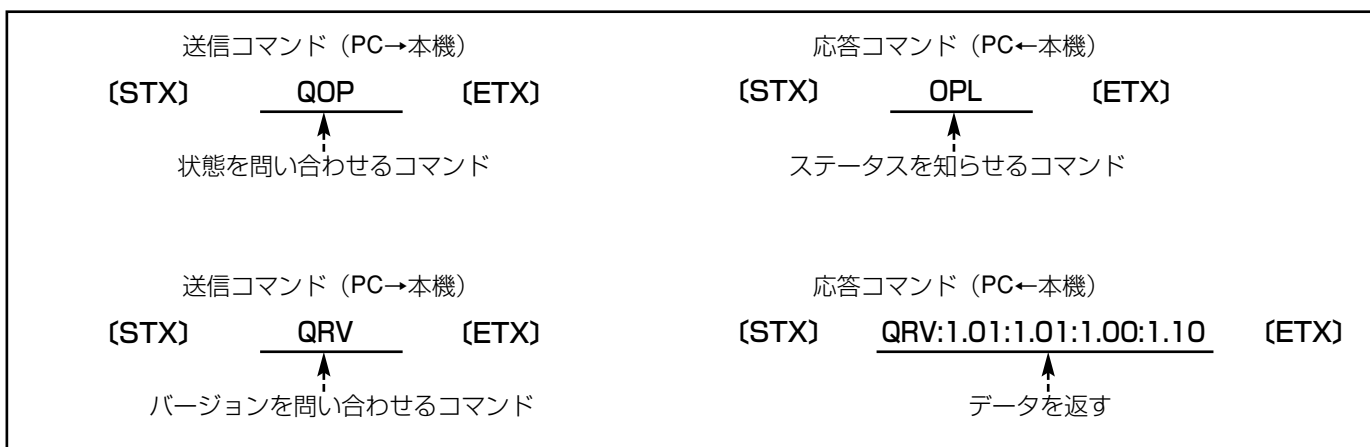
・ANSWERが不要な場合

以下のように、送信コマンドと同じ識別子を返します。



・ANSWERが必要な場合

以下のように、ステータスまたは各種データを返します。



・ACKコードについて

本機は、PCからのコマンドを受信してから、そのコマンドに対して20 ms以内にACKコードを返します。

[ACK] = 受信正常 (キャラクターコード06H)

ACKコマンドを返した後、コマンドに対する処理が終了すると、そのコマンドに対する応答コマンドを返します。

RS-232Cコマンドリファレンス

エラーが発生した場合

通信エラーとコマンド処理に関するエラーとで、応答するコマンドが異なります。

・通信エラー（受信不良）の場合

通信エラーによって本機が正常にコマンドを受信できなかった場合、直ちにNACKコードをPCに返します。このとき、受信バッファをクリアした後、つぎの〔STX〕コマンドを受信するまで待ち状態になります。

〔NCK〕 ○ =受信不良（キャラクターコード15H）
↑
通信不良の原因
1：パリティエラー（キャラクターコード31H）
2：フレミングエラー（キャラクターコード33H）
3：オーバーランエラー（キャラクターコード34H）

・受信コマンドを処理できなかった場合

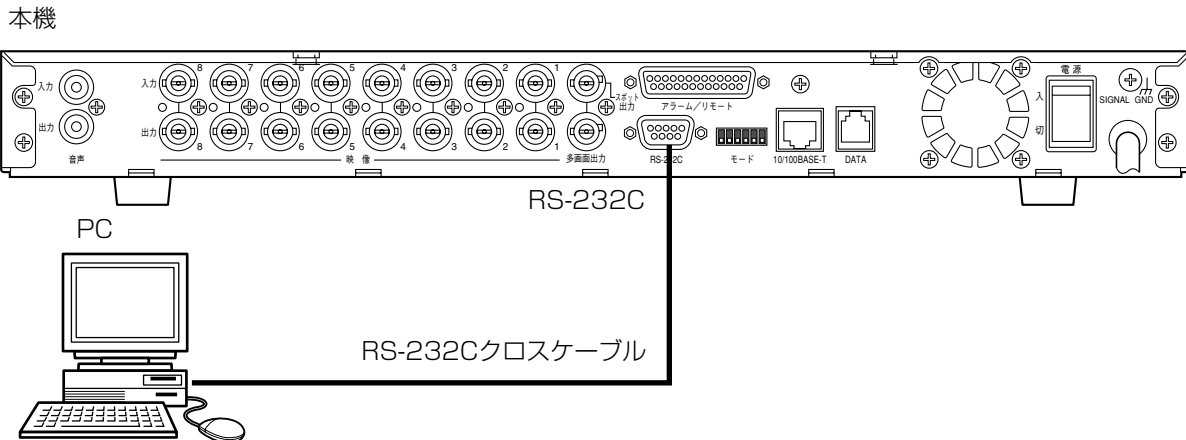
本機は、受信したコマンドを処理できなかった場合、エラーコードを返します。このとき、受信バッファをクリアした後、つぎの〔STX〕コマンドを受信するまで待ち状態になります。

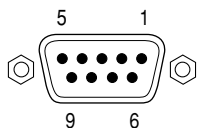
〔STX〕	ERO ○	〔ETX〕	=エラー
	↑		
	エラーの原因		
	E：コマンドエラー		（キャラクターコード45H）

- ・ 応答中に、本機が新たなコマンドを受信した場合、処理中の応答が終了してから新たなコマンドに対して応答します。
- ・ 本機が〔ETX〕を受信する前に、再度STXを受信した場合、内部バッファをクリアした後、再受信した〔STX〕以降のデータを処理します（〔STX〕を再受信する前のコマンドは破棄されます）。
- ・ 本機の内部バッファがいっぱいになった場合、内部バッファをクリアします。

PCとの接続例

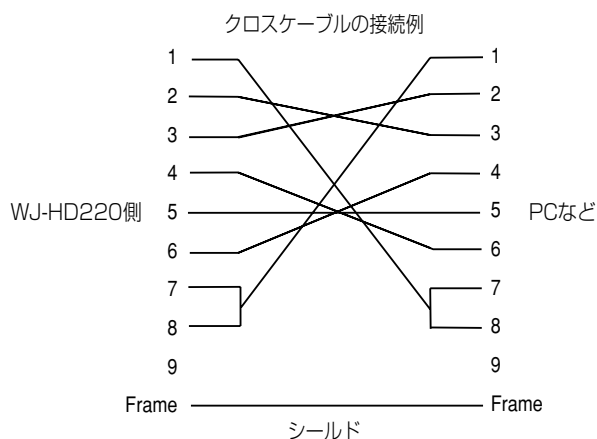
本機とPCはRS-232Cクロスケーブルで接続します。ケーブル仕様は次ページをご覧ください。





WJ-HD220後面から見た図

ピン番号	信号名	方向
1	CD	IN
2	RXD	OUT
3	TXD	IN
4	DTR	OUT
5	SG	-
6	DSR	IN
7	RTS	OUT
8	CTS	IN
9	RI	IN



基本操作

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメーター (ASCII)
ディスク終端に移動	OFF	OFF	
一時停止	OPA	OPA	
再生	OPL	OPL	
録画	ORC	ORC	
ディスク先端に移動	ORW	ORW	
早送り再生	OSF:n	OSF	n = 0F(1倍), 1F(2倍), 2F(5倍), 3F(50倍), 4F(100倍) 0S(1倍), 1S(1/2倍)
停止	OSP:n	OSP	n = P 再生停止 n = R 録画停止 パラメーターなし：再生・録画停止
早戻し再生	OSR:n	OSR	n = 0F(1倍), 1F(2倍), 2F(5倍), 3F(50倍), 4F(100倍) 0S(1倍), 1S(1/2倍)
コマ送り	OVF	OVF	
コマ戻し	OVR	OVR	
カメラ切替	OCS:cccc	OCS:cccc	cccc=00001~00008(カメラ番号:10進数で指定) cccc+= 現在表示されているカメラ番号+1 cccc-= 現在表示されているカメラ番号-1
モニター選択	OMS:m	oms:m	m=0001 多画面モニター m=0002 スポットモニター
画面分割	OTC:m	otc:m	m+= 4画A→4画B→8画の順に切り換える m-= 8画→4画B→4画Aの順に切り換える
キーロック	MKL:n	MKL	前面パネルのボタンおよびアラーム/リモート端子による操作をロックまたはロック解除する。 n=0 ロック解除 n=1 ロック設定
電子ズーム操作	OZM:m	ozm:m	m=0 電子ズームOFF m=1 電子ズームON m=2 2倍ズーム m=4 4倍ズーム m+= 倍率アップ(0(OFF)→2倍→4倍→0の順に循環)

RS-232Cコマンドリファレンス

アラーム制御

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメーター (ASCII)
アラーム発生通知	-	ALM:0F0F0F:a ₁ a ₂ 0F0F	アラームが発生するたびに、PCにアラーム発生を通知する(割込コマンド)。 a ₁ :上位4ビットでアラーム1~4(8ビット目から順にアラーム1,2,...に対応)のアラーム発生状態を表す(アラーム発生時1)。下位4ビットはチェックコード(上位4ビットの否定(NOT))がストアされる。 a ₂ :上位4ビットでアラーム5~8(8ビット目から順にアラーム5,4,...に対応)のアラーム発生状態を表す(アラーム発生時1)。下位4ビットはチェックコード(上位4ビットの否定(NOT))がストアされる。
アラーム抑止	MAD:n	MAD	n=0 アラーム抑止解除 n=1 アラーム抑止設定
アラーム履歴画面表示	OAE:n	OAE	n=0 アラーム履歴画面消去 n=1 アラーム履歴画面表示
アラーム履歴消去	OAR	OAR	
アラーム履歴検索	SAS:nnd (:p)	SAS	nn=01 から 99 (10進数) d=F 最新のアラーム検索 d=B 最古のアラーム検索 p=L 検索後、再生 p=A 検索後、一時停止

セットアップ操作

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメーター (ASCII)
カーソル移動	DCR:n1n2	DCR	n1=A 設定値変更(+) n1=C 上 n1=E 設定値変更(∟) n1=G 下 n2=1 1ステップ移動 n2=2 高速移動 n1n2=+1 設定値変更(+) n1n2=-1 設定値変更(∟) n1n2=PD 下層画面に移動 n1n2=PU 上層画面に移動
録画タイミングの設定	MRM:n	MRM	n=0 通常録画 n=1 内部タイマー録画 n=2 外部タイマー録画
セットアップ	MSU:n	MSU:n	n=0 セットアップ終了 n=1 セットアップ開始
時刻設定	TSU:yyyymmddhhnn	TSU	yyyy=年 mm=月 dd=日 hh=時 (24時間制) nn=分

その他の操作

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメーター (ASCII)
Time&Date サーチ	ZTS:yyymmddhhnss	ZTS	yyyy=年 mm=月 dd=日 hh=時 (24時間制) nn=分 ss=秒
通信チェック	RCK	RCK	
画面表示ON/OFF	DIN:n	DIN	コマンドを送信するたびに、画面表示をON/OFFに切り換える n=+ ONまたはOFFを切り換える n=0 OFF(非表示) n=1 ON(表示)
時間検索画面表示	ZTL:n	ZTL	n:7 検索画面表示 n:0 検索画面消去
アラーム履歴検索画面表示	ZTM:n	ZTM	n:1 アラーム履歴検索画面表示 n:0 アラーム履歴検索画面消去

ログ操作

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメーター (ASCII)
ログサイズ要求	ILB:k	ILB:k:bbbb	k:0 アラームログ bbbb:00001~09999 bbbbb=00001-09999 (10進数)
ログ消去	ILC:n	ILC:n	n:0 アラームログ n:1 システムログ
ログデータ数要求	ILQ:k	ILQ:k:bbbb:dddd(:E)	k:0 アラームログ bbbb:00001~09999 bbbbb=00001-09999 dddd=00001~09999 dddd=00001-09999 E ログデータ数 上書き情報
ログの読み出し	ILR:k:ssss:mmmm	ILR:k:<log data s1>s1 <log data s2>s2 <log data sn>F	k:0 アラームログ ssss:00001~09999 開始番号 mmmm=00001~00100 ログ番号 (10進数) <log data sn>: yyymmddhhnss (日時) sn=0~9 (巡回数値) F (データの最後)

ディスクエンド通知

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメーター (ASCII)
ディスクエンド自動通知設定	MDE:n	MDE	n=0 ディスクエンド自動通知解除 n=1 ディスクエンド自動通知設定
ディスクエンド自動通知		HDE	

RS-232Cコマンドリファレンス

問い合わせ

項目	送信コマンド (ASCII)	応答コマンド (ASCII)	パラメーター (ASCII)
ディスク残量	QHR	QHR:nnn	nnn=000~100 10進数 (%)
機器コード問い合わせ	QID	QID:WJ-HD220	
キーロック設定 問い合わせ	QKM	QKM:n	n=0 キーロック OFF n=1 キーロック ON
アラーム情報 問い合わせ	QLD:n	QLD:m QLD:m:k1:時刻1:k2:時刻2>	n=0 時刻情報なし n=1 時刻情報あり m=0 アラームなし m=1 アラーム復帰 m=2 アラーム動作中 k=0 VMDアラーム k=1 ターミナル k=2 PCからのアラーム k=3 ビデオロス 時刻 時刻情報ありの場合のみ応答 yymmddhhnss yy (年) mm (月) dd (日) hh (時) nn (分) ss (秒)
状態問い合わせ※	QSR	QSR:状態1[:状態2...:状態13]	状態には以下のコマンドが返信される。 mad:1 アラーム抑止中 mad:0 アラーム抑止中なし mkl:1 ロック中 mkl:0 ロック解除中 msu:1 設定中 msu:0 通常操作中 oms:0001 多画面モニター oms:0002 スポットモニター ocs:cccc cccc=カメラ番号 (00001~00008) otc:0 4分割画面 otc:2 9分割画面 oqt:01n n=F (シーケンス中) n=P (シーケンス停止中) oae:1 アラーム履歴表示中 oae:0 アラーム履歴非表示 orc 録画中 osp:R 録画停止中 opl 再生中 opa 一時停止中 osf:0F~5F 早送り再生中 0F:1倍、1F:約2倍、2F:約5倍、 3F:約50倍 (4Fは指定不可)、 5F:約100倍 osf:0S~1S 同上 0S:1倍、1S:1/2倍 osr:0F~5F 早戻し再生中 0F:1倍、1F:約2倍、2F:約5倍、 3F:約50倍 (4Fは指定不可)、 5F:約100倍 osr:0S~1S 同上 0S:1倍、1S:1/2倍 osp:P 停止中 ztl:7 検索画面表示中 ztl:0 検索画面非表示 ztl:1 アラーム履歴検索画面表示中 ztl:0 アラーム履歴検索画面非表示
ソフトウェアのバージョン		QRV	QRV:s.ss s.ss システムバージョン

ダウンロード画像について

ウェブブラウザから本機にアクセスし、再生画像をダウンロードすると、画像データとビューワー(HTML)が1つの実行ファイル(拡張子exe)としてダウンロードされます。画像を確認するときは、以下の手順で操作してください。

1. ダウンロードした実行ファイルを任意のフォルダーに移動し、ダブルクリックする。
実行ファイルは自己解凍形式の圧縮ファイルです。実行ファイルをダブルクリックすると、実行ファイルを移動したフォルダーに画像ファイル(拡張子jpg)と画像表示用HTMLファイル(index.html)が作成されます。
解凍された画像ファイルは、画像表示用HTML(index.html)で確認してください。ペイントなどの画像ソフトでは縦方向が1/2に縮小されて表示されます。
2. index.htmlをウェブブラウザで表示する。
以下の画面が表示されます。



スキップ: サムネイル画像の改ページ数を選択します。

先頭へ: 先頭ページに戻ります。

前へ: 前のページに改ページします。改ページ数は、「スキップ」で選択したページ数に依存します。

次へ: 次のページに改ページします。改ページ数は、「スキップ」で選択したページ数に依存します。

最後へ: 最終ページを表示します。

No.: 表示している画像のフレームの番号です。

日時: 画像の録画時刻を表示します。

速度: 再生速度を表示します。

先頭へ: 一番古い画像を表示し、停止します。

早戻し再生: クリックするたびに再生速度を変えて逆再生ができます。

逆再生: 逆再生を開始します。ファイル名の降順に再生されます。

再生: 再生を開始します。ファイル名の昇順に再生されます。

早送り再生: クリックするたびに再生速度を変えて再生ができます。

終端へ: 最終（最新）画像を表示し、停止します。

逆コマ送り: 1フレーム戻り、停止します。

停止: 停止します。

コマ送り: 1フレーム進み、停止します。

メール通知の内容

アラームメール通知の内容

メール設定ページでメール通知を行うように設定した場合、指定したアドレスに以下のメールが送信されます。画像添付有りの場合は、画像表示用HTMLファイルと画像ファイル（拡張子jpg）が添付されます。

```
WJ-HD220(送信元IPアドレス) STATUS REPORT.  
DATE           : 年.月.日 時:分:秒  
PORT           : nCH  
URL            : http://送信元IPアドレス:ポート番号 (DDNS  
                使用時はURL)
```



ポート番号が80以外の場合は、URLの末尾にポート番号が付加されて表示されます。

障害メール通知の内容

メール設定ページでメール通知を行うように設定した場合、指定したアドレスに以下のメールが送信されます。

```
WJ-HD220(送信元IPアドレス) STATUS REPORT.  
DATE           : 年.月.日 時:分:秒  
STATUS         : 要因(参照)  
URL            : http://送信元IPアドレス:ポート番号 (DDNS  
                使用時はURL)
```



ポート番号が80以外の場合は、URLの末尾にポート番号が付加されて表示されます。

要因	意味
THERMAL ERROR	温度異常
DISK WARNING OF ディスク種別	S.M.A.R.T.によるハードディスク異常検出。 ディスク種別 MASTER: HDD1に異常があります。 SLAVE: HDD2に異常があります。
HDD CAPACITY REMAINS **%	残量警告(**%: ハードディスクの空き容量)。HDD FULL(→44ページ)で設定した値以下になるとメールを送信します。以後、ディスクエントを解除するまで1%減るごとにメールが送信されます(解除のしかたは→99ページ)。1%未満のときは1%としてメールが送信されます。
HDD IS FULL	ハードディスクの残容量が無いため、録画できません。ディスクエントを解除してください(→99ページ)。
NO VMD TRIGGERED RECORD DUE TO FULL DISK	VMDによるアラームを検出したが、ディスクエンドのため、録画できませんでした。
NO TERMINAL TRIGGERD RECORD DUE TO FULL DISK	端子アラームを検出したが、ディスクエンドのため録画できませんでした。
NO PC TRIGGERED RECORD DUE TO FULL DISK	PC(シリアル接続機器)またはPS-Data機器からアラームを検出したが、ディスクエンドのため録画できませんでした。

つづく

続き

要因	意味
ディスク種別 IS LOGICALLY REMOVED	ディスク種別に示すハードディスクの異常を検出したため、ディスク種別に示すハードディスクを論理的に切り離しました。 ディスク種別 MASTER: HDD1に異常があります。 SLAVE: HDD2に異常があります。
VIDEO LOSS nCH	nCHに接続されているカメラからの映像が途切れました。カメラの故障またはケーブルの断線が発生していないか確認してください。
UNDEFINED ERROR	未知のエラーが発生しました(動き自動検知機能が動作したが、何らかの原因で録画できなかった、PCからのアラームをログに記録できなかった、停電などにより本機の電源が切断されたなど)。



TRIGGER ACTION SETUP画面(トリガー動作設定ページ)で、REC&ALMIに設定されているカメラに対してのみ、メールを送信します。上書き機能をOFFに設定している場合、ディスク残容量が0のときにアラームが発生した場合も、同様です。→34ページ、140ページ

ネットワーク障害情報の内容

SMTPに関する障害情報

分類	エラー表示内容	エラー内容詳細
POP3サーバーエラー	認証エラー	ユーザ名・パスワードが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	POP3サーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none">・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。・POP3サーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
SMTPサーバーエラー	DNSからMailサーバーアドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none">・DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。・DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	SMTPサーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none">・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。・SMTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	MAIL FROMコマンドエラー	送信者メールアドレスが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
	RCPT TOコマンドエラー	送信先メールアドレスが間違っている可能性があります。メール設定を再確認してください。
内部エラー	その他のエラー	メール機能で問題が発生しています。メール設定を再確認してください。

FTPに関する障害情報

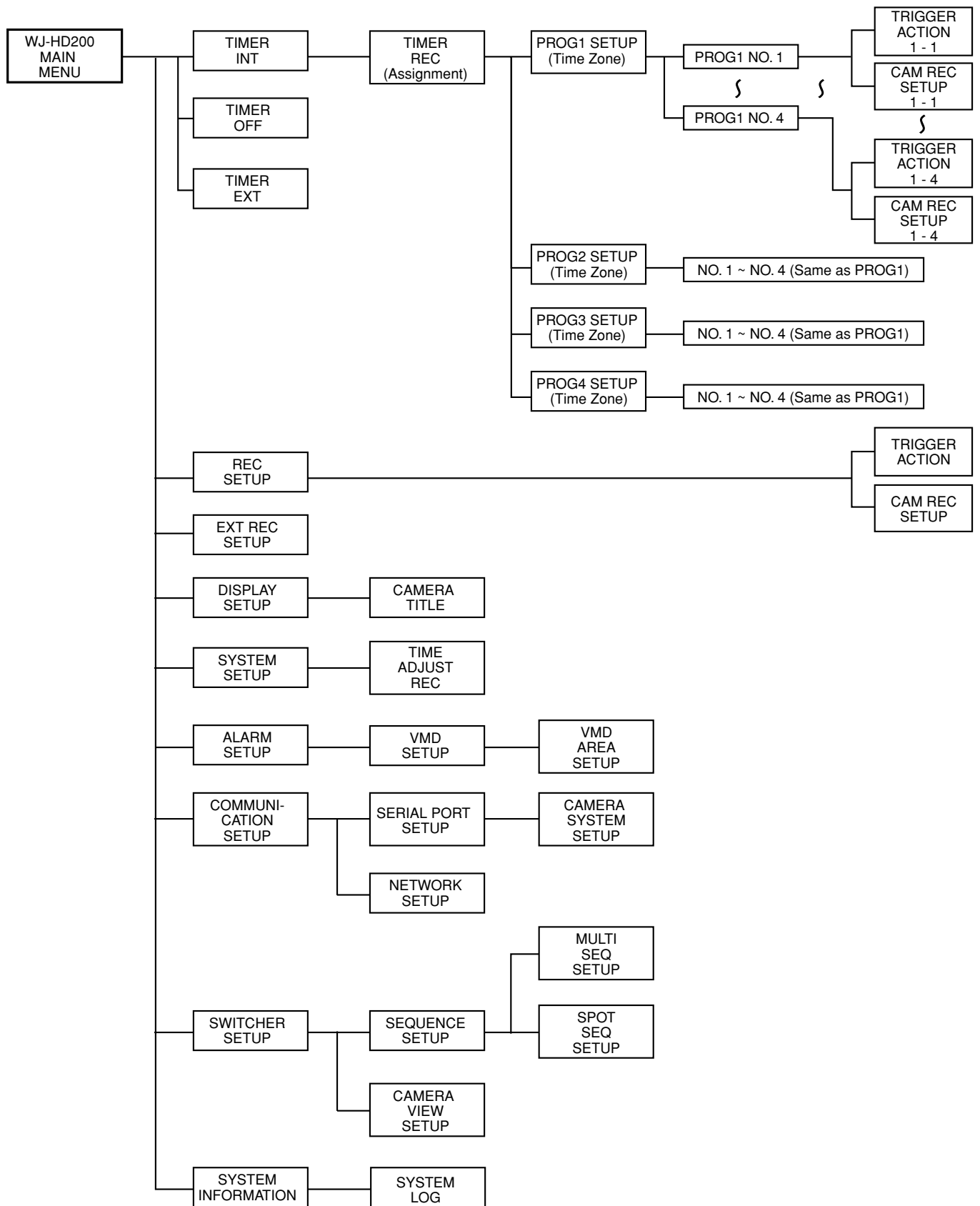
分類	エラー表示内容	エラー内容詳細
FTPサーバーエラー	DNSからFTPサーバーアドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none">・DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。・DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
	FTPサーバー見つからず	<ul style="list-style-type: none">・サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。FTPサーバーアドレスの設定を再確認してください。・FTPサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	転送エラー	ファイル転送が失敗した可能性があります。ネットワーク接続状況を再確認してください。
	Passiveモードでのエラー	FTP転送でエラーが発生しています。FTPクライアント設定を再確認してください。
	ログアウト失敗	サーバーとの接続でエラーが発生しています。サーバー管理者にご相談ください。
	ディレクトリ変更に失敗	ファイルのディレクトリ設定が間違っている可能性があります。FTPクライアント設定を再確認してください。
	ユーザー名パスワードエラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。FTPクライアント設定を再確認してください。
内部エラー	その他のコマンドエラー	サーバーとの接続でコマンドエラーが発生しています。サーバー管理者にご相談ください。
	その他のエラー	FTP機能で問題が発生しています。FTPクライアント設定を再確認してください。

DDNSに関する障害情報

分類	エラー表示内容	エラー内容詳細
DNSサーバーエラー	DNSからDDNSサーバーアドレス解決できず	<ul style="list-style-type: none">・ DNSサーバーの指定が間違っている可能性があります。DNS設定を再確認してください。・ DNSサーバーがダウンしている可能性があります。ネットワーク管理者にお問い合わせください。
接続エラー	サーバー応答なし	<ul style="list-style-type: none">・ サーバーのIPアドレスが間違っている可能性があります。サーバーのIPアドレスの設定を再確認してください。・ DDNSサーバーがダウンしている可能性があります。サーバー管理者にご相談ください。
	ユーザー名パスワードエラー	ユーザー名・パスワードが間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
	IPアドレスアップデートエラー	DDNS設定が間違っている可能性があります。DDNS設定を再確認してください。
内部エラー	その他のエラー	DDNS機能で問題が発生しています。DDNS設定を再確認してください。

設定画面構成

設定画面は以下の構成になっています。



索引

1画面で表示する84
4画85
8画85

<A>

ALARM BUZZ55
ALARM DATA63
ALARM RECALL81
ALARM SETUP55
ALTER DETECT50
AUTO SKIP72

<B・C>

BAUD RATE60
CAM REC SETUP36
CAMERA SYSTEM SETUP63
CAMERA TITLE45
CAMERA VIEW SETUP75
COMMUNICATION SETUP59
CTL-UNIT ADDR62

<D>

DATA BIT61
DATAポート(設定)59
DEFAULT96
DHCP68
DISK END BUZZ51
DISK END MODE51
DISK MENU画面101
DISPLAY SETUP41
DYNAMIC REC33

<E・F>

ERR97
FL%:97
FLL97
FORMAT104
FTP GET52
FTPクライアント設定ページ159
FULLランプ99
FULLランプ点滅条件44

<H>

HD1/HD297
HDD CAPACITY96
HDD CHECK45
HDD FULL44
HDD HOUR METER96
HDD SAFETY MODE54
HTMLコンテンツの初期化122
HTML操作ガイド123
HTTP PORT67
HTTPポート番号67

<I>

IP(Internet Protocol)アドレス 65
IPアドレス68, 69

<K・L>

KEYLOCK BUZZ49
LOCAL52
LSn97

<M>

MONITOR MODE56
MULTI SEQ SETUP73
MULTI SEL MODE71

<N>

NET PLAY52
NETWORK SETUP65
NONE52

<P>

PARITY CHECK61
PASSWORD LOCK47
PCn97
PCの環境125
PLAY PRIORITY52
POST ALARM REC33
POW97
PRE ALARM REC32
PROG38
PS・Dataモード対応機器(接続例) 113

<R>

REC QUALITY29
REC RATE29
REMOTE LED44
REMOVE LINK103
RESOLUTION54
RESTART105
RS-232C59
RS-232Cコマンドリファレンス 172
RV1/RV297

<S>

S.M.A.R.T.45
SECRET VIEW76
SEQUENCE SETUP71
SERIAL PORT SETUP59
SIMUL REC&PLAY50
SKIP ALM-RECALL49
SPOT SEQ SETUP73
STATUS DISP.43
STATUS POSI.43
STOP BIT61
SWITCHER SETUP70
SYS-UNIT ADDR62
SYSTEM SETUP47
SYSTEM VERSION97
SYSTEM LOG97

<T>

T&D KEY21

TIME ADJUST SETUP53
TIME&DATE EMB.42
TIME&DATE POSI.42
TIME&DATE DISP.41
TIMER REC37
TML97
TMn97
TRIGGER ACTION SETUP34

<V>

VIDEO LOSS56
VMD SETUP57
VMn97
VTRにコピーする95

<W>

WAIT TIME62
WR1/WR297
WV-CU360Cの操作のしかた 170
WV-CU650の操作のしかた168

<あ>

アラーム/リモート端子116
アラーム画像検索80
アラーム出力116
アラーム設定ページ146
アラーム動作の解除94
アラーム動作を抑止する94
アラーム入力116
アラームの種類92
アラーム発生時の画像56
アラーム発生時の動作(設定)55
アラーム発生時の動作92
アラーム発生時のブザー音55
アラームブザー93
アラームメール通知180
アラームランプ92
アラームリスト132
アラーム履歴81
アラーム録画17, 93
アラーム録画時の録画モード31
安全上のご注意13
動き検出エリア設定ページ147
動き検出設定ページ147
動き自動検出機能57
上書き機能51
エラーランプ100
遠隔操作114
お買い上げ時の状態に戻す122

<か>

改ざんチェック機能50
外部スイッチ119
外部録画時の録画モード40
外部録画設定ページ142

索引

外部録画入力 116
改ページ数の選択 49
書き込みエラー 18
拡大する 85
画像自動切り換え 71
稼働時間 96
カメラシステム設定ページ 149
カメラ制御パネル 134
カメラタイトル設定ページ 144
カメラに名前を付ける 45
カメラの画像を表示しない 75
カメラ表示設定ページ 154
カメラ名の表示 46
画面詳細 131
画面操作 84
画面操作の設定 70
画面表示 22
画面表示ボタン 89
機器異常検知出力 116
機能概要 (HTML操作) 124
基本操作パネル 131
切り離す 103
ゲートウェイ 65
ケーブル断線検出機能 56
検索再生 80
工事 106
後面パネル部 110
故障かな 163
コマ送り 83
コントロール・ユニットアドレス 62

<さ>

サーバー接続エラー情報ページ 156
再起動 105
再生する 79
再生中出力 116
再生優先順位 52
サブネットマスク 65
シークレットビュー 152
シーケンス 87
シーケンス出力 116
シーケンス入力 116
自己管理報告機能 45
時刻補正 53
システムコントローラーで操作する 168
システム情報の確認 96
システム情報ページ 154
システム設定ページ 144
システムの動作 47
システムバージョン 97
システムログの表示 97
自動時刻補正 118

終端 121
仕様 188
障害情報ページ 155
障害メール通知 180
状態表示 135
商品概要 2
初期化 100, 104, 122
初期画面 70
シリアルポート (設定) 59
シリアルポート設定ページ 148
スイッチャー設定ページ 152
ズーム 85
ストップビット 61
スポットシーケンス設定ページ 153
スポットモニター 22
スポットモニターのシーケンス 88
接続のしかた 112
接続例 112
設置工事について 107
設置上のお願 106
設定画面 (表示のしかた) 25
設定画面構成 184
設定画面の基本操作 25
設定内容の初期化 96
設定メニュー 136
前面パネル部 20
操作画面 130

<た>

タイマー録画 17, 18
ダウンロード 162
ダウンロード画像 179
多画面シーケンス設定ページ 153
多画面選択ボタン 71, 85
多画面で表示する 85
多画面モニター 22
多画面モニターのシーケンス 87
通常再生 79
通信速度 60, 65
通信に関する設定 59
定格 (アラーム/リモート端子) 116
ディスクエンド 99
ディスクエンド出力 116
データ通信設定メニューページ 148
データビット 61
データ待ち時間 62
電源を入れる 23
電源を切る 98
動作状態表示 43
動作状態表示位置 43
動作モード 121
同時録再機能 50

時計の表示形式 41
時計表示位置 42
時計を合わせる 27
取り扱い上のご注意 16
トリガー動作設定ページ 140, 142

<な>

内部タイマー設定ページ 137
日時で検索 80
ネットワーク (接続例) 114
ネットワーク環境の設定 126
ネットワーク障害情報の内容 182
ネットワークセキュリティ 128
ネットワーク設定ページ 150
ネットワークの設定 65

<は>

ハードディスク故障時の対処方法 102
ハードディスク終了時のブザー音 51
ハードディスク状態チェック 45
ハードディスクセーフティモード 107
ハードディスク総容量 96
ハードディスクの状態 102
ハードディスクの初期化 100
ハードディスクのメンテナンス 99
ハードディスク録画 19
早送り 83
早戻し 83
パリティチェック 61
表示設定ページ 143
ブラウザ表示設定ページ 161
不正操作を防止する 90
付属品 3
プログラム設定ページ 139
プログラムを作成する 38
保証とアフターサービス 189
ホスト設定ページ 158
ホスト名 151
ボタン操作時のブザー音 49

<ま>

マニュアル録画 17
メール設定ページ 160
メール通知の内容 180
免責 4
メンテナンス 99
モードスイッチ 121
モニター表示情報 41

<や>

ユーザー設定ページ 157
ユニットアドレス 62
用語・記号 5

<ら>

ラック 120

ランプに関する設定	41
リモートランプ	44
レコーダー操作ボタン	133
連続録画	17
録画カメラ設定ページ	140
録画する	78
録画するカメラを選択する	36
録画設定ページ	141
録画中出力	116
録画の仕組み	17
録画の種類	17
録画方法を選択する	28
録画モード	17
ロックする	90
ロックを解除する	90

仕様

・基本仕様

電源	AC 100 V 50 Hz / 60 Hz
消費電力	約45 W
周囲温度範囲	+5 °C ~ +45 °C
寸法	幅 420 mm 高さ 44 mm 奥行き 350 mm (ゴム足除く)
質量	6 kg
仕上げ	前面パネル: AVアイボリー焼付塗装(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色) 後面パネル: 処理鋼板 上カバー: AVアイボリーエリオ鋼板(マンセル7.9Y6.8/0.8近似色)

・入力

映像入力	コンポジット映像信号 1 V[P-P]/75 Ω、自動終端、BNC、8入力
音声入力	-10 dBV 10 kΩ
アラーム入力	無電圧メイク接点、パルス幅 100 ms以上、8入力
アラームリセット入力	無電圧メイク接点、パルス幅 100 ms以上、1入力
外部録画入力	無電圧メイク接点、パルス幅 100 ms以上、1入力
時刻合わせ入力	無電圧メイク接点、パルス幅 100 ms以上、1入力
シーケンス入力	無電圧メイク接点、パルス幅 100 ms以上、1入力

・出力

映像出力	映像入力のループスルー、BNC、8出力
多画面出力	コンポジット映像信号 1 V[P-P]/75 Ω、自動終端、BNC、1出力
スポット出力	コンポジット映像信号 1 V[P-P]/75 Ω、自動終端、BNC、1出力
音声出力	-10 dBV 600 Ω、不平衡、1出力
前面ビデオ出力	コンポジット映像信号 1 V[P-P]/75 Ω、RCAピン、1出力
前面音声出力	-10 dBV 600 Ω、不平衡、1出力
アラーム出力-1	DC 12 V 4.7 kΩ、正極性、D-Sub 25ピン、1出力
アラーム出力-2	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA(max.)、D-Sub 25ピン、1出力
ディスクエンド出力	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA(max.)、D-Sub 25ピン、1出力
時刻合わせ出力	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA(max.)、D-Sub 25ピン、1出力
機器異常検知出力	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA(max.)、D-Sub 25ピン、1出力
録画中出力	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA(max.)、D-Sub 25ピン、1出力
再生中出力	オープンコレクタ出力、DC 12 V 100 mA(max.)、D-Sub 25ピン、1出力
シーケンス出力	オープンコレクタ出力、DC 24 V 100 mA(max.)、D-Sub 25ピン、1出力

・ネットワークインターフェース

ネットワーク	10 Base-T / 100 Base-TX、RJ-45
サポートプロトコル	TCP/IP、HTTP、SMTP、FTP、DHCP、SNMP、DNS/DDNS
セキュリティ保護	パスワード認証

・機能

画像圧縮方式	JPEG
最大リフレッシュレート	30 フィールド/s* ¹
画素数	720×240ピクセル(有効画素数672 × 224 ピクセル)
同時録再	録画中、ローカル再生およびネットワーク再生可能※1
最大録画時間	約24000時間(約1000日)** ²

※1 同時録再を行う場合、録画レートは最大15 フィールド/sとなります。

※2 解像度：NORMAL 録画レート：0.1FPS 画質：EXTENDEDの場合です。被写体によって、最大録画時間は異なります。

修理・お取り扱い・お手入れ
などのご相談は…

まず、お買い上げの販売店へ
お申し付けください

■ 保証書(別添付)

お買い上げ日・販売店名などの記入を必ず確かめ、お買い上げの販売店からお受け取りください。よくお読みのあと、保存してください。

保証期間：お買い上げ日から本体1年間

■ 補修用性能部品の保有期間

当社は、このデジタルディスクレコーダーの補修用性能部品を、製造打ち切り後7年保有しています。

注) 補修用性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼される時

163ページ～166ページの表に従ってご確認のあと、なお異常のあるときは、電源スイッチを「切」にしてから、電源プラグを抜き、お買い上げの販売店へご連絡ください。

● 保証期間中は

保証書の規定に従って、出張修理をさせていただきます。

● 保証期間を過ぎているときは

修理すれば使用できる製品については、ご希望により有料で修理させていただきます。

● 修理料金の仕組み

修理料金は、技術料・部品代・出張料などで構成されています。

技術料 は、診断・故障個所の修理および部品交換・調整・修理完了時の点検などの作業にかかる費用です。

部品代 は、修理に使用した部品および補助材料代です。

出張料 は、お客様のご依頼により製品のある場所へ技術者を派遣する場合の費用です。

ご連絡いただきたい内容

製品名	デジタルディスクレコーダー
品番	WJ-HD220
お買い上げ日	年 月 日
故障の状況	できるだけ具体的に

便利メモ おぼえのため 記入されると 便利です	お買い上げ日	年	月	日	品番	WJ-HD220
	販売店名	電話 () -				

松下電器産業株式会社

セキュリティ本部

〒223-8639 横浜市港北区綱島東四丁目3番1号

電話 フリーダイヤル 0120-878-410